赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する設計等事業 『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等のエネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事

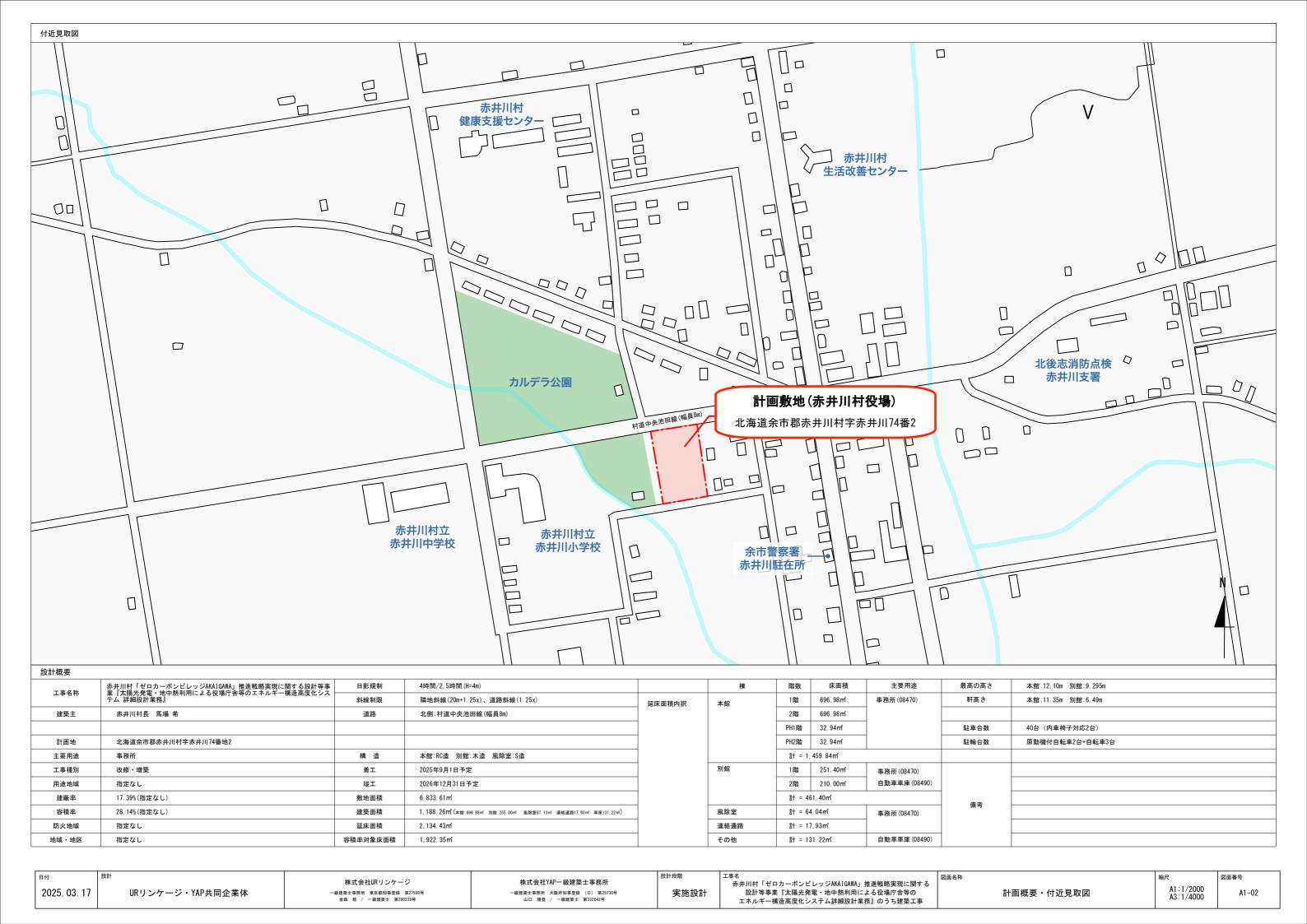
2025. 03. 17

URリンケージ・YAP共同企業体

						意匠	三図					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号		図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮
A1-01	図面リスト	NS	A6-01	建具特記仕様書		NS						
A1-02	計画概要・付近見取図	NS	A6-02	建具キープラン		1/300						
A1-03	特記仕様書(1)	NS	A6-03	建具表(1)		1/100						
A1-04	特記仕様書(2)	NS	A6-04	建具表 (2)		1/100						
A1-05	特記仕様書(3)	NS	A6-05	建具表 (3)		1/100						
	特記仕様書(4)	NS	A6-06	建具表 (4)		1/100						
	特記仕様書(5)	NS										
	特記仕様書(6)	NS										
	敷地求積図	1/400										
A1-09	求積図・面積表	1/400										
A1-10	外部仕上表	NS										
A1-11	内部仕上表(1)	NS										
A1-12	内部仕上表(2)	NS								-		
A1-13	内部仕上表 (3)	NS										
			-									
A2-01	仮設計画図	1/700	A7-01	部分詳細図(1)		図示				1		
A2-01	(収放計画図 既存建物・外構撤去図	1/300	A7-02	部分詳細図(2)		図示						
A2-02 A2-03	改修前・本館平面図兼撤去図	1/200	A7-03	部分詳細図(3)		図示				1		
A2-03	以 が 利・ 本	1/500	A7-04	部分詳細図(4)		図示						
A2-05	本館 平面図	1/200	A7-05	部分詳細図(5)		図示						
A2-06	別館 平面図	1/200	A7-06	部分詳細図(6)		図示						
A2-07	立面図(1)	1/200	A7-07	部分詳細図 (7)		図示						
A2-08	立面図(2)	1/200	A7-08	部分詳細図(8)		図示						
A2-09	断面図	1/200	A7-09	部分詳細図(9)		図示				+		
A2-10	天井伏図	1/300	A7-10	部分詳細図(10)		図示						
A2-10	人开队因	1/300	A7-11	部分詳細図(11)		図示				-		
			A7-12	便所詳細図		図示				1		
						ENT				+		
			A8-01	サインキープラン		1/300				+		
			A8-02	サイン詳細図		図示						
				7 1 2 11 12								
										+		
A3-01	平面詳細図 本館1F (1)	1/100	A9-01	断熱範囲図		1/400						
A3-02	平面詳細図 本館1F (2)	1/100	A9-02	防水範囲図		1/400						
A3-03	平面詳細図 本館2F (1)	1/100	A9-03	防火防煙区画図		1/400				+		
A3-04	平面詳細図 本館2F (2)	1/100	A9-04	耐火リスト		図示				+		
A3-05	平面詳細図 別館IF	1/100	A9-05	雨水排水計画図		1/500						
A3-06	平面詳細図 別館2F	1/100				1,000						
710 00	Hai DT 1940 Ect	1/100										
			A10-01	バリアフリー法・福祉のま	 ちづくり条例チェック図	1/500						
			<u> </u>			.,,555				1		
A4-01	断面詳細図 本館(1)	1/60								1		
A4-02	断面詳細図 本館(2)	1/60								1		
A4-03	断面詳細図 本館(3)	1/60								1		
A4-04	断面詳細図 別館(1)	1/60								1		
A4-05	断面詳細図 別館(2)	1/60								1		
A4-06	断面詳細図 別館(3)	1/60										
										1		
A5-01	展開図(1)	1/100										
A5-02	展開図(2)	1/100										
		.,										
										1		
	L	1	1			I	1			1		
10E 02 ·	設計	材	k式会社URリ	ンケージ	株式会社YAP一級建築	士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進	図面 戦略実現に関する	占 称		縮尺 図面番号

2025. 03. 17

URリンケージ・YAP共同企業体



I 建物概要

→ 工事場所 北海道余市郡赤井川村字赤井川74-2 ② 構造・規模 本館(既設:RC造地上2階建1,448.51㎡)

風除室 (增築:S造 地上平屋建64.04㎡) ,連絡通路 (増築:RC造 地上平屋建17.31㎡) 別館 (増築:木造 地上2階建488.40㎡) , 別館 (除却:RC造 地上平屋建123.12㎡)

車庫 (既設:S造 地上平屋建163.62㎡) ③ 工事種目 本体工事一式

建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事 ④ 工事範囲

「3.工事種目」のうち建築工事における工事範囲は下記表のとおりとする。 設備工事における工事範囲は、電気設備及び機械設備の特記仕様書を参照のこと。

		建築 工事 	電気 設備	機械設備	外構 工事
1. 建築	既存建物解体	0			
	仮設	0			
	土木、地業	1 0			
	躯体	1 6	٠.		٠.
	外部仕上げ	1 6	٠.		 .
	内部仕上げ				
			 		⊢ ·
	造作家具		· ·	· ·	· ·
	サイン				<u> </u>
	カーテン				·
	カーテンレール		·	•	
	-				
2. 電気設備	電灯設備				
	(1)一般照明設備		0		
	(2)誘導灯設備		0		
	動力設備		0		
	発電設備		0		
	構內情報通信網設備(LAN)		·		
	配管工事	<u> </u>	0		
	配線工事	- .	<u> </u>		
	サーバー・HUB	- .	· ·		<u> </u>
	PC機器一式	- .	· ·		<u> </u>
		- :			<u> </u>
	構内交換設備(電話設備)				_
	配管工事	·	0		
	配線工事				
	電話交換機	<u>_</u>	· ·		
	電話機				
	拡声設備				
	配管工事		0		
	配線工事・機器		0		
	誘導支援設備				
	(1) インターホン設備		0		
	(2)トイレ呼出設備		0		
	テレビ共同受信設備(CATV機器別途)		Õ		
	機械警備設備		·		
	配管工事		0		
	配線工事	<u> </u>	<u> </u>		٠.
	センサ、制御装置等	- .			
	自動火災報知設備	- + .	0		 .
	議場用音響設備	- .			
		- :			<u> </u>
	太陽光発電設備				_
	基礎・架台設置工事		· ·		
	機器据付工事	<u>_</u> .	0		
	電気工事	· ·	0		·
3. 機械設備	空調設備工事	·		٠	·
	空調機器設備工事			0	·
	配管ダクト設備工事			0	
	地中熱利用設備工事		0	0	0
	換気設備工事			0	•
	衛生設備工事				
	衛生器具設備工事			0	
	給水設備工事	<u> </u>		ŏ	
	排水設備工事	- .		ŏ	·
	給湯設備工事	- .		ŏ	
	ガス設備工事	- .	<u> </u>		· ·
4. 外構設備	舗装	- :		<u> </u>	0
マ・ソト1再 ā又 VIII					_
	桝・側溝等	<u> </u>		•	0
	門	<u> </u>			
	盛土				
			1		
下記の工事は別途工	撤去工事			•	oxdot

工事区分表	各工事間の工事区分は以下の表による。

	1	建築 工事	電気 設備	機械 設備	外構 工事	別途 工事
1. 一般事項	本設水道、下水、ガスの引渡しまでの使用料金	0	0	0		
	本設受電後引渡しまでの電気使用料金	0	0	0		
	本市監督員事務所	0				
	警備保険会社の警備員	0	0	0	0	
			•			
2. 機械基礎	電気、機械の基礎(建築物と接して一体の物)	0	٠			
	同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み	0	0	0		
	電気、機械の基礎(単独設置物)	0	0	0		
	同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み	0	0	0		
3. 駆体貫通	基礎立上り (RC) の貫通スリーブ (鉄筋コンクリート部分)	0	0	0		
	同上貫通補強	0	٠			
	壁・床の貫通スリーブ、箱入れ	0	0	0		
	同上貫通補強	0	٠			
	はり、壁、床の貫通部穴埋め、躯体改修	0	0	0		
	二重スラブ内地中ばり遮通管及び通気管、水抜き管	0	٠			
	同上スリーブ及び開口補強	0				
	既存壁貫通		0	0		
4. その他の貫通	天井付き各種設備器具穴あけ、取付け枠、補強	0	٠			
	同上墨出し		0	0		
	壁付き換気扇			0		
	同上取付け管通孔、取付け枠	0				
	天井扇等の本体取付け			0		
	同上孔あけ、補強	0	•			

		建築 工事	電気 設備	機械 設備	外構 工事	
4. その他の貫通	同上墨出し			0		1
5. ガラリ・点検口等	対象型とはのボニコ	10		 		+
5. カプリ・点快口寺	外部取付けのガラリ 外部取付けの換気ベントキャップ	+ .	<u> </u>	0	<u> </u>	t
	点検口(床、天井、各PS)	$+ \circ$. 	· ·	 .	t
	マンホール	1 ŏ				t
		Ť				t
5. 厨房・浴室・湯沸 洗面・便所	キッチン	0				1
洗囬・使所	同上給排水、ガス等の接続			0		I
	同上フード	10	·	·	·	1
	同上フードの配管・接続工事	<u> </u>	·	0	<u> </u>	4
	同上水栓	+ -	<u> </u>	0	<u> </u>	1
	同上の配管バック取付け工事(配管用孔あけ共) IHコンロ・ガスコンロ	10	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ł
	電気温水器	1 .		0		t
	手洗い	+ :		0		t
	同上給排水の接続	+ -	· ·	ŏ	<u> </u>	t
	同上の配管バック取付け工事(配管用孔あけ共)	10		·	·	t
	同上水栓 (既存)	Ť		0		t
	多機能トイレパック			0		Ī
	オストメイト			0		I
	便器	<u> </u>	·	0	·	1
	手すり	<u> </u>	·	0	·	4
	紙巻き機	+	· ·	0	· ·	1
	ベビーチェア	+ :-		$\frac{1}{2}$		+
	荷物フック 化粧鏡	+:	<u> </u>	0	<u> </u>	+
	洗面器・水栓	+ :		0		t
	外部手洗い、足洗い場	$+ \odot$				t
	同上水栓及び排水工事	 `		0		t
				Ť		t
7. 防災機材	消火器(BOX共_全て再取り付け)			0		Ī
	煙感知器			0		Ι
	同上接続工事			0		1
		\perp				4
8. 制御機器	給湯機取付け用壁内補強	10	· ·		· ·	1
	エアコンの屋内屋外渡り制御線及び操作回路電気工事	+ -		0		7
	同上1次側電気工事(電源接続共) 同上リモコンスイッチ	+ :-	0	0	<u> </u>	+
	ルームエアコン室内機取付け用補強	10	<u> </u>		<u> </u>	t
	上記以外の機器類の1次側配管配線	$+ \cdot$	0	٠.	<u> </u>	t
	上記以外の制御盤、2次側配管配線	+ -	·	0	·	t
	給湯機リモコンスイッチの配管配線	T -		Õ		t
						I
9. 仕上げユニット等	カーテン					1
	カーテンレール	10			·	4
	設備機器表示	+ ÷	0	0	· ·	4
	案内板	10				+
	その他サイン	10	· ·	· ·	<u> </u>	ł
10. 外構	雨水排水溝、会所、蓋(下水合流方式地域の場合)	+	<u> </u>	· .	 .	t
10. 71 117	污水排水工事、会所、蓋	+ -		0		t
	下水本管への接続	+ -		ŏ	·	t
	電力・電話引込みマンホール	 .	0	·		t
	植樹・盛土		·			İ
	上水引込み工事					I
	給水加入金					I
	既存撤去工事		·	·	0	1
						4
11. その他	排水槽	<u> </u>	·	·	·	4
	同上用水ポンプ及び配管工事、操作用制御盤	+ •				7
	同上電気供給配管配線工事同上スラブ	+:-	· ·	<u> </u>	<u> </u>	+
	防災無線本体及び取付調整	+:-	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ł
	同上配線	+ :		<u> </u>		t
	同上配管	+ -	0			t
	融雪設備	+ -	ŏ	0		†
		\top	<u> </u>	Ť		†
12. 関連工事	屋外施設撤去工事	·				1
	既設スロープ撤去工事	0				j
	既存別館撤去工事	0	0		0	Ţ
	既存車庫撤去工事	0	0		0	1
	既存車回し部舗装撤去工事	1 ⊙				1

アトキャップ (PS) 技統 接続工事 けけ工事(配管用孔あけ共) はけて事(配管用孔あけ共)	建築 工事	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機械 設備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	別途工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」。 ① 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)により、改修標仕に記載されていない事項は、「標準仕様書(令和4年版)(「以下標仕」という。)または、「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」同所本工事に関しては「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)(「以下木標仕」という。)による。
持続 を接続 を続工事 けけ工事(配管用孔あけ共)			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕 築工事編) (令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)により、改修標仕に記載されていない事項は、「標準仕様書(令和4年版)(「以下標仕」という。)または、「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」同解
持続 を接続 を続工事 けけ工事(配管用孔あけ共)			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			標準仕様書(令和4年版)(「以下標仕」という。)または、「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」同解
持続 を接続 を続工事 けけ工事(配管用孔あけ共)						
統工事 けけ工事(配管用孔あけ共)			0 · 0 0			木工事に関しては「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)(「以下木標仕」という。)による。
統工事 けけ工事(配管用孔あけ共)			0 · 0 0			
統工事 けけ工事(配管用孔あけ共)			0 · 0 0			② 特記仕様
統工事 けけ工事(配管用孔あけ共)	0		0 0	·		(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
け工事(配管用孔あけ共)	· · · · ·		<u>0</u>			(2) 特記事項は、
	0 0 ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·	· .		○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と ②印の付いた場合は、共に適用する。
		· ·				○印と ♥中の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の () 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
		· ·				(a) latest and the second of t
け工事(配管用孔あけ共)	<u> </u>	 		<u> </u>		
け工事(配管用孔あけ共)			0	 	· ·	③ コスト表記に関する工事表示板の設置
け工事(配管用孔あけ共)	0		$\frac{\circ}{\circ}$			(1) 工事期間中、コスト表記に関する工事表示板を、現場の門等人目に付きやすい箇所に配置すること。
	T .		·			(2) 工事表示板の大きさは、A3サイズとし、実際の現場着手から完成までの間、設置すること。 (3) 工事表示板を設置したことが確認出来る様に写真を撮影し、監督員に提出すること。
			0			(4) 工事表示板の様式は下記のとおりとする。
	<u> </u>	· ·	0			工事名称・
	+ :	· ·	0			工事期間・
	+:-	 	0	 	· ·	元請業者名
	+ -	· ·	$\frac{1}{0}$	·		契約金額・
	† ·	·	ŏ	·		※工事期間:契約工期である着手日~完成日を記入すること。(表示期間の着手日~完成日と異なってもよい。) ※工期を変更した場合は修正すること。
			0			※工物を支欠した場合は移止すること。
	<u> </u>	· ·	0	· ·		(4) 設計変更
	+ ÷		0	· ·		設計変更については、市単価にて行い、落札率を乗じて工事請負金額を算出するものとする。
<u>;</u>	10	 	0	<u> </u>		現場の納まり等による変更については、原則として請負金額の変更は行わないものとする。
<u>'</u>	+					A ***-+***
取り付け)	† ·	·	0	·		(5) 建設工事保険等 請負者は工事目的物及び工事材料について、建設工事保険等(火災及び第三者に対する損害等含む)に加入するこ
			0	·		工事期間中、請負者の責任において労災保険に加入すること。また、建設業退職金共済制度については、その制度
	<u> </u>		0	· ·		遵守し、該当する労働者を雇用する場合は、請負者の責任において加入すること。
強	10					
^{1)ය} 5り制御線及び操作回路電気工事	+ .	 	0	 		6 発生材の処理等 (産業廃棄物)
(電源接続共)	+ -	0	·			建設副産物・建設発生材・撤去材は全て場外に搬出し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材
:		·	0			再資源化等に関する法律、その他関連法令等を遵守し適切に処理する事。 産業廃棄物については、廃棄物管理表(マニフェスト)により、適切に処理されていることを確認し監督員に提出
取付け用補強	0	·				を行うこと。
次側配管配線	+:-	0		 :	· ·	再資源化を図るものは、アスファルト・コンクリート塊とする。
次側配管配線 ・チの配管配線	+÷	 	$\frac{0}{0}$	 	· ·	なお、上記の産業廃棄物の処理については、廃棄物再生事業者で行うこと。
,	+					7. 万纳人士海州内市拉姆大
					0	 石綿含有建材の事前調査 あらかじめ関係法令に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。
	0	·		·		7. 調査範囲に係る既存の設計図書の貸与をする。
	+ ÷	0	0	· ·		イ 調査は既存の設計図書、赤面含有建材の調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査に
	0	<u> </u>	<u> </u>	 :		より確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 なお、分析調査を行う場合は、理材中の赤面含有率の分析方法について」(平成18年8月21日
	+					基発第0821002号、最終改定 令和3年12月22日 基発1222第17号)に基つき、定性分析又は定
(下水合流方式地域の場合)	† ·					量分析を行うこととする。 ウ. 調査結果を工事監督員に報告する。
蓋			0			7. 調宜桁米で工事監督員に報告する。
	<u> </u>	<u> </u>	0	· ·		⑧ 工事工期
·ホール	+:-	0		 :		契約締結日から 令和 8年 12月 31日 とする。
	+ :	 	<u> </u>	 	· ·	
	+ -	·	·		0	A SEASON SHAN SHAN A TOP
	0			0	·	(9) 委託監督員補助の配置 本工事における、請負業者の作成する電気・機械設備の各仕様書・施工要領・施工図等について、設計図書等によ
						判断をはじめとする工事監理が行える工事監理経験の豊富な電気・機械設備技術者を委託監督員の元に配置し、委
200 - T 12 / - T 41/44 00	+ •	· ·	· ·	· ·		員等の補助を行うものとする。
空管工事、操作用制御盤 受工事	+ :-	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
(工事	+ :	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		① 工事検査等
調整	† ·				0	工場検査については、監督員が指示する工程とする。 (1) 工事の施工に必要な手続きは、すべて請負業者にて行い、その費用はすべて請負業者の負担とする。
					Ō	○ 一般事項
		0	·			(1) 工事の施工に必要な手続きは、すべて請負業者にて行い、その費用はすべて請負業者の負担とする。
	+ •	10	0	· ·	·	(2) 関係法令に基づく調査及び記録の保存は、請負業者の責任において行うものとする。
	+ .					(3) 工事に関しての苦情やトラブルについては、原則、請負業者の責任において行うものとする。
事	-	<u> </u>	<u> </u>	 		(4) 下請負契約がある場合は、施行体制台帳及び施行体系図を提出すること。
- •	1 6	0		0		(5) 改正健康増進法に伴う、受動喫煙防止の対策を必要に応じて講ずること。
	Ŏ	Ŏ		Ŏ		(2). 施工条件
	0					4 . ルエネド 本工事は受注者希望方式による週休2日の取得を行うものである。工事着手前に月単位の週休2日の取組みについて協
法工事						月単位の4週8休に満たないもの及び工事着手前に月単位の週休2日の取り組むことについて協議が整わなかったものに
事		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· Ö · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· O O · · · O · · O O · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O

外構 工事	別途 工事	Ⅱ 建築工事仕様									
	٠	(1) 共通仕様	「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)による。								
		•	されていない事項は、全て国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建								
			」(以下、「改修標仕」という。)により、改修標仕に記載されていない事項は、「公共建築工事								
			(「以下標仕」という。) または、「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」同解説による。 建築木造工事標準仕様書(令和4年版)(「以下木標仕」という。)による。								
•	•	_	230122 7 7 7 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
		② 特記仕様(1)項目は、番号に 印の	けいたまのを適用する								
		(2) 特記事項は、 (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7		0							
•	•		:、※印の付いたものを適用する。	~							
			場合は、共に適用する。) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。								
	•	(3) 符配争垻に配戦の()内衣示台方は、様任のヨ談項日、ヨ談凶又はヨ談衣を示り。								
•	•	_									
		③ コスト表記に関する工事表示	板の設置 関する工事表示板を、現場の門等人目に付きやすい箇所に配置すること。								
	•		対象の工事表示板を、現場の口寺入日に刊させりい固所に配直すること。 A3サイズとし、実際の現場着手から完成までの間、設置すること。								
•	•		とが確認出来る様に写真を撮影し、監督員に提出すること。								
		(4) 工事表示板の様式は下記	のとおりとする。 								
		工事名称・工事期間・									
•		元請業者名									
		契約金額・	 								
		※工期を変更した場合は修正す		8							
-	•	0									
	•	④ 設計変更設計変更については 市単り	西にて行い、落札率を乗じて工事請負金額を算出するものとする。								
	•		皿にて行い、 溶れ年を来じて工事請員並被を昇出するものとする。 こついては、原則として請負金額の変更は行わないものとする。								
·	•	0									
			事材料について、建設工事保険等(火災及び第三者に対する損害等含む)に加入すること。								
			# # # # # # # # # # # # # # # # # # #								
•	•	遵守し、該当する労働者を見	雇用する場合は、請負者の責任において加入すること。								
		(6) 発生材の処理等(産業廃	能 物)								
			散去材は全て場外に搬出し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の								
·-	•	再資源化等に関する法律、その他関連法令等を遵守し適切に処理する事。									
		産業廃棄物については、廃棄物管理表(マニフェスト)により、適切に処理されていることを確認し監督員に提出・報告 を行うこと。									
٠	٠		スファルト・コンクリート塊とする。								
·	•	なお、上記の産業廃棄物の	処理については、廃棄物再生事業者で行うこと。								
		7. 石綿含有建材の事前調査									
•	0	あらかじめ関係法令に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。									
		7. 調査範囲に係る既存の設計図書の貸与をする。									
		イ. 調査は既存の設計図書、赤面含有建材の調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査に より確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事現場に備 え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。									
•	•	なお、分析調査を行	う場合は「建材中の赤面含有率の分析方法について」(平成18年8月21日 改定 令和3年12月22日 基発1222第17号)に基づき、定性分析又は定								
		量分析を行うこととする ウ. 調査結果を工事監督員		9							
		7. 网互相水と工予皿目外	1 T T M D 7 W 0								
•	•	⑧ 工事工期		10							
		契約締結日から 令和 8年	: 12月 31日 とする。								
•	•	_									
· •	· ·		5.6 mm → 7.65 mm → 1.65								
			の作成する電気・機械設備の各仕様書・施工要領・施工図等について、設計図書等による確認、 理が行える工事監理経験の豊富な電気・機械設備技術者を委託監督員の元に配置し、委託監督								
•	•	員等の補助を行うものとする	5.								
	•	← 丁車栓本筆									
		(り) 工事検査等工場検査については、監督	員が指示する工程とする。								
•	00		続きは、すべて請負業者にて行い、その費用はすべて請負業者の負担とする。								
	0	○ 一般事項(1) 丁事の施工に必要な手	続きは、すべて請負業者にて行い、その費用はすべて請負業者の負担とする。	(i)							
			では、9へく請員集者にく行い、その資用は9へく請員集者の負担と9 る。 及び記録の保存は、請負業者の責任において行うものとする。	ا ا							
			トラブルについては、原則、請負業者の責任において行うものとする。								
			は、施行体制台帳及び施行体系図を提出すること。 受動喫煙防止の対策を必要に応じて講ずること。								
0	•	、・/〜ヘルは水相低温に作り、									
<u>.</u>	•	(). 施工条件	て個は9日の即復またことのでもで、丁寧美子前に日尚はの頃は9日の耶知でについて物識またこ								
			る週休2日の取得を行うものである。工事着手前に月単位の週休2日の取組みについて協議を行う。 の及び工事着手前に月単位の週休2日の取り組むことについて協議が整わなかったものは通期の週休2日の	(12)							
		補正係数に変更し、請負代金額 変更を行うものとする。	領を変更するものとする。通期の4週8休に満たないものについては、通期の週休2日の補正係数も除した								
		××c11/00/29%									
		章 項目	特 記 事 項								
		①適用基準等	・建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 令和4年版)・営繕工事写真撮影要領(令和5年版)工事写真の撮り方(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)	(i)							
		ー 般 共 ②工事実績情報の登録	(1.1.4)	"							
		般 共 通 事	請負者は、受注時又は変更時に於いて工事請負代金額が500万円以上の工事について、コリンズ	13							
		項	基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員 の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は	(15							
			の確認を受けたりた、受注時は契約後、工権日、日曜日、抗日寺を除さ10日以内に、元成時は 工事完成後10日以内に、適宜登録しなければならない。尚、変更登録は、工期又は技術者に								
			に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を の悪としない。								
			必要としない。								
		③ 施工計画書	※各専門工事着手にあたっては、施工計画書(施工図含む)を提出し、承認後着手すること。 (1.2.2) ※総合施工計画書に提出予定の各種施工計画書リストを添付すること。	16							

※総合施工計画書に提出予定の各種施工計画書リストを添付すること。

電気工作物の保安の業務を行うものとする。

○施工時間等の制約

・施工順序の制約

◯工事用車両の駐車場所 ○資機材置場 建設発生土仮置場

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、

・休日施工のみ

図示

○施工時間(8:30 ~ 18:00)

による。 工事 う。		ドロス
	⑦建築材料等	・ 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、 JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3)安定的な供給が可能であること (4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証
		明となる資料又は外部機関 ((社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督員に 提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの 限りではない。 また、設計図書に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同 等品を使用する場合は、監督員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を放散する 建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の仕器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤をボホルムアルデヒドを放散しないが料使用は、ホルムアルデヒド系接着剤をボホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用。非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
	9 特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする
	10 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、バラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 工事完了時の測定 ※行う → (該当箇所明記) 測定箇所数 ・図示 ※ ヶ所× = ヶ所(各1測定とし、工事着手前、完了後それぞれ行・採取サンプル数 ・図示 ・ 2年物引渡しについて、ホルムアルデヒド及びVOCの数値が文部科学省制定の「学校環境衛生の基準第1章定期環境衛生検査「教室等の空気」5.判定基準に準拠し、(2)ホルムアルデヒド及び、揮発性・機化合物(7)~(カ)であることを確認後、引渡しできるものとする。 検査測定等は専門業者へ委託すること。 ※ 24時間測定 ・ 8時間測定
	①完成図等	 作成する ・作成しない 改修標仕 (1.9.1~1.9.3) 完成図(製本) 提出部数 A1版 ※1部 ・ 部 A3版 ②8部 ・ 部 施工図 提出部数 A3版 ③1部 ・ 部 (※)ADデータ (完成図) 提出部数 CD-R若しくはDVD-R ※2枚 ・ 尚、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
。 週 休2日の 5除した	①完成写真	次のものを監督員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 ①カラー (キャビネ版) ①電子データ (500万画素以上) 竣工写真は建物写真60枚程度、ドローン撮影10枚程度とし、指定の建築写真専門家の撮影とする。 撮影箇所は、係員の指示による。
修)	13設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
(1.1.4)	⑭設計G L	※図示 ○設計GL=現状GL
子員 t	15工事写真	工程写真及び完成写真は、北海道建設部建築局営繕工事記録写真撮影要領による。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、工事監督員の承諾を得 たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事とすることができる。この場合は、営繕工 事記録写真撮影要領別添「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」によるものとする。 その他、監督員の指示により作成すること。
(1.2.2)	16 施工中の環境保全等	敷地境界線上に、JIS及びIEC規格に適合し、メモリーカードに対応した普通騒音計を設置し、騒音を伴工事期間中の騒音を測定すること。また、測定データの編集等は専用プログラムを使用すること。 測定箇所 ・図示
	①地域材の優先使用	本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材を優先的に使用する こととし、使用した材料の種別、産地等を工事監督員に報告すること。
(1.3.5)		地域材とは、道内の森林で産出され、道内で加工された木材をいう。

処理に先立ち、「建設副産物処理計画書」を作成提出し、監督員の承諾を得ること。

解体材の処分は、産業廃棄物に関する法律等関係法令を遵守し、請負業者の責任

⑥発生材の処理等

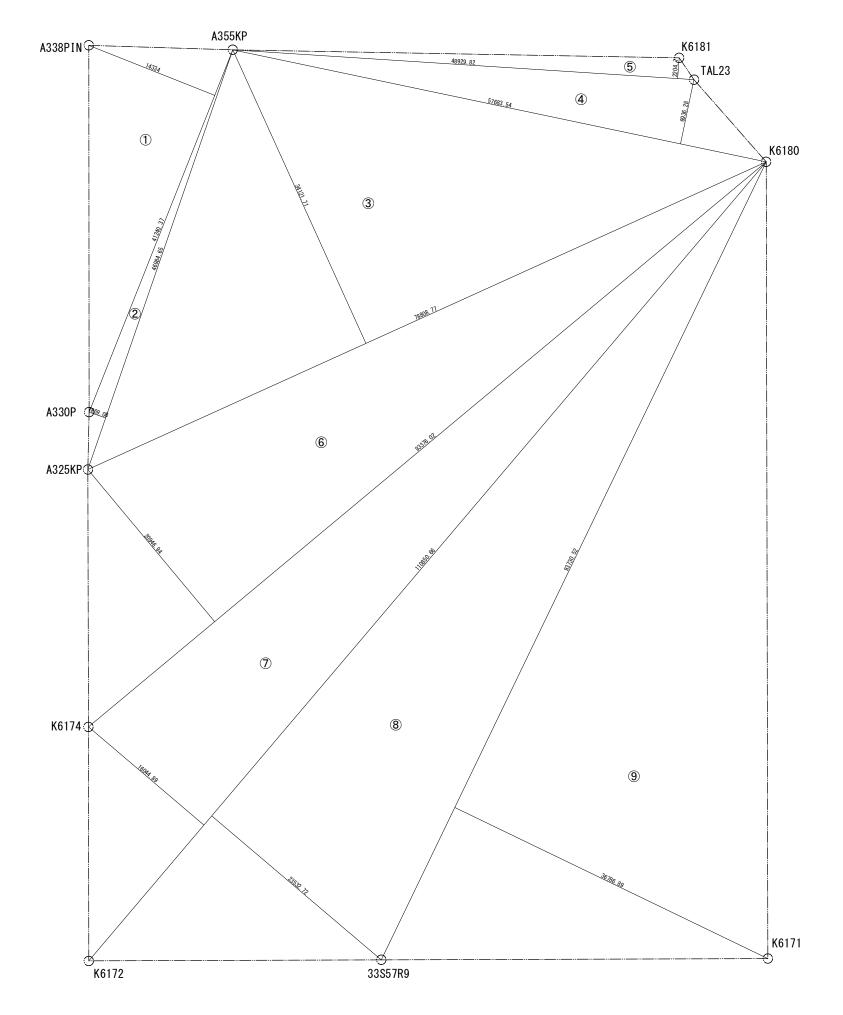
日付 設計 設計段階 工事名 図面名称 縮尺 図面番号 株式会社URリンケージ 株式会社YAP一級建築士事務所 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事 2025. 03. 17 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号山口 陽登 / 一級建築士 第332642号 特記仕様書(1) URリンケージ・YAP共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号 実施設計 A1-03

4 電気保安技術者

⑤ 施工条件明示項目

② ①仮囲い等	仮囲い 種別 ◯万能鋼板 (・高さ3m ・高さ2m) ・ガードフェンス (・高さ1.8m)			無溶接継手の工法・		軽量コンクリートの設計基準強度等		11 暑中コンクリート	暑中コンクリートの適用期間 (7月14日から9月5日) (6.12.1)
 仮 設	設置場所 ○ 図示 ・ ・シート貼り (高さ2.0 m) 仮囲いへのシート張り ・行う (・養生シート ・防音シート) ○ 行わない ゲート 種別 ・シートゲート (* 高さ m ・幅 m * 幅 m)		3 鋼杭地業 鋼杭の村	理 * 切断しない · (4.3/7)		設計基準強度Fc (N/mm2) 種別 適用箇所 · 21 · 1種 · 2種 · 1種 · 2種			構造体強度補正値(S)の補正 * 行わない ・ 6 N/mm2 (6.12.2)
事	グート 惺別 ・ソートグート (* 高さ m ・幅 m * 幅 m) ○パネルゲート (高さ2m、幅3.6m) ・クロスゲート (高さ m、幅 m) 設置場所 (→図示 ・		・鋼管		2 気乾単位容積質量	軽量コンクリート * 1.8t/m3 ・ (6/10.1)			混和材料 · AE減水剤遅延型I 種 · 高性能AE減水剤遅延型I 種 (6.12.2)
②足場その他	外部足場 種別 ◆本足場 (・枠組足場 ◆X さび緊結式足場 ・単管足場)			み工法 (4.4.3)	3 スランプ	スランプ (cm) 適用箇所 (6.2.4)		12無筋コンクリート	(6.14.1) 種類 設計基準強度 (Fe) スランプ 粗骨材の最大寸法 (N/mar2) (cm)
	- 一側足場 (・ブラケット足場 ・くさび緊結式足場) ・棚足場 (・単管足場 ・) ・機械足場 (・機械式伸縮足場 ・ゴンドラ ・移動昇降式足場)		施工力	支持力 * 図示 方法 ・打撃工法 ・ 杭の推定支持力の算定方法 * 図示 ・		X 15 基礎、基礎梁、土間スラブ			*普通コンクリート *18 · *25
	②その他 (・張出し足場 ○) 多動式足場) 設置場所 ○図示 ・適宜		杭のス	水平方向の位置ずれ精度 * 図示傾斜 * 1/100以内		*21以下 軽量コンクリート			使用箇所 間知石積基礎及び裏込めコンクリート 捨てコンクリート
	作業床幅 〇図示・適宜 防護シート等による養生 〇行う ・行わない			埋込杭工法 (4.4.4)	4 構造体コンクリート(仕上り	7 コンクリート打放し仕上げの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6.2.5)			・機械室等配管埋設用コンクリート・防水層保護コンクリート
	防護シートの種別 ○ 防音シート ・ 防音パネル ・ メッシュシート張り ・ その他(養生金網枠) *外部足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 平成21年4月)」の		工法	・プレボーリングによる球根拡大埋込み工法・中掘りによる球根拡大埋込み工法	5 コンクリートの材料			13.20クリート製造	*発注はJIS表示許可を受けており、かつ、(適) マークがあるレディミクスト
	「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとする。 躯体足場 種別 ・吊り足場(・吊り枠足場 ・吊り棚足場 ○ 適宜)			・中掘りによる埋込み工法 ・地盤改良と併用した埋込み工法 ・回転圧入による埋込み工法		* 普通ポルトランドセメント ・混合セメントA種(・高炉セメント ・シリカセメント ・フライアッシュセメント) ・混合セメントB種(・高炉セメント ・フライアッシュセメント)	7	工場の選定 	コンクリート製造工場とし、監督員の承認を受けること。 製作工場の加工能力 (7.1.3)
	・機械足場 (・機械式伸縮足場 ① 適宜) 設置場所 ○足場を必要とする作業場所 ・			・ 回転圧へによるほどの工法 水平方向の位置ずれ精度 * 図示 地盤の位置及び種類 * 図示		・混合セメントB種の適用箇所()		1	*建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準
	作業床幅 ・図示 ・ 適宜		1	傾斜 * 1/100以内 ·		骨材 アルカリシリカ反応性による区分 * A ・B	事		に定める「(M) グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場 ・監督職員の承諾する製作工場
	内部足場 種別 棚足場 (・枠組足場 ・くさび緊結式足場 ・単管足場) ・機械足場 (機械式伸縮足場)			法 ・現場溶接継手 ・高力ポルト継手 (4.4.5) 理 * 図示 ・ (4.4.6)		フェロニッケルスラグ細骨材、銅スラグ細骨材、電気炉酸化スラグ オ材、再生骨材 H *使用しない	\		仮組 * 行わない ・行う (7.3.10)
	○その他 (○可搬式作業台 ・移動式足場 ・移動式室内足場)設置場所 ○足場を必要とする作業場所 ・図示作業床幅 ・図示 (○適宜		4場所打ちコンクリート 材料	適用部以外は構造図による (4.5.3)		混和材料 ・混和剤(・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤)		2 施工管理技術者	*適用する ・適用しない (7.0.1)
③監督職員事務所	○設ける ・設けない			の種類 * 標仕5章368 工事による の加工及び組立		塩化物イオン量による区分 * I 種 ・ 防錆材 * JIS A 6205による ・ ・混和材 (・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・シリカフューム)		3 鋼材 4 高力ボルト	鋼材の材質、形状、寸法、適用箇所 * 図示 (7.2.1) **高力ポルト (7.2.2)
S. M. E. 1997	規模 種 別 ・1号 ①2号 ・3号 ・4号 ・5号			最少かぶり厚さ * 図示		フライアッシュの区分 ・I 種 ・II 種 ・IV種		- T 100,000 1	* トルシア型高力ボルト セットの種類 * S10T ・
	面積(m) 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度			* 3 M/mm · 6N/mm	6 コンクリートの調合	セメントの種類 コンクリートの打込みから材齢28日までの			すべり係数試験 ・行う (試験方法 ・) * 行わない (7.4.2) ・JIS形高力ボルト * 行わない
	仕上げ 部位等 仕上げ 床 合板張り又はピニル床シート張り その他())		<u>· B種</u>			予想平均気温6Φ範囲 (°C) 普通ポルトランドセメント 8 ≤ θ 0 ≤ θ ≤ 8 混合セメントのA種・・・ 0 ≤ θ ≤ 8			セットの種類 * F10T すべり係数試験 ・行う (試験方法 ・) * 行わなり (7.4.2) ボルト長さがネジの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ (7.4.7)
	内壁・天井 ○合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エマルションパイント塗 ・その他 (工法	盤の位置及び種類 * 図示 (4.5.4) ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.5) ・場所打ち銅管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法		早強ポルトランドセメント 5≤0 0≤0≤5 中庸熱ポルトランドセメント 11 ≠0 0≤0≤11			ボルト長さがネジの呼びの5倍を超える場合の回転量 · (7.4.7) (7.12.4) セットの種類 * F8T相当 ·
	屋根 ・ 登装溶融亜鉛メッキ鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗・・その他(孔壁(の超音波測定 * 行わない ・行う 水平方向の位置ずれ精度 * 図示		低熱ポルトランドセメント 1 4≤θ 0≤θ≤14 高炉セメントB種・・・・ 1 β≤θ 0≤θ≤13			摩擦面の処理 ・ブラスト処理(表面粗度50µmRZ以上) ・リン酸塩処理
			5 砂利、砂及び捨て 材料 石	砂利 ・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石 (4.6.3) ~ (4.6.5)		フライアッシュセメント B種 0≤θ 0≤θ≤9 構造体強度補正値(S)[N/mm2] 3 6			すべり耐力試験 * 行う (試験方法 * 図示 ・
(4)監督職員事務所の備	品 机、椅子、黒板又はホワイトボード、掛時計、寒暖計、衣類ロッカ-、冷暖房機器、ゴム長靴、雨がっぱ、 保護帽、書棚、製図版、懐中電灯、消火器、湯沸器、掃除具、案全帯、請負者加入電話の子機、 携帯電話、FAX、コビ- * インターネット、メール送受信が可能な環境とすること。		1	砂 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 捨てコンクリート * 標任6章14節無筋コンクリートによる ・ 砂利及び砂地業 * 60mm ・		予想平均気温0の範囲については「川西市建築工事コンクリート温度補正基準」 によるものとする。		5 普通ボルト	緑端距離、間隔、ゲージ * 図示 ・ (7.3.2)普通ボルト径 * 図示 ・ (7.2.3)
⑤工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる (○有償 ・無償)		1	が N A A A A A A A A A A A A A A A A A A		調合条件(普通コンクリート) (6.3.2) 空気量 4.5%(AE剤、AE減が剤、高性能AE減水剤使用時)		5 旨通小ルト	(7.2.3) 緑端距離、間隔、ゲージ * 図示 ・
⑥工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない(関電柱より直接引込のこと) ○ 利用できる ○ 有償・無償)			範囲 * 図示 ・材料 * ポリエチレンフィルム (厚さ 0.15 mm以上) ・		水セメント比 ・65%以下 (普通、早強及び中庸熱ポルトランドセメント及び混合セメントA種・60%以下 (低熱ポルトランドセメント及び混合セメントB種)	(i)	6 アンカーボルト	アンカーボルト 種類 ・構造用アンカーボルト (材質 * 図示)(7.2.4) (7.10.3) ・建方用アンカーボルト (材質 * 図示 ・)
⑦交通整理員	・ 延べ 人 (都道府県公安委員会の認定を受けている者) ① 適宜	X		良工法 * 図示		単位水量 185kg/m3以下 単位セメント量 270kg/m3以上			アンカーボルト及びナットのねじ * 標仕表7.2.3 / ・ (7.2.4) 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 * 図示 / ・ (7.10.3)
8工事区域内除雪	○適宜	<u> </u>	1 鉄筋 鉄筋の利	混合処理工法における六価クロム溶出試験 * 行う ・行わない (5.2.1)		混和剤 ・AE剤、AE減水剤、高性能AE減水剤及びフライアッシュ以外の混和剤の使用 種類 () 使用方法 () 使用量 ()			建方用アンカーボルトの保持及び埋め込み種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 緑端距離、間隔、ゲージ * 図示 ・ (7.3.2)
③ ①埋戻し及び盛土 土	種別 · A種 ○B種 · C種 · D種 標仕 (3.2.3) (表3.2.1)	5 鉄	種類の ・SD2	記号 呼び名 (mm) 規格 195A *D16以下・ US C 2442		適用部以外は構造図による (6.10.1)			柱底モルタル 工法 * A種 · B種
事 ②建設発生土の処理	●構外搬出適切処理 標仕 (3.2.5)・構内指定場所に敷均し ・建物周囲 ・	筋工事	· SD3	45 *D19以上 · JIS G 3112		空気量 5.0%(AE剤、AE減水剤、高性能AE減水剤使用時) 水セメント比 55%以下			種別 *無収縮モルタル/・
2 4 57 4 6 47 +	・構内指定場所に堆積 ・図示 ・ 山留めの存置 ・行う ・行わない 標仕 (3.3.3)			綱の形状、寸法等 (5.2.2) 寸法等(縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格		単位水量 · 320kg/m3以下 · 340kg/m3以下		7 溶接接合	溶接技能者の技量付加試験 * 行わない・行う (7.6.3) 開先の形状 * 図示・ (7.6.4)
3 山留めの撤去	山笛のの存直 ・行う ・行わない (示正 (3.3.3) ・試験杭 (4.2.2)			0×100		単位セメント			エンドタブの種類 * 代替タブ・「鋼製タブ (7.6.7) エンドタブの切除 * 見掛り部分 ・ 見隠れ部分 ・ 切除しない (* 代替タブ使用・) スカラップの形状 * 図示・
地	本数 ・ 寸法 ・		3 鉄筋の継手及び定着 継手方法	法等 (5.3.4)		使用量(8 溶接部の試験	適用部以外は構造図による 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験 * 行う ・行わない (7.6.11)
事	試験後の試験杭 · 本杭としない * 本杭とする ・杭の載荷試験 (JGS1811~JGS1816、JGS1831) (4.2.3)		柱、梁	cの主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 の鉄筋() ・重ね継手 ・	7 打継ぎ	打継ぎ目地 * 設ける ・設けない (6.6.3) 目地寸法 * 図示 ・			工場溶接の場合
	試験方法 ・鉛直載荷試験 (・押込み試験・先端載荷試験・引抜試験・鉛直を番載荷試験 ・急速載荷試験 ・ 衝撃載荷試験) ・水平載荷試験 (・単サイクル ・ 多サイクル)			適用部以外は構造図による	8 型枠	打放し仕上げ部打増し厚さ 外部 ・20mm ・ (6.8.2) 内部 ・10mm ・20mm ・		9 ターンバックル	検査水準 * 第6水準 ・ ねじの呼び * 図示 ・ (7.2.6)
	位置及び本数 * 図示 載荷荷重()		鉄筋の重	重ね継手 梁の主筋の配筋 * 図示・		ひび割れ誘発目地 位置 * 図示・ 形状 * 図示・		9 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	建築用ターンバックル 種類 * 割枠式 ・ 建築用ターンバックルボルト 種類 * 羽子板ボルト ・
	・地盤の載荷試験 (JGS1521) 試験方法 * 平板載荷試験 ・		上記り	7.01		寸法 * 図示 ・ せ ぎ 板 材料 * JAS「コンクリート型枠用合板の規格」B-C (6.8.3)		10 デッキプレート	構法の種類 材質 形状 寸法 接合方法
	試験位置 * 図示・ 載荷荷重()		I * * *	梁の主筋の継手 * 同一箇所に設けない ・同一箇所に設ける み工法等の場合のみ)		・JAS「コンクリート型枠用合板の規格」表面加工品 ・断熱材兼用型枠材			・デッキプレー・単独の構法 *図示 *図示 ・合成スラブ構法 *図示 *図示 ・床型枠用抗生デッキプレート *図示 *図示 ・ ・
2 既製コンクリート 杭地業	種類 ・PHC杭 ・SC杭 ・PRC杭 ・RC杭 ・PC杭 ・ 立法及び継手等 (4.3.2)		鉄筋の気	定着長さ * 標仕表5.3.4による・		MCR工法用シート * 設置しない ・設置する(・一般タイプ ・両端フラットタイプ ・接着剤付きタイプ) スリーブ 材料 ・紙チューブ ・鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛鍍金鋼板			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	杭径(mm) 杭長 (m) 及び種別 継手数 セット数 杭先端の形状		機械式	継手及び溶接継ぎ手の場合のあき * 図示 ・ (5.3.5)	/	・つば付き鋼管 部位 * 図示 ・		11 レール	天井クレーン走行用等レール (7.2.8) 形状 * 図示 ・
	·打込み工法 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *		4 各部配筋 各部の配	配筋の詳細 * 図示 (5.3.7)	9 試験	*強度試験、スランプ試験、空気量試験、温度試験、塩化物量試験		49.健康环境等	寸法 ※図示・
	・打込み工法		5 圧接試験 *超音波	按探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)		採取場所 * 荷卸地点 ・ポンプ車筒先 製造所及びコンクリートの種類が異なるごとに1日1回以上かつ、150m3ごと 試験回数 及びその端数につき1回以上とする。		12 錆止め塗装	塗料の種別 (7.8.3) 鉄鋼面 屋外 * 標仕18.3.2表18.3.1 A種 ・ 屋内 ・標仕18.3.2表18.3.1 B種
	プレボーリングによる掘削深さ及び径 * 図示 打込杭の推定支持力の算定方法 * 図示		6 機械式継手 及び溶接継手 機械式線	継手 種類 * 図示 · (5.5.2) 工法 * 図示 ·		一回の試験に使用する供試体の数量は材齢に応じ、それぞれ3本とする。 採取方法 最初の運搬車及び適切な間隔を空けた運搬車から採取する。		,	溶融亜鉛鍍金鋼面 屋外 * 標仕18.3.2表18.3.2A種 · 標仕18.3.2表18.3.2B種 屋内 * 標仕18.3.2表18.3.2A種 · 標仕18.3.2表18.3.2B種
	杭の水平方向の位置ずれ精度 * 図示 杭の傾斜 * 1/100以内 ・			品質確認方法 * 図示 ・ 修正方法 * 図示 ・		型枠解体用 コンクリート製造者のプラント工事現場における水中養生 試験		/	・標仕18.3.2表18.3.2C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の構成スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
	・セメント に かく で	}	溶接継	手 工法 * 図示 · (5.5.3)		型制 公的試験所 工事現場における水中養生(構造体ユックリート強度用 91日用 公的試験所 工事現場における封緘養生 スランプ・空気量・温度 それぞれの強度試験用供試体作成時			* 標仕18.3.2表18.3.1 A種 ・ 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う (* JIS K 5625 ・)
	支持地盤への根入深さ * 図示 ・	6	1 コンクリートの種類 コンク!			A777 ・空丸重・温度 それぞれの強度試験が出失試験が手成時 塩化物量			* 行わない
				通コンクリート・軽量コンクリート		単位容積質量 * 行わない ・行う(・普通コンクリート ・軽量コンクリート)		13 耐火被覆材	種別 所要性能及び適用構造部位
	工法 ・平成14年1月11日付け国土交通省住宅局建築指導課事務連絡に基づく旧38条認定工法 ・建築基準法施行規則第1条の3第1項の規定に基づく認定工法 ・指定性能評価機関による技術評定を取得し、地盤の条件等が評定の適用範囲内のもの		I	ーミクストコンクリートの類別 類 · II 類	/	単位水量試験 * 行う ・行わない 試験方法 * 高周波加熱乾燥法・減圧式加熱乾燥法・乾燥炉法・静電容量法 ・連続式ラジオアイソトープ法 ・水濃度測定法 ・塩分濃度差法			・ラス張りモルタル塗り ・耐火材 ・乾式吹付けロックウール 吹付け ・半乾式吹付けロックウール
	抗の水平方向の位置ずれ精度 * 図示 支持地盤の位置及び種類 * 図示			ンクリートの調合管理強度 (6.2.2) 計基準強度FC (N/mm2) 適用箇所	/	・連続式フジイアイットーク法 ・水濃度測定法 ・塩ガ濃度差法 ・エアメーター法 ・水中質量法 適用部位 * 構造体コンクリート打設部位 ・			・湿式ロックウール
	杭の傾斜 * 1/100以内 ・		- 2	443 /	10寒中コンクリート	寒中コンクリートの適用期間 (1月11日から2月10日) (6.11.1)			・耐火材巻付け ・耐火板張り
	継手工法 ・アーク溶接 (4.3.6) ・無溶接継手 (4.3.6)			適用部以外は構造図による				14 軽量形鋼構造	ボルトの接合方法 * 図示 ・ (7.11.2)
2025. 03. 17			社URリンケージ ^{所 東京都知事登録 第27596号}	株式会社YAP一級建築士事務所	上 大 大 大 大 大	名 図面名称 井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の		⊬±=⊐≠±	編尺 図面番号 (2) - A1-04
ZUZJ. UJ. 17	UNソンソーン・IAI 共同止未体		所 東京都知事登録 第27096号 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 天阪村知事登録 (口) 第25/30号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計 /	設計寺事果『 太陽 元先竜・地中恐利用による伎場庁音寺の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事		特記仕様	· A1-U4

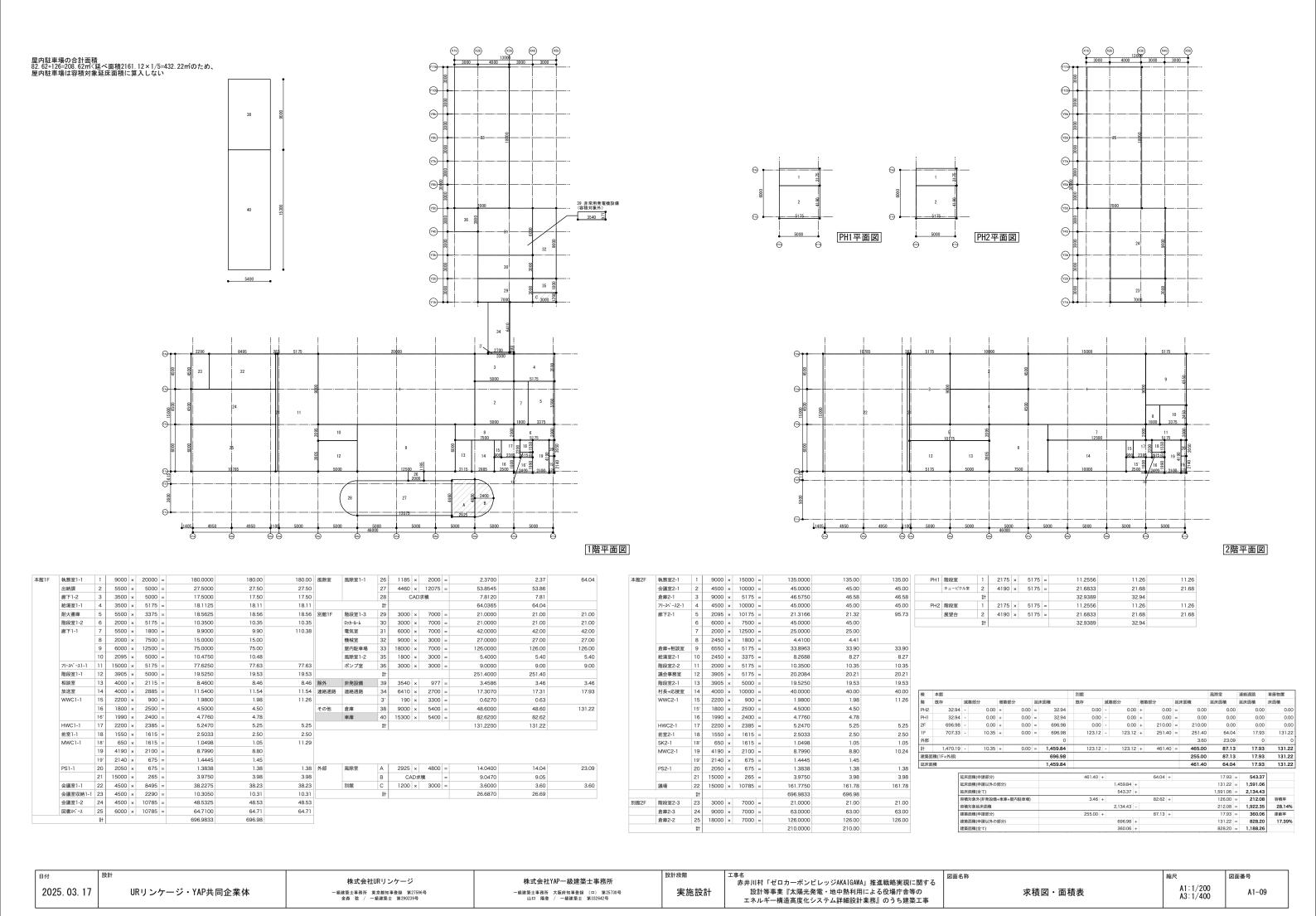
4 424-1-	I	(8.2.24	20-244	,	B-487 (A)	- H	######################################	
8 1 補強コンクリート ブロック造	断面形状及び 正味厚さ モデュール 種類	1	PCコンクリート下地 改修標仕 (3.5.4) 目地処理方法 ※図示・ S-F1、S1-F1工法の増貼り方法 ※図示・		取付用モルタル (10.2.3) 既調合目地モルタル (10.2.3) 外壁湿式工法ドレンパイプ 材質 ※図示 (10.2.3)	2 集成材	集成材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (F☆☆☆) · 標仕 (12.2.1) ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 標仕 (12.2.1)	
コンクリ		10-12-17 /11-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-1	3+1、31-+1 上法の増貼り方法 ※図示 ・		外壁湿式工法トレンハイブ 材質 ※図示 ・ (10.2.3) 充填材料等 ※図示 ・ (10.2.3)		品名 見付け材面の品質 放材 化粧薄板の厚さ	
) 	元填用及びまぐさ用コンクリート ※レディミクストコンクリート ・標仕8.2.43	表8.2.2の調合(8.2.4) 4 塗膜防水	改修標仕 (3.6.3	4 石張り工法	・壁石張 (10.3.2) (10.3.3)		・造作用集成材 ※1等 ・2等 ・化粧ばり造作用集成材 ※1等 ・2等	
ロ ッ ク	充填部及びまぐさ部以外のコンクリート ※設計基準強度21N/mm2 ・ 各部配筋 ※図示 ・	(8. 2. 5)	防水工法の種類 施工個所 • X-1		施工部位 取付工法 水地ごしらえ ・外壁湿式工法 ※流し筋工法		・化粧ばり構造用集成材	
. A 2 コンクリートブロック		(8.3.2)	· X-2 · Y-1 · Y-2		あと施工アンカー工法・あと施工アンカー横筋流し工法		・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 標仕 (12.2.1)	
L C パ	断面形状及び 正味厚さ モデュール 種類 中が寸法 外部形状 透水姓 化粧有無		X-1工法脱気装置 種類 ※SUS304 ・ポリスチレンABS樹脂 改修標仕 (3.6.3		・内壁空積工法 ・あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー構筋流し工法		品 名 見付け材面の品質	
ル・	・空洞ブロック-16 ・空洞ブロック-08		数量 ※材料製造所の仕様・ Y-2工法保護層・保護コンクリート・保護モルタル 改修標仕(3.6.3		・乾式工法・スライド方式・メリッキング方式		・造作用集成材 ・ 化粧ばり造作用集成材2 ・ 3 は構造図による	
押 出 成					目地幅 (10.3.3) (10.4.3) (10.7.2)		・化粧ばり構造用集成材	
形 セ メ	各部配筋 ※図示・	(8.3.3) 5 ケイ酸質系	防水工法の種類施工個所		外壁湿式工法 一般日地 ※図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		含水率 ※15%以下	
ン 3 A L Cパネル ト 板		(8.4.2) (8.4.3) 取付構法種別	· C-UI · C-UP		寸法 ※表9.7.3(a)(3) ・ 内壁空積工法 一般目地 ※図示 ・	3 単板積層材	造作用単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (F☆☆☆☆) 標仕 (12.2.1) - 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 標仕 (12.2.1)	
事	<td -="" left;"="" left;"<="" new="" of="" properties="" rowspan="2" style="text-align: left;" td="" text-align:=""><td>種 ・B種 種 ・D種 ・E種</td><td>下地処理 ※標仕9.6.4による・ 標仕 (9.6.4</td><td></td><td>伸縮調整目地 位置 ※図示 ・ 寸法 ※表9.7.3(a)(3) ・</td><td></td><td> 仕上の分類 厚さ 表面の品質(等級) 防虫処理 表面化粧加工 有 ・ ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・</td></td>	<td>種 ・B種 種 ・D種 ・E種</td> <td>下地処理 ※標仕9.6.4による・ 標仕 (9.6.4</td> <td></td> <td>伸縮調整目地 位置 ※図示 ・ 寸法 ※表9.7.3(a)(3) ・</td> <td></td> <td> 仕上の分類 厚さ 表面の品質(等級) 防虫処理 表面化粧加工 有 ・ ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・</td>	種 ・B種 種 ・D種 ・E種	下地処理 ※標仕9.6.4による・ 標仕 (9.6.4		伸縮調整目地 位置 ※図示 ・ 寸法 ※表9.7.3(a)(3) ・		仕上の分類 厚さ 表面の品質(等級) 防虫処理 表面化粧加工 有 ・ ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・
'	·屋根用 · ※平 · F ·床用 · ※平 · F		0 肥工宗	※設置する 表示位置 監督員の指示する場所 材質 SUS304 t=1.2以上		乾式工法 ※図示 ・ だぼ穴位置 ※図示 ・		- 表面化粧加工 無 ・ ・1等 ・2等 ・3等 ・
'	床用パネルの耐火性能 ※あり(・1時間耐火 ・2時間耐火) ・なし 出隅及び入隅のパネル接合部の目地 > スチロコウロント 61.7 にませいた [57]						・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 標仕(12.2.1) 仕上の分類 厚さ 表面の品質 防虫処理 含水率	
'	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □]による	防水施工票		・床及び階段の石張り (10.6.2) 目地幅 屋外 ※4mm以上・		・表面化粧加工 有 ・ ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ・ ※14%以下	
'	耐火目地材 免填する ・充填しない パネルと他部材との取合い部の目地		工事期間		屋内 ※3~6mm ・ 伸縮目地 位置 ※30㎡毎(6m程度ごと)及び他部材取り合い部 ・		· 表面化粧加工 無 · · · · · · · · ·	
'	目地幅 / ※図示 ・ 耐火日地材 ・充填する ・充填しない		防水完成年月			4合板等	合板のホルムアルデヒド放散量 ○規制対象外 (F☆☆☆☆) 標仕 (12.2.1) 合板の厚さ ・図示 標仕 (12.2.1)	
4 押出成形セメント板		(8.5.2) ~ (8.5.5)	保証期限	11 1 陶磁器質タイル	タイルの種類 標仕 (11.2.2) (11.3.2) (11.4.2) ************************************		品名 樹種 接着剤の程度 板面の品質 防虫処理	
(ECP)	施工場所 表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 取付工法 ・外壁 ※フラットパネル ・ A種 ※あり	耐火性能 り () 時間	標準仕様メーカー仕様	タイル	施工箇所 (mm) 施釉 無釉 I I II 有 無 有 無 標準 特注 有 無 運用		・ 普通合板 (広葉樹)・	
	・デザインパネル ・タイルベースパネル	i	材料メーカー	事			普通合板の難燃処理及び防炎処理 ・行う ○行わない	
	・間仕切壁 ※フラットパネル ・B種 ※あり		工事施工業者 TEL				構造用合板の強度等級の指定 ・指定しない ○指定する (構造図参照)	
	・デザインパネル ・Q種 ・なl		工事元請業者 TEL		役物形状 ・図示 ・適宜 標仕 (11.2.2) (11.3.2) (11.4.2) 見本焼き ・行わない ・行う (※外壁タイル ・)		品名 裏表面の区分 曲げ強さ・接着剤の区分 難燃性の区分 ・パーティクルボード ・RN ・VN ・VS ※13 P 又は13M ・2級 ・3級	
/ '	出隅及び入隅のパネル接合部の目地 目地幅 ※15mm ・				試験張り ・行わない ・行う (※外壁タイル ・)		・構造用パネル 等級 ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 標仕 (12.2.1)	
	日地種類 ※伸縮調整目地・ パネルの欠き込み等 ※行わない ・行う (開口限度 ※図示・)		200	2 タイル張り工法	・セメントモルタル張り 標仕 (11.2.7) タイルの種類 工法 躯体表面処理 下地 規格寸法		厚さ・図示・	
⑤ ①アスファルト防水	,		注 記載文字:耐水耐候性で保証期間内は明確に判読できること 設置方法:保証期間内に脱落しないよう、材料メーカー打合せの上で決定する。		・内装タイル ・改良積上げ張り ・MCR工法 ※標仕15.2.5(c) ・100角 ・目前し工法(高圧水洗) ・南棟 土間 ・50角	5)接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤	
(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	防水工法の種類 施工個所	改修標仕 (3.3.1)			・素地のまま		(以下、「ユリア樹脂等」という。) を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量	
水工事	- A-1 · A-2 · A-3 · AI-1 · AI-2 · AI-3	7 保証書及び	保証書は元請業者、施工業者及び製造メーカーの連名とする。(シーリングは除く) ・ アススファルト防水(年)・ 合成高分子系ルーフィングシート防水(年)・ 塗膜防水(年)		・ 密着張り ・ 機能は		→規制対象外(F☆☆☆) ・第三種	
*	· B-1 · B-2 · B-3	®シーリング	シーリング材 種類 ・図示 ① 牧修標仕または標仕9.7.2表9.7.1 改修標仕(3.7.2)		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td>⑥防腐・防蟻処理</td><td>・薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理 適用部位・ 標件 (12.3.1) 保存処理性能区分・K1・K2・K3・K4・K5</td></td>	<td>⑥防腐・防蟻処理</td> <td>・薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理 適用部位・ 標件 (12.3.1) 保存処理性能区分・K1・K2・K3・K4・K5</td>	⑥防腐・防蟻処理	・薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理 適用部位・ 標件 (12.3.1) 保存処理性能区分・K1・K2・K3・K4・K5
'	<u>· BI-1 · BI-2 · BI-3</u> <u>· D-1 · D-2 · D-3 · D-4</u>		施工箇所 ※図示 ・改修標仕または標仕9.7.2表9.7.1 目地寸法 ※改修標仕または標仕9.7.3 ①図示 改修標仕(3.7.3)		1ニットゥイル ・モザイクタイル張り 目荒し工法 (高圧水洗) ・ ・50角 ・ 素地のまま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			- 薬剤の塗布等による防腐防蟻処理 適用部位 処理の方法 ※改修標仕6.5.5(a)(iii)②
'	<u>· DI-1</u> · <u>DI-2</u> <u>· E-1</u> · <u>E-2</u>		コンクリート打継目地、ひび割れ誘発目地 ※幅10mm、深さ10mm がラス廻りの目地 ※数修標仕または標仕16.14.3以外幅5mm、深さ5mm		・接着剤張り 標仕 (11.3.7)		・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐防蟻処理 ●防虫処理 適用部位 ● 適宜 標仕 (12.3.2)	
'	保護コンクリート 種類 ※普通コンクリート ・ 軽量コンクリー ト 改修構 仕上 ※鏝押え ・タイル張	順任 (3.3.2) (3.3.5)	上記以外の目地 ③幅10mm、深さ10mm ・		タイルの種類 工法 躯体表面処理 下地 規格寸法 ・内装タイル ・内装壁*/Mを着剤張り ・MCR工法 ※標仕15. 2. 5 (c) ・100角		保存処理性能区分 ・ K 1	
'	厚さ ※80mm ・60mm 押え金物 材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス (SUS304) 製	改修標仕 (3.3.2)	接着性能試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 改修標仕 (3.7.5)		・目荒し工法 (高圧水洗) ・ ・50角 ・素地のまま	⑦木下地等	間仕切軸組に用いる木材 ・杉又は松 ・ 標仕 (12.4.1)	
'	形状寸法 ※図示 · L-30×15×2.0	10 1 石工事一般	石材の割り付け ※標仕10.1.3 ・図示 (10.1.3)	1	・内装タイル ・外装壁94A接着剤張り ・MCR工法 ※標仕15.2.5(c)・小口	()×1,724	床組に用いる木材 土台、転ばし大引き、転ばし根太 ・ひのき又は保存処理木材 ・	
'	断熱工法の断熱材 厚さ ※図示・	改修標仕 (3.3.2) 石 2 石材	・天然石 (10.2.1) (10.3.2) (10.4.2) (10.5.2) (10.6.2) (10.6.3) (10.7.2) 施工部位 石材種類 産地・名称 形状・寸法 表面仕上げ 石裏面処理 裏打ち処理 品質		・素地のまま		その他 ・杉又は松 窓、出入り口その他に用いる木材 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ・ひのき ・ 標仕 (12.5.1)	
'	屋根保護防水断熱工法 ※A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b	4	- 1等品 · 2等品		・内装9イル以9/の ・外装壁9イル接着剤張り ・MCR工法 ※標仕15. 2. 5 (c) ・小口未満 ・目荒し工法 (高圧水洗) ・		その他 ○ 杉又は松 ・ 標仕 (12.6.1)	
'	屋根露出防水断熱工法 A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は ・		· 1等品	1 1	・素地のまま		壁及び天井下地に使用する木材 ○ド又は松 ・ 標仕 (12.7.1)	
'	・ 絶縁用シート 屋根保護防水密着工法、屋根保護防水絶縁工法	改修標仕 (3.3.2)	· 2等品 · 1等品		・規制対象外 (F☆☆☆☆) ・第三種 外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 標仕 (11.3.3)	⑧仕上げ	見え掛り面 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 標仕 (12.1.4)	
'	※ポリエチレンフィルム (0.15mm以上)		- 2等品 - 1等品		・行う ・行わない 標仕 (11.4.2) (11.4.3)	9材料	針葉樹製材は、JAS乾燥認定工場から出荷された木材は、出荷証明書を、その他の工場から出荷された木材は、北海道林産物検査会が発行する検査証明書を提出すること。	
'	屋根保護防水密着断熱工法、屋根保護防水絶縁断熱工法 ※ポリプロピレン製フラットヤーンクロス(70g/m2程度)				種類 規格寸法 せき板の種別 ・タイルシート法・小口 ※標仕6.8.3 (b) (2)			
'		2 石材 改修標仕 (3.3.5)	テラゾブロック及びテラゾタイル 種石 種類 ※大理石 ・花崗岩		・目地桝法 ・二丁掛 ・金属製タイル先付け用パネル ・桟木法 ・大形	1 長尺金属板葺	た工箇所 規格名称 厚さ 屋根葺形式 屋根葺工法	
'	数量 ※ルーフィング類製造所の仕様 ・ 仕上塗料 ※材料製造所の仕様による・	改修標仕 (3.3.3)	大きさ ※1.5~12mm ・		196, 1, 1988	屋根及	※塗装溶融55%7ルミ=ウム-亜鉛合金鍍金鋼板	
'	立上り部の保護 改修標	栗仕 (3.3.2) (3.3.5)	・テラゾブロック (10.2.1) (10.3.2) (10.4.2) (10.5.2) (10.6.2) (10.6.3) (10.7.2 施工部位 石材種類 産地・名称 形状・寸法 表面仕上げ 石裏面処理 裏打ち処理 品質	3 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	外壁 ・図示 ・ 標仕 (11.1.3) (11.3.4) 床 ・図示 ・	ਹਿੰ ਹ	- 塗装溶融亜鉛鍍金鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25) ・ 横葺	
	● 乾式保護材 ※材料製造所の仕様による ・ れんが ※普通れんが及び化粧れんが(JISR1250) ・		· 1\(\(\frac{1}{3}\)		屋内 ・入隅部、建具枠廻り及び設備機器取合い部 ・	事	下葺材料 ※アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般 ・複層基材 ・粘着層付)	
	・コンクリート押え ・モルタル押え (屋内)		· 2等品 · 1等品	4 視覚障害者誘導用 床タイル	・磁器質タイル (JIS T 9251) ・ 寸法 ・300角 ・400角		雪止め ※設置しない ・設置する 標仕 (13.2.3)	
	屋上排水溝 ※図示・	改修標仕 (3.3.5)				②折板葺	標件標件 (13.3.2)	
2 改質アスファルト シート防水	防水工法の種類 施工個所	標什 (9.3.3)	・テラソタイル (10.2) (10.3.2) (10.4.2) (10.5.2) (10.6.3) (10.7.2) 施工部位 石材種類 産地・名称 形状・寸法 表面仕上げ 石裏面処理 裏打ち処理 品質	1 製材	・「製材の日本農林規格」による製材 標性 12.2.1) 樹種 等級 形状 寸法 含水率		施工箇所 規格名称 厚さ 形式 形状 軒先面戸 耐火性能 屋根 ①塗装溶融55%7ルミニウム-亜鉛合金鍍金 ①. 8mm ・重ね形 ①あり ③0分	
> I MAN	- AS-T1 · AS-T2 · AS-J1 - AS-T3 · AS-T4 · AS-J2		・1等品 ・2等品	<u>*</u>	・下地用針葉樹製材 ・ ・1級 ※2級 ※図示 ・		鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150) ・0.6mm ○ はぜ締め形 ※図示 ・なし ・なし ・ なし ・ なし ・ 変装溶融亜鉛鍍金鋼板及び鋼帯 ・0.4mm	
	· ASI-T1 · ASI-T2	##/L (2.2.2.)	· 1等品 · 2等品	事	(それ以外) ※小節・		(CGCCR-20-Z25) 断熱材張り ・行う (→)行わない	
	断熱工法の断熱材 厚さ ※図示・ 屋根露出防水絶縁断熱工法 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号				・広葉樹製材 ・ ・1級 ※2級 ※図示 ※図示 ・		断熱材 種別 ・	
	・ 脱気装置 種類 ※SUS304 ・ポリスチレンABS樹脂	標仕 (9.3.3)	外壁湿式工法及び内壁空積工法 (10.2.2 受け金物/材質 ※SS400 (10.2.2]	・「製材の日本農林規格」以外の製材 標件 (12 2 1) 樹種 難燃処理 形状 寸法 含水率		厚さ ・ 防火性能 ・	
'	数量 ※改質アスファルトシート製造所の仕様・ 防湿層	標仕 (9.3.3)	寸法 ※図示 · L-75×75×6 l=100mm又は150mm 錆止め ※標仕18.3.2表18.3.1A種 ·		・下地用針葉樹製材 ・ ※図示 ※図示 ・造作用針葉樹製材見え掛り ・ ※図示 ※図示		けらば納め ・けらば包みによる方法 ・変形防止材 (L-30×30×3以上) による方法 耐雪性能に応じた工法 ○ 適用する (○ 図示 ・) ・適用しない	
	屋根露出防水絶縁断熱工法 ・設ける ・設けない		乾大工法 ※標仕10.2.2表10.2.4 · 特殊部位用		(それ以外)・	0 46.1	標件 (13 4 2) (13 4 3)	
3 合成高分子系ルー	Maria de como de la constanta	改修標仕 (3.5.3)	引き金物、だぼ、鎹、受け金物 ※標仕10.2.2(a) ・ ファスナー ※標仕10.2.2表10.2.4スライド方式 ・		造作材の品質 ※A種 B種 代用樹種 ※適用する・適用しない 1・2・3は構造図による	3 粘土瓦葺	地瓦 300×270 左右袖瓦、野郎軒瓦 ・7芯丸伏せ棟	
フィングシート防水	防水工法の種類 厚さ (mm) 施工個所 ・S-F1 ・S-F2 ・		吊り金物、化粧吊りポルト 材質 ※図示・ 形状 ※図示・		※標仕表12.2.3による		・のし一体積 ・のし積み棟	
1	<u>·</u> SI-F1 · SI-F2 · SI-F3 · <u>·</u> S-M1 · S-M2 · S-M3 · .		アンカー 湿式工法及び空積工法 材質 ※SS400 ・		・代用樹種を適用しない箇所 () 現場搬入時の含水率 ※A種 ・B種	4種	竪樋の材種 外部 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・配管用鋼管 (白管) →ガルバリウム 標仕 (13.5.2)	
	· SI-M1 · SI-M2 ·		寸法 ※M12 ・ 乾式工法及び特殊部位 材質 ※SUS304 ・		(全断面の平均の推定値)		内部 ・配官用調官 (日官) ・便負ひり塩化ビニル官 (VP) ・	
	絶縁シート ※発泡ボリスチレンシート ・ 断熱工法の断熱材 厚さ ※図示 ・	改修標仕 (3.5.2) 改修標仕 (3.5.2)	寸法 ※M10 ・ あと施工アンカー 材質 ※図示 ・				防露材のホルムアルデヒド放散量 (・規制対象外 (F☆☆☆☆) ・ 受け金物 材質 ・SUS304 (・容融亜鉛鍍金鋼板	
	機械固定工法・※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		寸法 ※図示 ・ 引抜耐力試験 ※行う ・行わない				下り止め ・ 対料製造所の仕様 ・	
	接着工法 ※A種ポリスチレンフォーム保温材		その他の金物 ※図示・				ルーフドレン 径 ①図示 ・	
	I	V I		設計段階 工	事名 図面名称	L	位置 ○図示 ・ 図面番号	
日付 設計		#+ * V +TID + * *	*************************************		1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
日付 設計 2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケー - 級建築土専務所 東京都知事登録 第 金森 稔 / 一級建築土 第29023	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25730号		赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	特記仕村	羡書 (3) - A1-05	



NO.	点名	X	Υ	距離
1	33S57R9	-101615. 730	45891. 590	30. 963
2	K6172	-101612. 244	45922. 356	24. 764
3	K6174	-101636. 858	45925. 080	27. 232
4	A325KP	-101663. 925	45928. 077	6. 081
5	A330P	-101669. 982	45928. 617	38. 808
6	A338PIN	-101708. 558	45932. 857	15. 240
7	A355KP	-101709. 741	45917. 663	47. 253
8	K6181	-101714. 008	45870. 603	2. 801
9	TAL23	-101711. 881	45868. 780	11. 560
10	K6180	-101704. 069	45860. 259	84. 297
11	K6171	-101620. 289	45850. 941	40. 904

番号	底辺(mm)	×	高さ(mm)	÷	2	=	面積(㎡)
1	41240. 37	×	14334	÷	2	=	295. 56973179
2	46984. 65	×	1869. 08	÷	2	=	43. 909034811
3	78808. 77	×	34121. 71	÷	2	=	1344. 54499769835
4	57683. 54	×	6936. 28	÷	2	=	200. 0545924156
(5)	48929. 82	×	2204. 7	÷	2	=	53. 937787077
6	93376. 02	×	20946. 94	÷	2	=	977. 9709441894
7	110850. 66	×	16044. 89	÷	2	=	889. 2933230637
8	110850. 66	×	23532. 72	÷	2	=	1304. 3087717976
9	93730. 52	×	36786. 89	÷	2	=	1724. 0271644414
計					合	計	6833. 61634728405
		積	6, 833. 61 m²				

日付	設計	H-EALUBUA / W	44 - 4: 0.41V4D	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケージ - 銀建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 乾 / 一級建築士 第290239号	株式会社YAP 一級建築士事務所 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	敷地求積図	A1:1/200 A3:1/400	A1-08-2



棟	部 位	詳細部位	仕 上	備考
本館	屋根	-	既存のまま	
	外壁	外断熱部	湿式外断熱(EPS後貼り工法)	アスベストを含有有り(既存外壁仕上げ(吹付リシン)) 囲い込み工法による施工とする
		内断熱部	無機高分子リシン吹付 / ラスモルタル t15 / 鋼製下地	耐火構造・不燃仕上げ仕様 NM-8571同等品
		開口部	アルミ樹脂複合サッシ(Low-Eペアガラス)	
	風除室屋根	_	保護塗料 / アスファルト防水層 / ギルフォーム t100	
	風除室外壁	腰壁	表面強化剤 / コンクリート立上り H=900	
		開口部	アルミカーテンウォール	
	車寄せ床	-	インターロッキング 表面強化剤A / モルタル金ゴテ押え	
別館	屋根	-	折半166ハゼt0.8/タイトフレーム/アスファルトルーフィング/構造用合板t12/通気垂木20×40/透湿防水シート/構造用合板t24	
	外壁	外壁	ガルバリウム鋼板 t0.4縦ハゼ/金属胴縁 t15/透湿防水シート/強化PBt21+21/構造用合板t9	耐火構造・不燃仕上げ仕様
		開口部	アルミサッシ / スチールドア 軽量シャッター	
		ポーチ・外部階段床	表面強化剤A / モルタル金ゴテ押え	
	連絡通路屋根	-	保護塗料 / アスファルト防水層	
	連絡通路外壁	外壁	表面強化剤 / コンクリート打放	
		開口部	鋼製建具	45分間防火設備

2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケージ 一般建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	株式会社YAP一級建築士事務所 一級建築士専務所 大阪府知事登録(ロ)第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	エキ名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	外部仕上表	縮尺 A1:NS A3:NS	図面番号 A1-10	
--------------	------------------	--	---	------	---	-------	----------------------	---------------	--

								I			ま仕上はすべてF☆☆☆☆以上とすること	
坤	階数	室 名		床		壁		天井			備考	
114	PESS	± 14	天井高 仕上高	仕上げ	仕上げ	• 塗装	. 内装制限 排煙告示		塗装	内装制限 排煙告示	и н 73	
				下地	t ₇	也 ————————————————————————————————————	MAE 0.31	下地		DI AELI A		
本館	-1 17kb	±4.70℃1 1	2522	ピニル床シートt3		既存仕上撤去	→ 内・準	PB t9.5	EP	上	ーテンレール ーテン(別途)	
本貼	1階	執務室1-1	±0	既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24		躯体現し	, M. #	LGS19+PB t12.5		* 治	ロカウンダー・窓口棚 (別途) スク・イス・棚 (別途)	
		出納課	2522 ±0	ビニル床シートt3	PB t12.5+12.5 EP		告・不	PB t12.5		 - 告・不 ・デ	スク・イス (別途)	
				既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	LGS65			LGS19+PB t12.5				
			2522	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP 既存仕上	1		PB t9.5	EP	· -	ニター(別途)	
		会議室1−1	±0	既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	フェノールフォー ムt50/LGS65 躯体現し	(既存)CB壁	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	LGS19+PB t12.5		- 内・難 ・テ· ・置: 	ーブル・イス (別途) 型プロジェクター (別途)	
		会議室収納1−1	2522	ビニル床シートt3	PB t=12.5+9.5 EP	PB t=12.5+9.5 EP	·- 内•難			- 内・ 雑		
		女成主 (人間) 「		既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	フェノールフォームt50/LGS65	1	17. 24	躯体現し		17. 1		
		会議室1−2	2522 ±0	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP 既存仕上	散去 既存仕上撤去の上	: : 内•難	PB t9.5	EP	• テ- - 内・難 • 置:	ーブル・イス (別途) 型プロジェクター (別途)	
		云磯王1⁻2	±0	既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	LGS65 躯体現し	(既存)CB壁	, P. XE	LGS19+PB t12.5			ニター (別途)	
		図書スペース	2522 ±0	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP	: 既存仕上撤去の上AEP :	内•難	既存仕上撤去		・自・各・	習カウンター (別途) 重書棚 (別途)	
		囚音へハーへ	10	既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	フェノールフォームt50/LGS65	i .	, , XE	躯体現し		1.1	ス(別途) ロカウンター(別途)	
		フリースペース1-1	2522	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP 既存仕上	散去 既存仕上撤去の上		PB t9. 5	EP	・テ· - 内・準 ・カ	ーブル・イス (別途) ウンター (別途)	
				既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	LGS65 躯体現し	(既存)CB壁		LGS19+PB t12.5		・自	動販売機(別途)	
		放送室	2522 ±0	ビニル床シートt3	PB t12.5+9.5 EP	既存仕上撤去 	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	PB t9.5	EP	- 内·難 · 各	重機器(別途)	
				既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	LGS65 躯体現し		LGS19+PB t12.5					
		村民相談室	2522 ±0	ビニル床シートt3	PB t12.5+12.5 EP	, 既存仕上撤去 	- 告・不	PB t12.5	EP	- 告・不 ・テ·	ーブル・イス (別途)	
		竹风阳欧王		既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	LGS65	躯体現し		LGS19+PB t12.5				
		給湯室1−1	2522 ±0	ビニル床シートt3		, , 既存仕上撤去の上AEP -,	・・・内・準	PB t9. 5	EP	 - 内・準 ・キ	ッチン(シンク・フード既存利用) 器棚(別途)	
		11		既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	(既存) RC壁 /フェノールフォームt50	(既存)RC壁 (既存)CB/GL工法		LGS19+PB t12.5		· 艮	徐·彻(为) 远)	
		耐火書庫	2400 ±0		PB t9. 5 EP	 	→ 内・難	(既存) フレキシブルボード t=5.5		- 内・難・書	棚(別途)	
		P# / / P (T		既存のまま(ロンリューム)	(既存) G. L工法/ フェノールフォームt50	(既存)RC壁						
		廊下1-1	2522 ±0	ピニル床シートt3	PB t12.5+9.5 EP	既存仕上撤去 	・・・・内・準	PB t9.5 既存仕上撤去	EP	 - 内・準 ・ソ	ファ(別途)	
				既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	LGS65	躯体現し		LGS19+PB t12.5				
		廊下1-2	2522 ±0	ビニル床シートt=3	既存仕上撤去の上 AEP	PB t12.5+9.5 EP	- 告・準	PB t9.5	EP	告·準 国交	省告示228号 (壁・天井・床は下地を準不燃 省告示1440号 (壁天井は仕上を準不燃)	
				既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	(既存) CB/GL工法	LGS65		LGS19+PB t12.5		建政	自古示1440号(壁大井は仕工を準不然)	
		風除室1−1	2640 ±0/-750	表面強化剤A	アルミ建具	表面強化剤	. 内・準	コンクリート打ち放し A種		_ 内·準		
				モルタル金ゴテ押え	_	コンクリート立上り						
		MWC1-1 / WWC-1	2400 ±0	ピニル床シート t3	LGS50+耐水PB t12.5 EP	; 耐水PB t12.5+9.5 EP		ケイカル板 t=10	EP	· 手 · 化	先器 (機械工事) 脏鏡 (機械工事) 巻器 (機械工事) 器 (機械工事)	
		, -		既存床の上スタイロフォームt50 (不陸調整適宜) / 構造用合板t24	フェノールフォームt50	LGS65		LGS19+PB t12.5		・紙 ・便	5命、(媛慨工事 <i>)</i> 器 (機械工事)	
		HWC1-1	2400 ±0	ピニル床シート t3	耐水PB t=12.5+9.5 EP	1 1 1 1		ケイカル板 t=10	EP	- 多	機能トイレ	
		HWC1-1 ±0		既存床の上スタイロフォームt50 (不陸調整適宜) / 構造用合板t24	LGS65			LGS19+PB t12.5			多機能トイレベビーベッド	

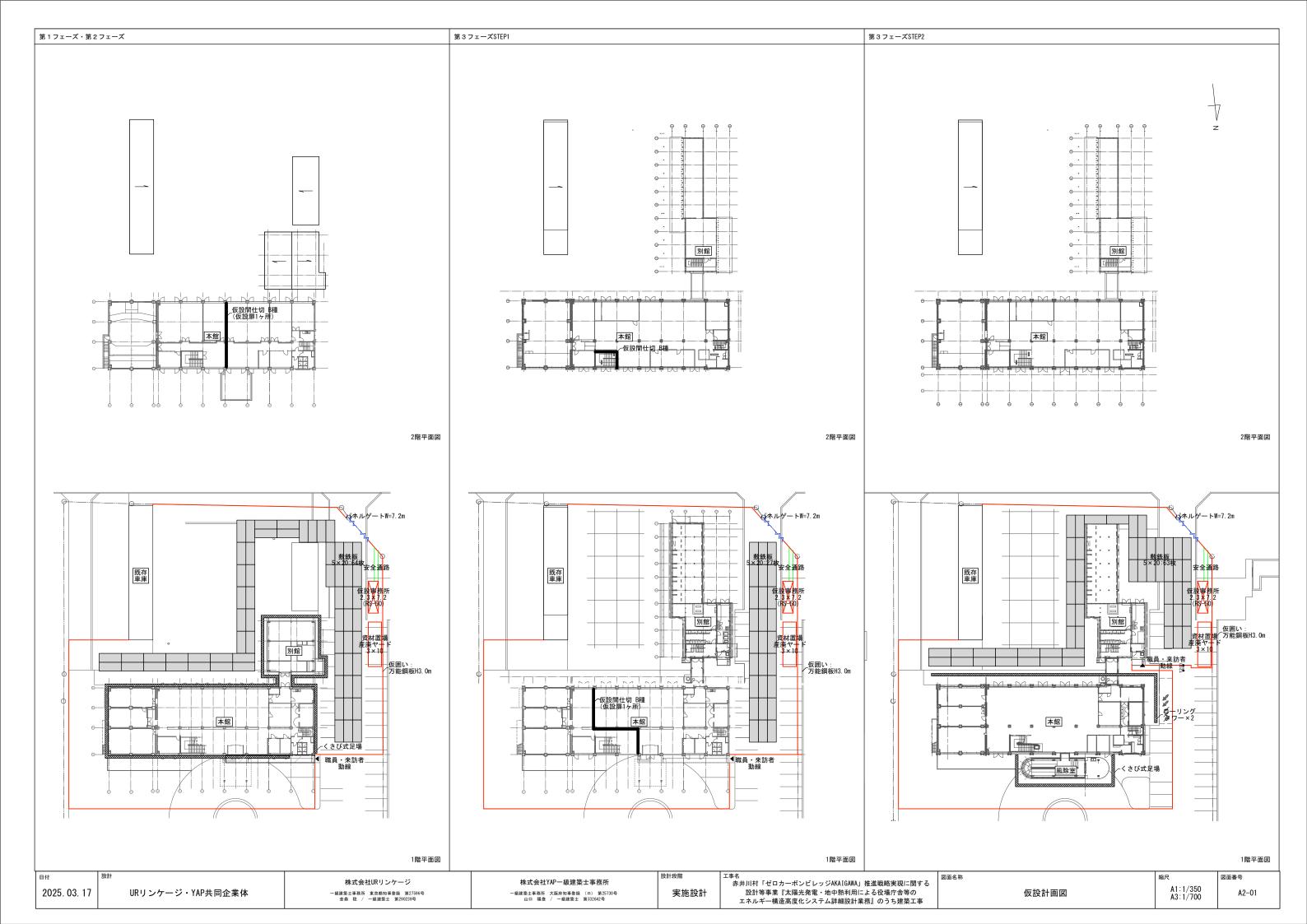
日付	設計			設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケージ - 級建策士事務所 東京都知事登録 第27596号	株式会社YAP 一級建築士事務所 - 級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号	 実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の	内部仕上表(1)	A1:NS	A1-11
2020. 00. 17	のバグングン「ババス円正米件	金森 稔 / 一級建築士 第290239号	山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	A NE IX II	エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	P3邮位工数(1)	A3:NS	, I

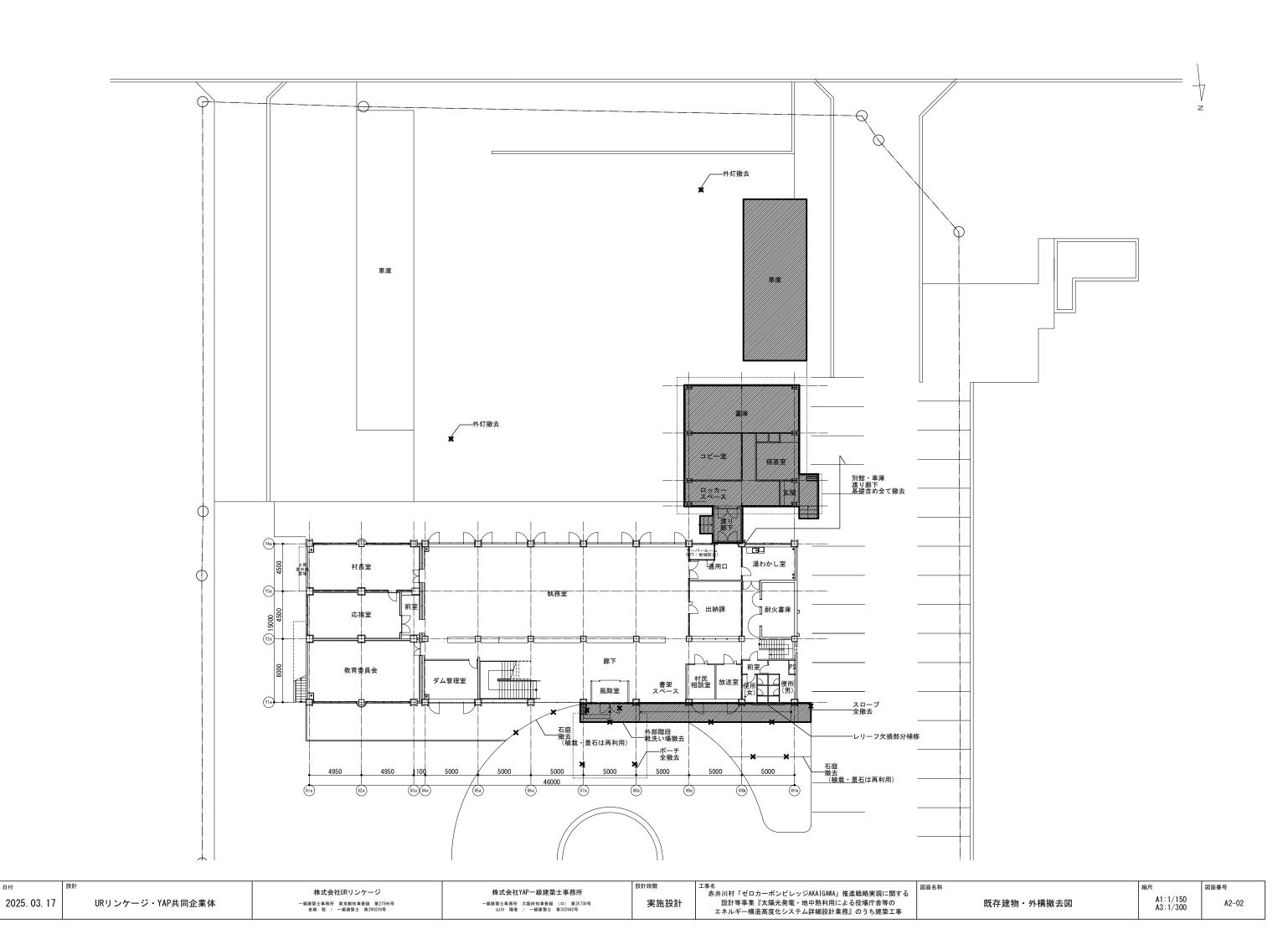
					_				※内装仕上はすべてF☆☆☆☆以上とすること
抽	階数	室名		床	壁		天井		備考
1*	門致			仕上げ	仕上げ・塗装	\	4+ F IF		,
			天井高 仕上高	·	下地	内装制限 排煙告示	仕上げ 下地	- 塗装 内装制限 排煙告示	
				フローリングt12	1°46		既存利用(段裏)		
本館	1階	階段室1-1	_			内·準		内・準	・階段昇降機
				既存床の上スタイロフォームt50(不陸調整適宜)/構造用合板t24	_				
		階段室1-2	_	既存段板の上 ビニル床シート	EP再塗装	・ 内・準	クロス貼 (段裏)	内・準	
		阳权王12		(既存) ロンリュームペット	(既存) P.B. t=9 下地処理のうえ		(既存) P.B. t=9 VP (段裏) 下地処理のうえ		
				ビニル床シート t3	PB t12.5+9.5 EP 既存仕上撤去		PB t9.5	EP	・カーテンレール
	2階	執務室2-1		 既存床仕上撤去の上 OAフロア	 LGS65 躯体現し	内•準	LGS19+PB t12.5	内·準	・カーテンレール ・カーテン (別途) ・窓ロカウンター・窓ロ棚 (別途) ・デスク・イス・棚 (別途)
			2297. 5					EP	, , , , , , , , , , , , , , , , ,
		村長・応接室	±0	タイルカーペット t7 	PB t12.5+9.5 EP	内・難	PB t9.5	-	
				既存床仕上撤去の上 木下地 構造用合板 t24	L6S65 躯体現し		LGS19+PB t12.5		
			2297. 5	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP 既存仕上撤去	_ ##	PB t9.5	EP	・モニター(別途) ・テーブル・イス (別途)
		会議室2-1	±0	既存床仕上撤去の上 木下地 構造用合板 t24	LGS65 躯体現し	内・難	LGS19+PB t12.5	内・難	・テーフル・イス (別述) ・置型プロジェクター (別途)
			3400	フローリングt12	PB t12.5+9.5 PB t12.5+9.5 既存仕上撤去		PB t9.5	EP	
		議場	+200/+450	 既存床の上鋼製束 パーティクルボードt20		内・難	LGS19+PB ±12.5	内・難	・テーブル・イス (別途)
			2207 5	一部木下地	フォームt50 温に呼ぶる				
		議会事務局	2297.5 ±0	ビニル床シートt3 	PB t12. 5+9. 5 EP	内・難	PB t9.5	EP 内・難	 ・テーブル・イス(別途)
				既存床の上鋼製束 パーティクルボードt20	LGS65 躯体現し		LGS19+PB t12.5		
			2297. 5	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP 既存仕上撤去		PB t9.5	EP	
		廊下2-1	±0	既存床仕上撤去の上 木下地	LGS65 躯体現し	内•準	LGS19+PB t12.5	内・準	
			2297. 5	フローリングt12	PB t12.5+9.5 EP		PB t9.5	EP	
		フリースペース2-1	±0	既存床仕上撤去の上 木下地	LGS65	内・準	LGS19+PB t12. 5	内・準	・テーブル・イス(別途)
			2297. 5		PB t12.5+9.5 EP		既存仕上撤去		
		倉庫2-1	±0	既存床仕上の上 木下地		内•難		内•難	
			2297. 5		Lusus				
		会議室収納2−1	±0	ビニル床シートt3 	PB t12.5+9.5 EP	内・難		- 内・難	 ・ロッカー(別途)
				既存床仕上の上 木下地	LGS65 駅体現し		躯体現し		
		A ct ** +0=4/ct	2297. 5	ビニル床シートt3	PB t12.5+9.5 既存仕上撤去 既存仕上撤去の AEP	上	PB t9.5	EP ##	 ・テーブル・イス(別途)
		倉庫兼相談室	±0	既存床仕上撤去の上 木下地	LGS50+フェノール 躯体現し 躯体現し フォームt50	内·難	LGS19+PB t12.5	内・難	・テーブル・イス (別途) ・書棚 (別途) ・防災関係機器 (別途)
			2297. 5	ピニル床シートt3	フォームt50 i 耐水PB t9.5 EP		既存利用		
		給湯室2-1	±0		(既存)吹付タイル/フェノールフォームt50				・キッチン(シンク・フード既存利用)
			0400	(既存)	(321) 5(1) 170/513 553 200				
		MWC2-1 / WWC2-1	2400 ±0	既存床仕上撤去の上 ビニル床シート t3	耐水PB t=12.5 EP		ケイカル板 t=10	EP	・手洗器(機械工事) ・化粧鏡(機械工事) ・紙巻器(機械工事)
				(既存)	LGS50+ フェノールフォームt50 躯体現し		LGS19+PB t12.5		・ 紕巻器 (機械工事) ・ 便器 (機械工事)
			2400	既存床仕上撤去の上 ピニル床シート t3	PB t=12.5		ケイカル板 t=10	EP	・タ機能トイル
		HWC2-1	±0	(既存)	L6S65		LGS19+PB t12.5	 	・多機能トイレ ・ベビーベッド
			_		(既存) レリーフ		PB t9.5	EP	
		階段室2-1	_	(既存)	(MIT)	内・準		内・準	
							LGS19+PB t12.5		

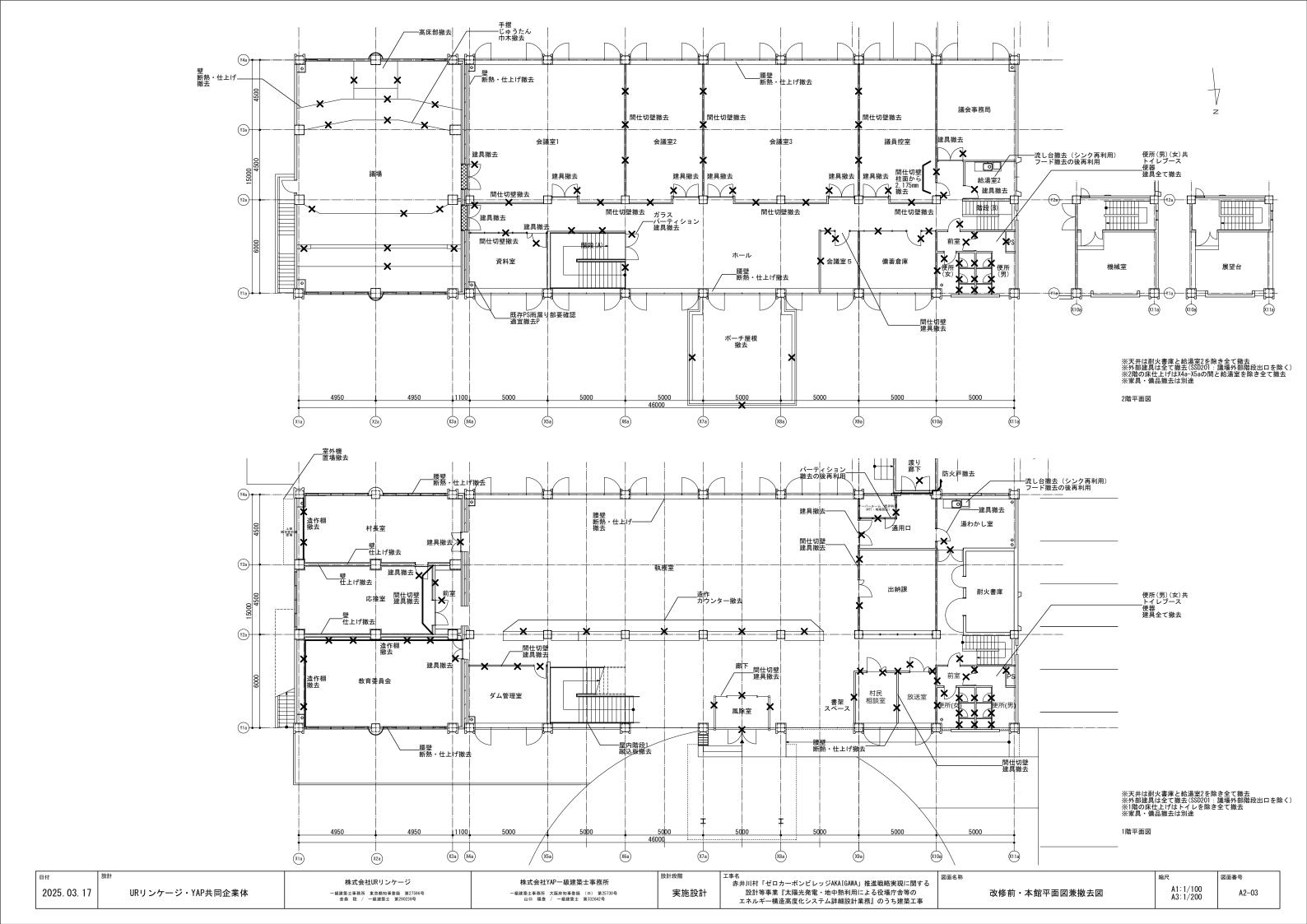
日付	設計			設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
1		株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所		赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する		14.110	
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25730号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の	内部仕上表(2)	A1:NS	A1-12
		金森 稔 / 一級建築士 第290239号	山口 陽登 / 一級建築士 第332642号		エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事		A3.NS	

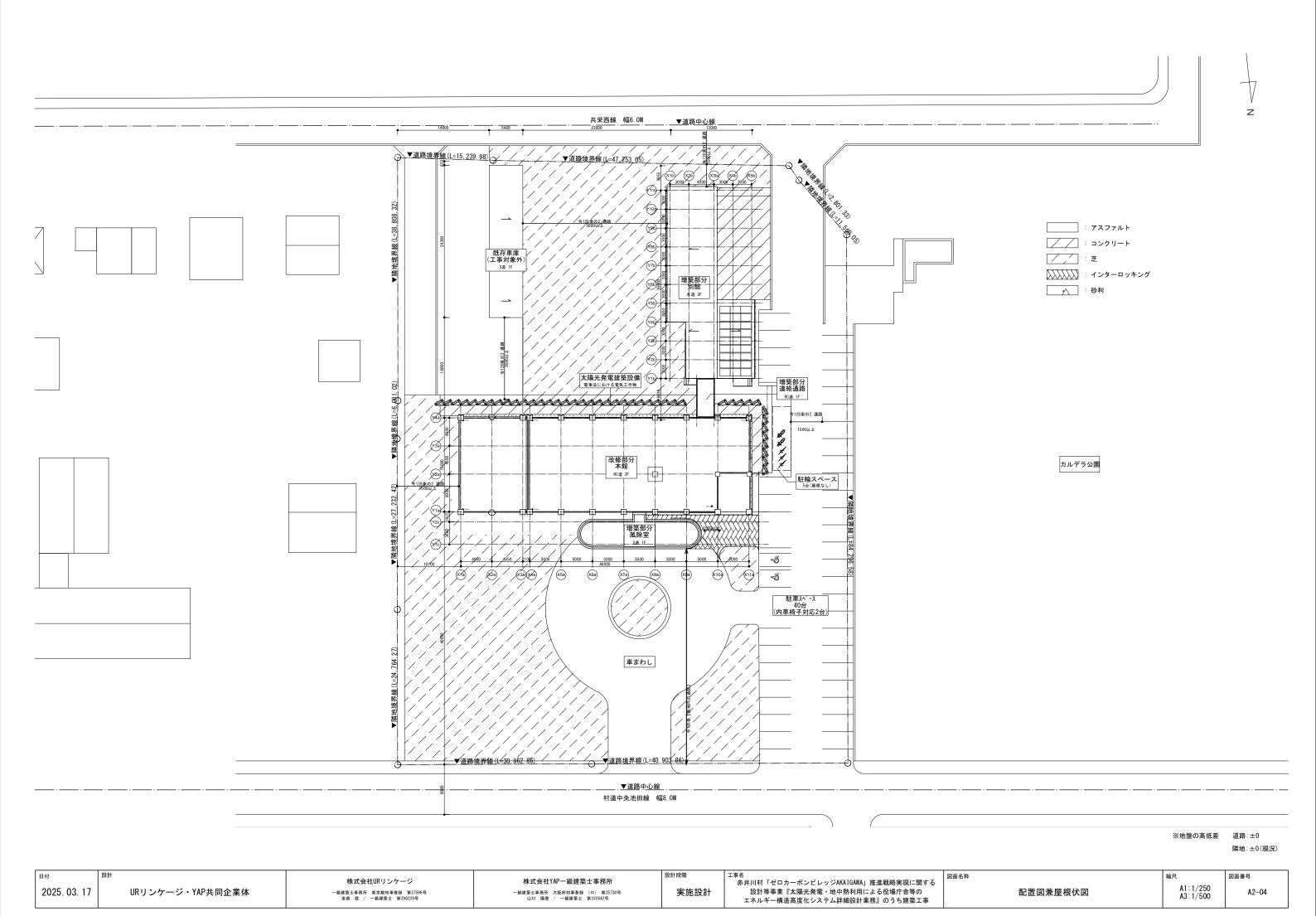
											※内装仕上はすべてF☆☆☆☆以上とすること Ⅰ
棟	階数	室名		床		壁		天井			備考
1**	PLX	± 1	天井高 仕上高	仕上げ	f		内装制限 排煙告示		塗装	内装制限 排煙告示	
				下地	EDT-16-14	下地		下地			
本館	2階	階段室2-2	_		EP再塗装 (既存) P. B. t=9 下地	Мино 2-2	内・準	クロス貼 (段裏) 		- 内•準	
				(既存)	(MT) 1.0. L-3 1-3E	だ生のうん		(10,17, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11,			
別館	1階	連絡通路	2570 ±0	ビニル床シート t3 	表面強化剤		告・不	表面強化剤 		- 告・不	
73.726	""	AL-PH ALEPH		コンクリート直均し仕上	コンクリート打放			コンクリート打放			
		□ PA → 1 · 0		表面強化剤	表面強化剤 強化 t21	比石こうボード PB t12.5 EP +21 EP		構造体現し VC			・かさ立て (別途)
		風除室1-2	-20	モルタル金ゴテ押え	基礎立上り構造	造用合板t9 構造用合板t9					- かさ立て (別途) - 収納 (別途) - 靴洗い(水栓は別途)
			_	ビニル床シート t3	PB t12.5 EP	強化石こうボードt21+21 EP		PB t9.5 EP 構造体現し VC			・靴箱(別途)
		階段室1-3	±0	コンクリート直均し仕上		;- , , 構造用合板t9	告・準	LGS19+PB t12.5		告・準	国交省告示228号(壁・天井・床は下地を準不燃 建設省告示1440号(壁天井は仕上を準不燃)
			3611	ビニル床シート t3	PB t12.5 EP	:		PB t9.5 EP			
		ロッカー室	±0							-	・ロッカー (別途)
			3611	コンクリート直均し仕上	構造用合板t9			LGS19+PB t12.5			
		電気室/ポンプ室	-160	表面強化剤		i	消防・不		EP	消防・不	
			3415	モルタル金ゴテ押え	基礎立上り	構造用合板t9		LGS19+PB t12.5			
		機械室	-160	表面強化剤 	表面強化剤			構造体現し 	UC	-	
			4411	モルタル金ゴテ押え	基礎立上り	構造用合板t9 現し					
		屋内駐車場	-800	表面強化剤 	表面強化剤	PBt=12.5 EP	内・準	PB t9.5	EP	- 内·準	・車止め(別途) ・収納棚(別途)
				モルタル金ゴテ押え	基礎立上り	¦構造用合板t9		LGS19+PB t12.5			
	2階	倉庫2-2	2106.5 ±0	ビニル床シート t3	構造体現し UC			構造体現し	UC		- 書棚(別途)
		A#		構造用合板 t24							
		倉庫2-3	I	ビニル床シート t3	構造体現し UC			構造体現し	UC		• 書棚(別途)
		启庫2−3	±0	構造用合板 t24							- 宣彻 (別处)
		W1	_	ビニル床シート t3		強化石こうボードt21+21 EP		構造体現し	UC		
		階段室2-3	±0	構造用合板 t24		構造用合板t9					
											<u> </u>

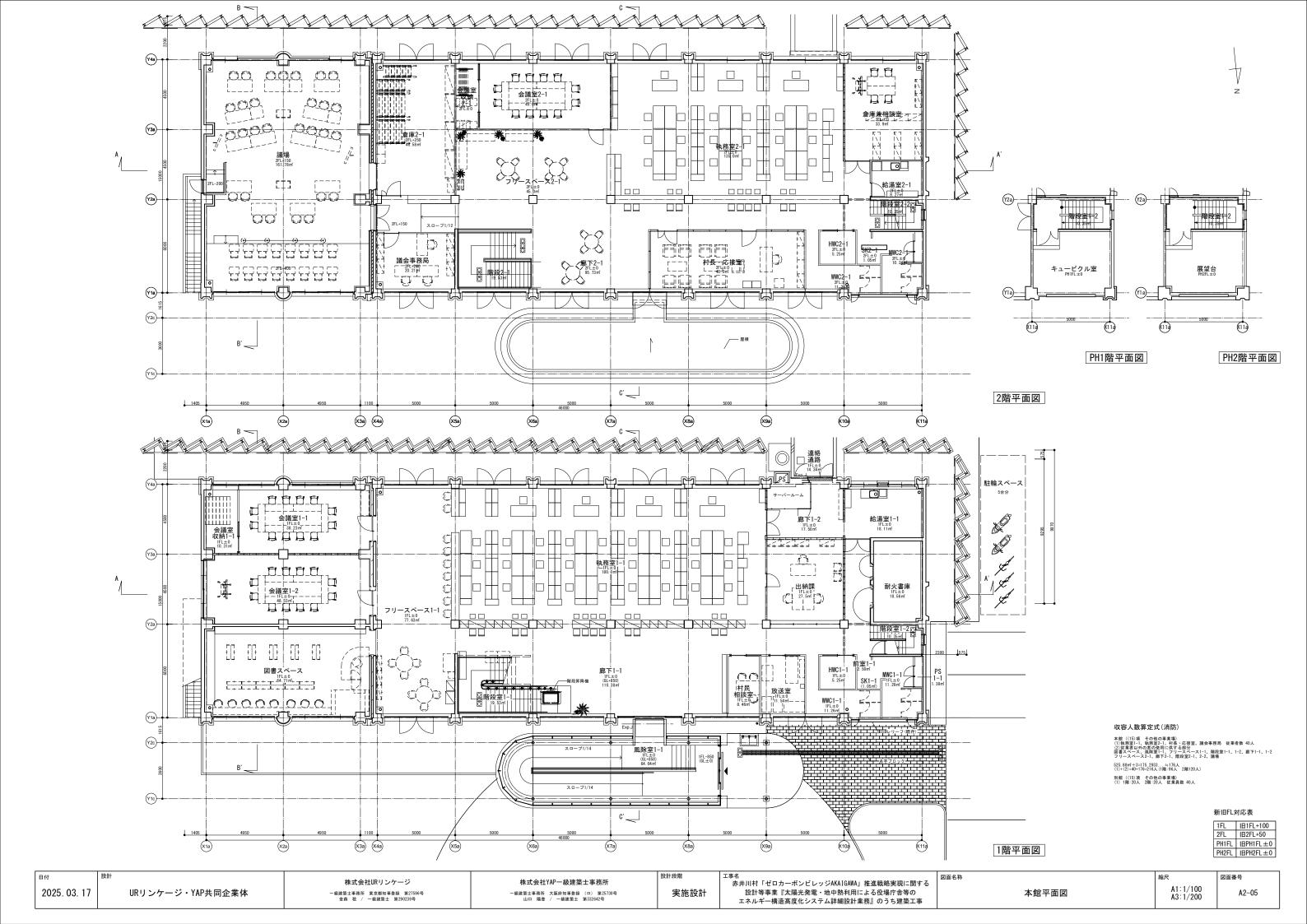
日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 1	7 URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	- 銀建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	内部仕上表(3)	A1:NS A3:NS	A1-13

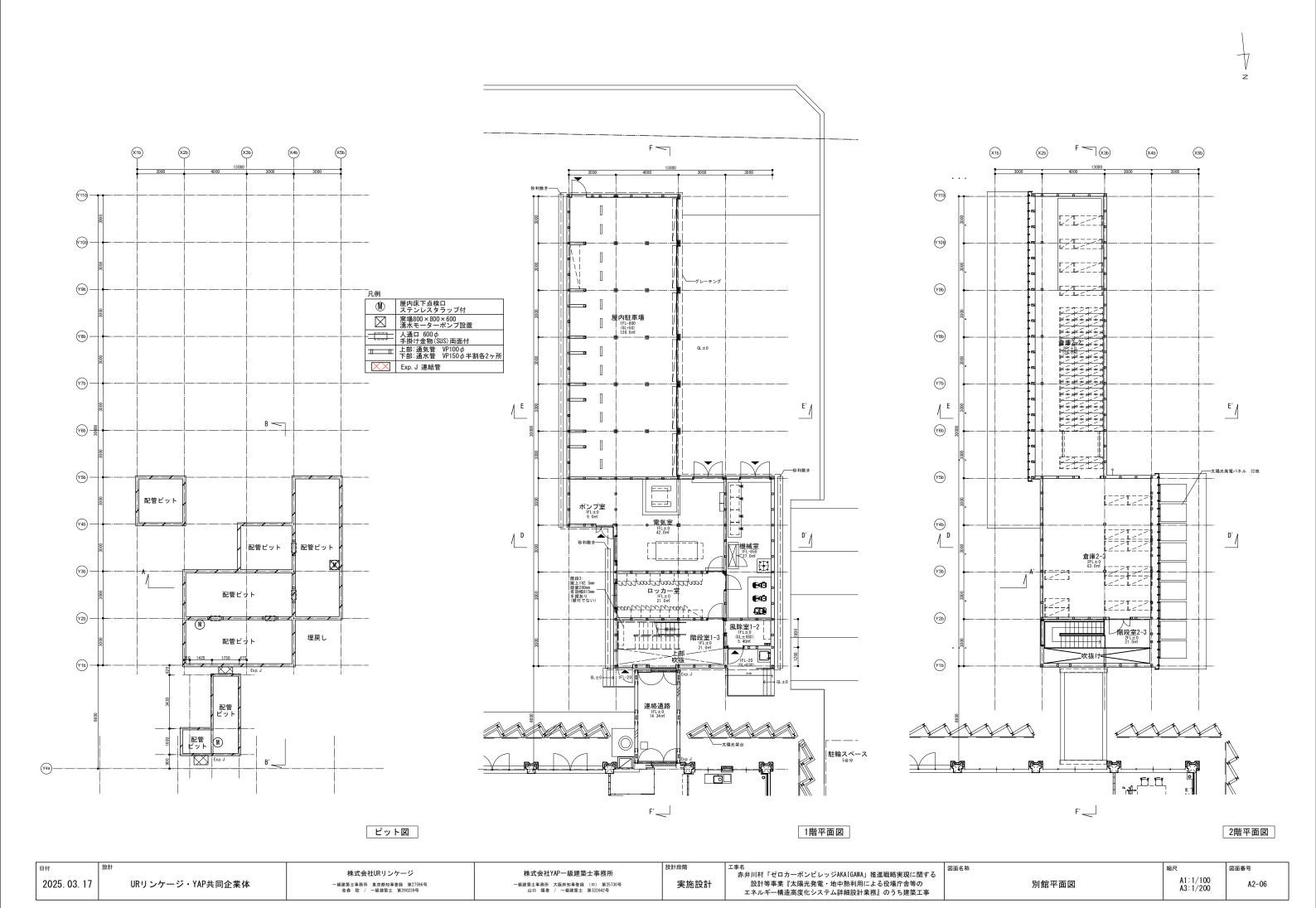


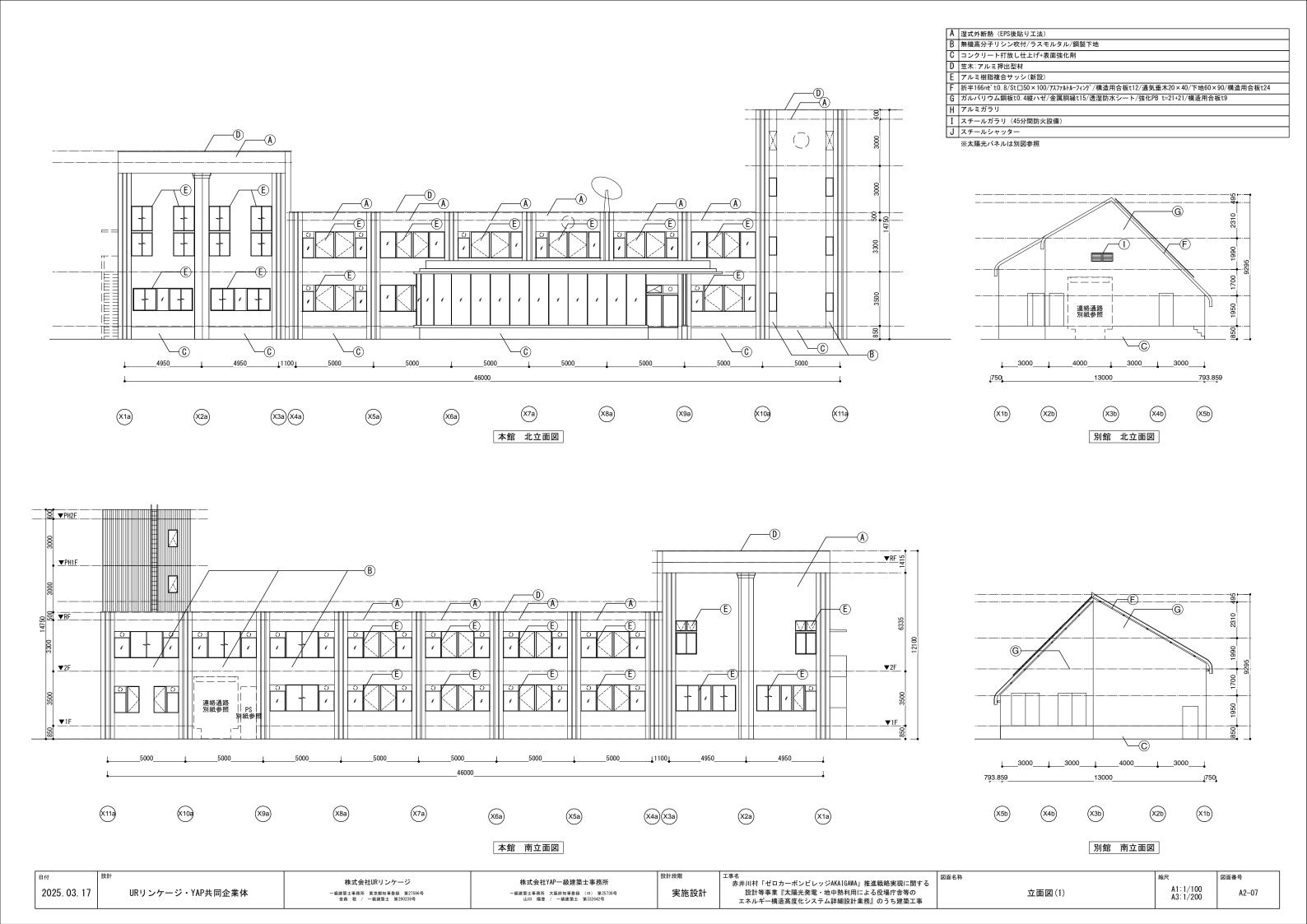


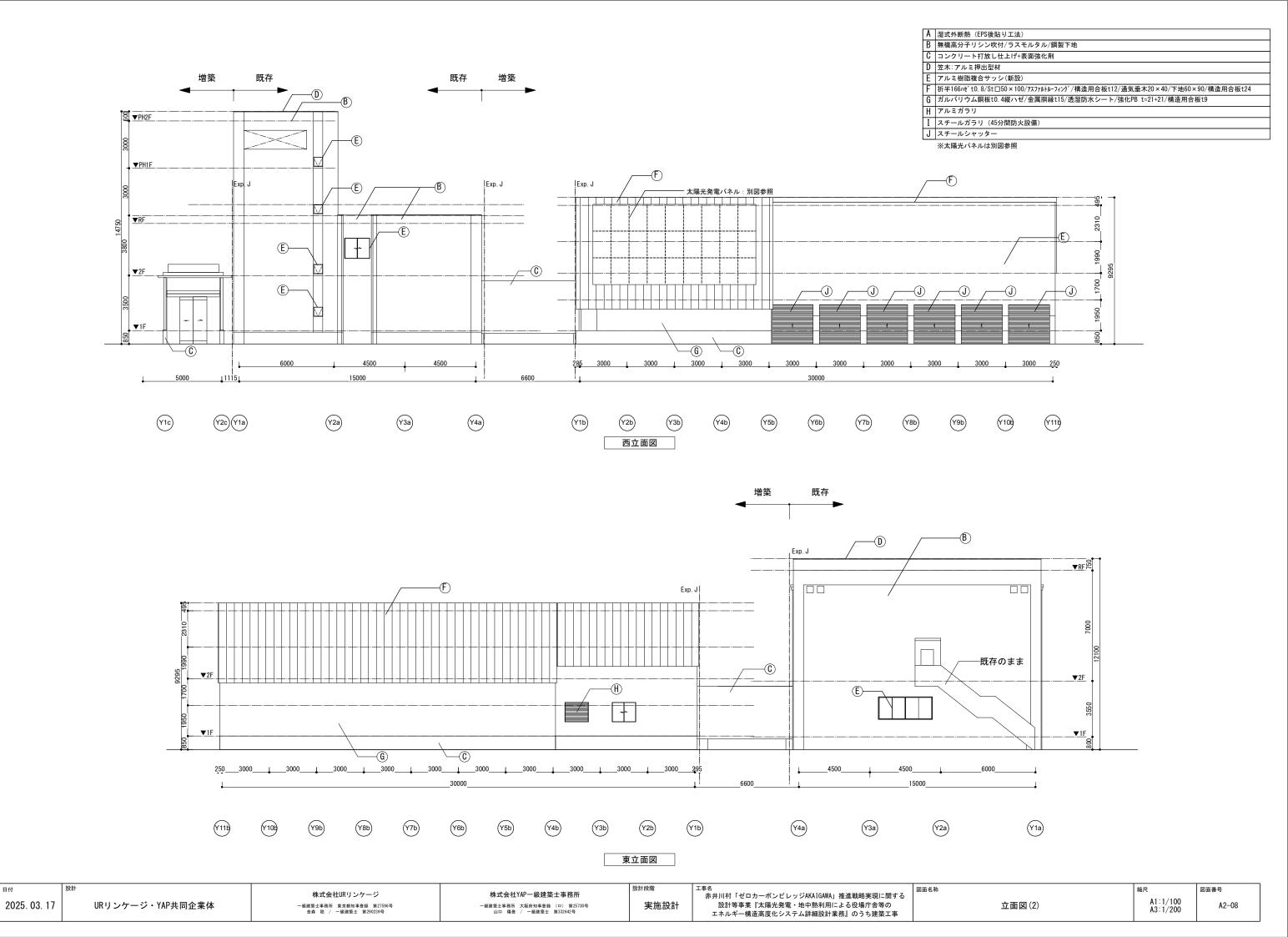


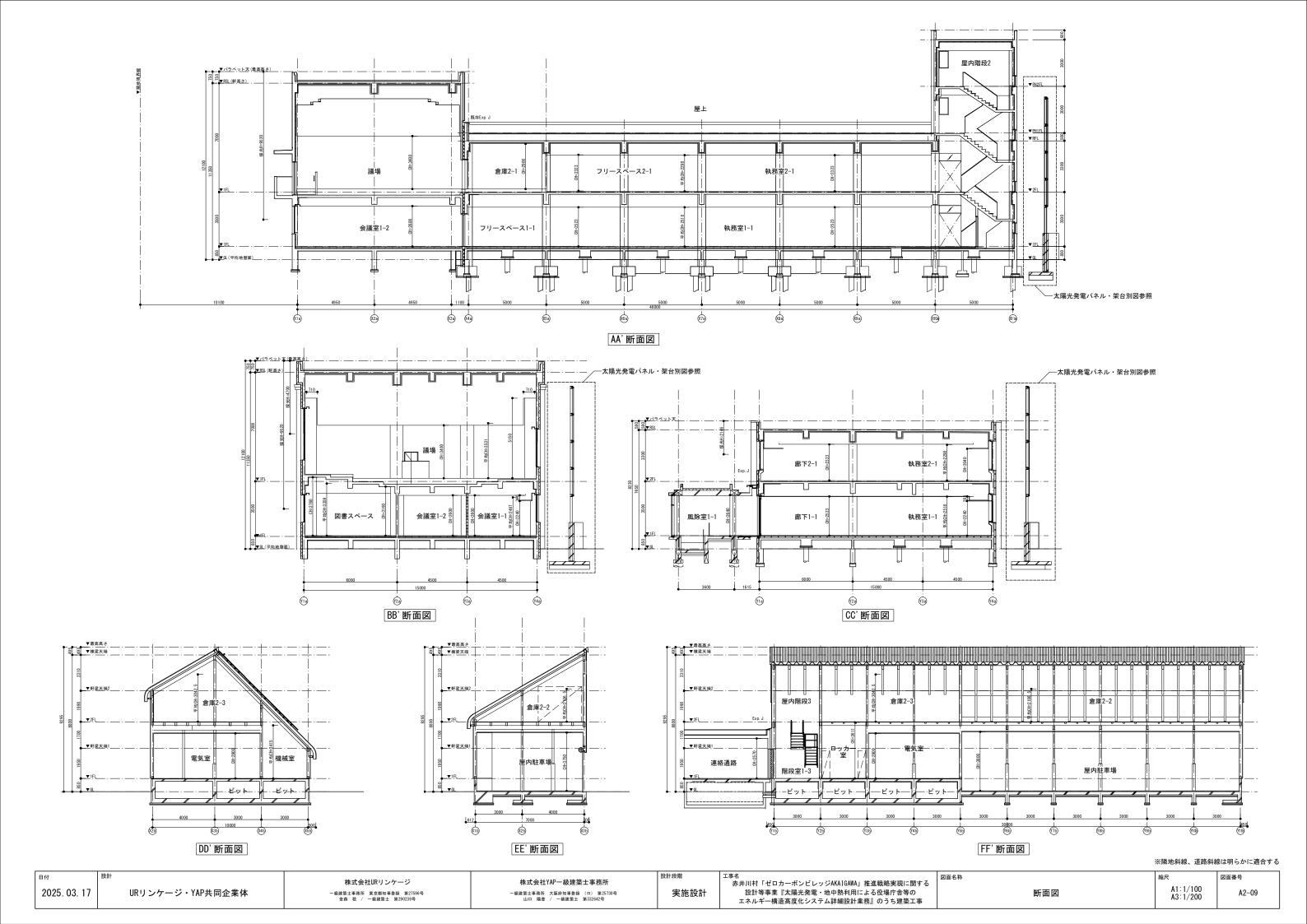


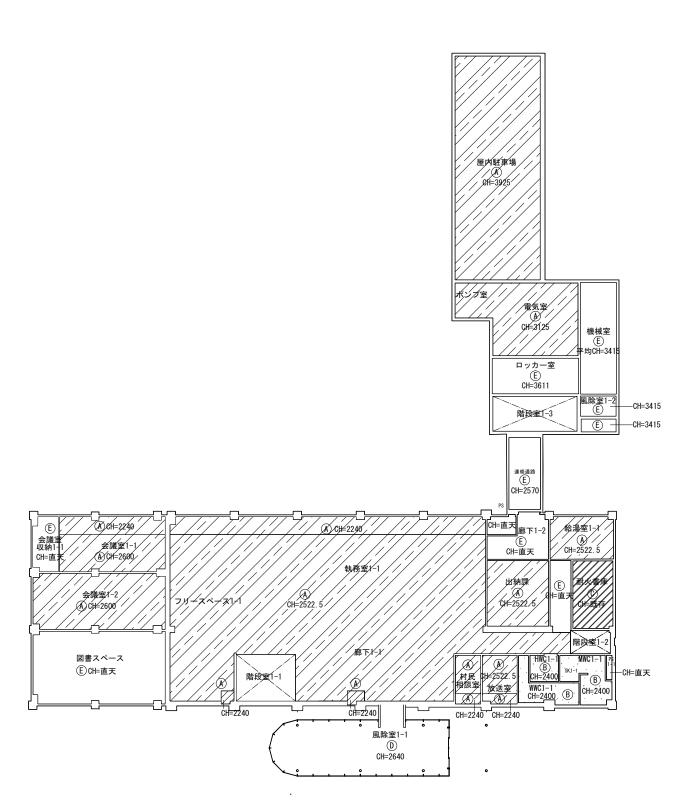












HWC2-1 B CH=2400 SK2 WWC2-1 CH=2400 B 村長 応接室 A CH=2322.5 CH=1890 CH=2040 CH=2040 CH=2040 2階天井伏図

A) CH=2040

会議室2-1

CH=2322.5

倉庫2-1 E CH=直天 倉庫2-2 (E) CH=2106.5

倉庫2-3 E) CH=3042. 5

階段室2-3 E

A) CH=2040

倉庫兼拓談室 A CH=2322.5

階段室2-2

MWC2-1 CH=直天

A CH=2040

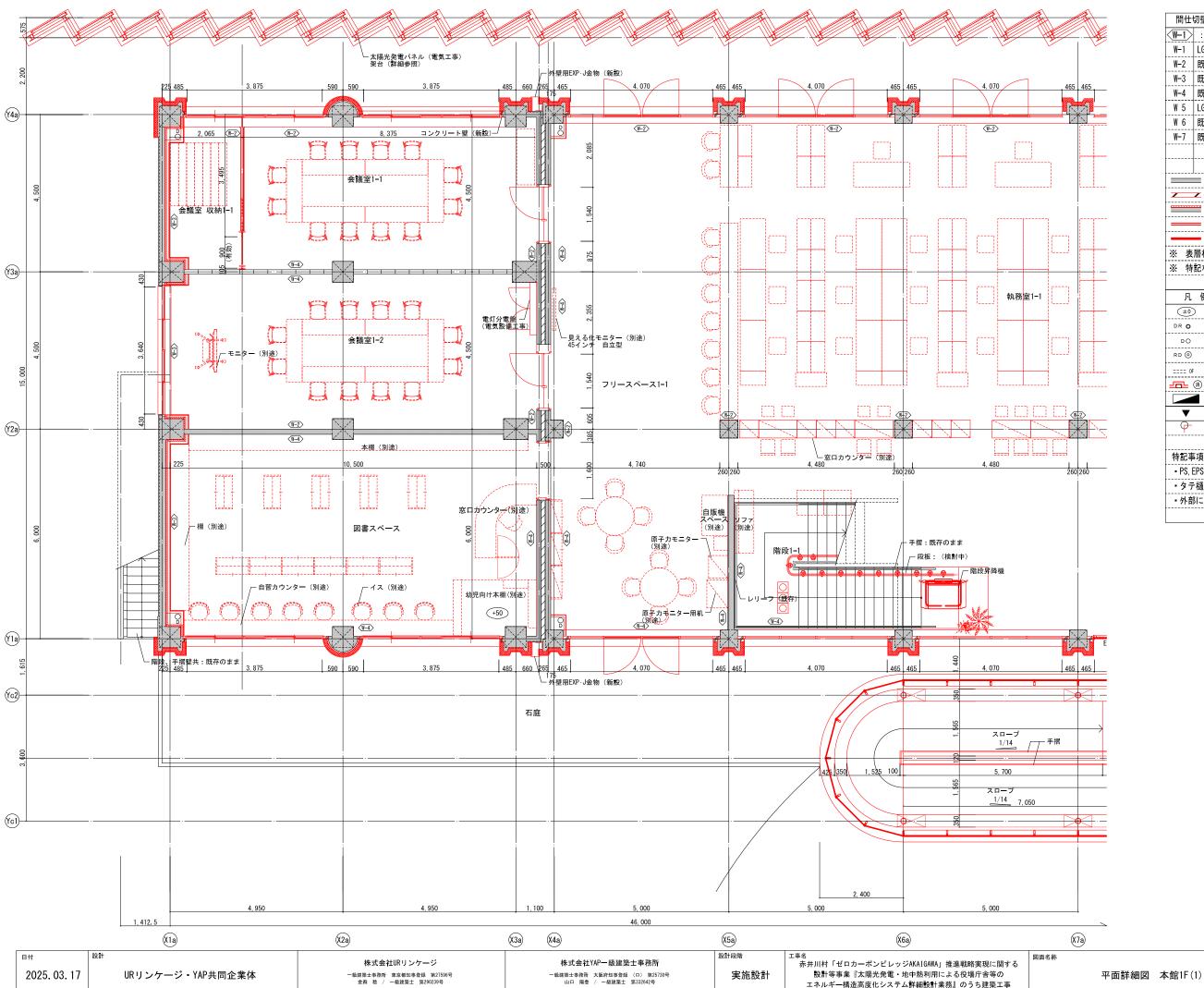
· 熱務室2-1

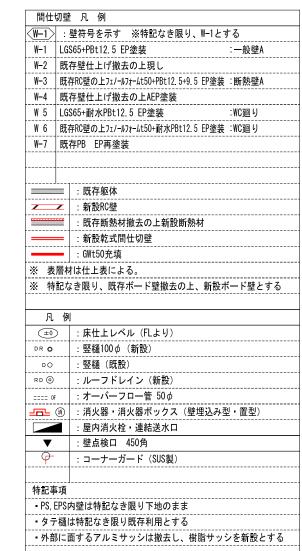
/A / CH=2322, 5,

1階天井伏図

A		PB t=9.5+12.5+EP塗装
B		ケイカル板 t=10 EP塗装
©		(既存)フレキシブルボードt=5.5 VP塗装
0	XXX	コンクリート打放しA種
(E)		構造体現し

設計段階 図面名称 図面番号 株式会社URリンケージ 株式会社YAP一級建築士事務所 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事 2025. 03. 17 URリンケージ・YAP共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号 実施設計 天井伏図 A2-10

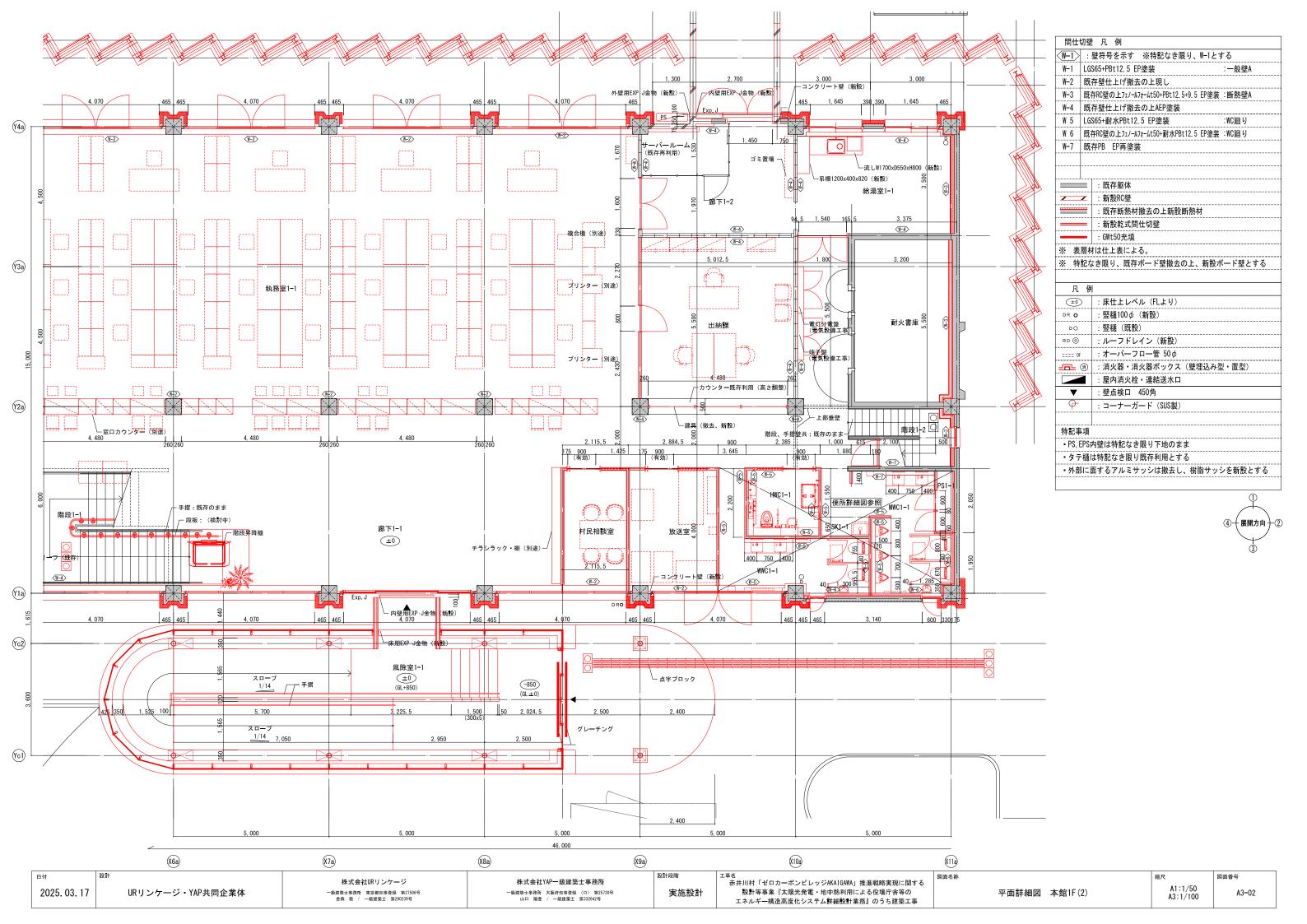


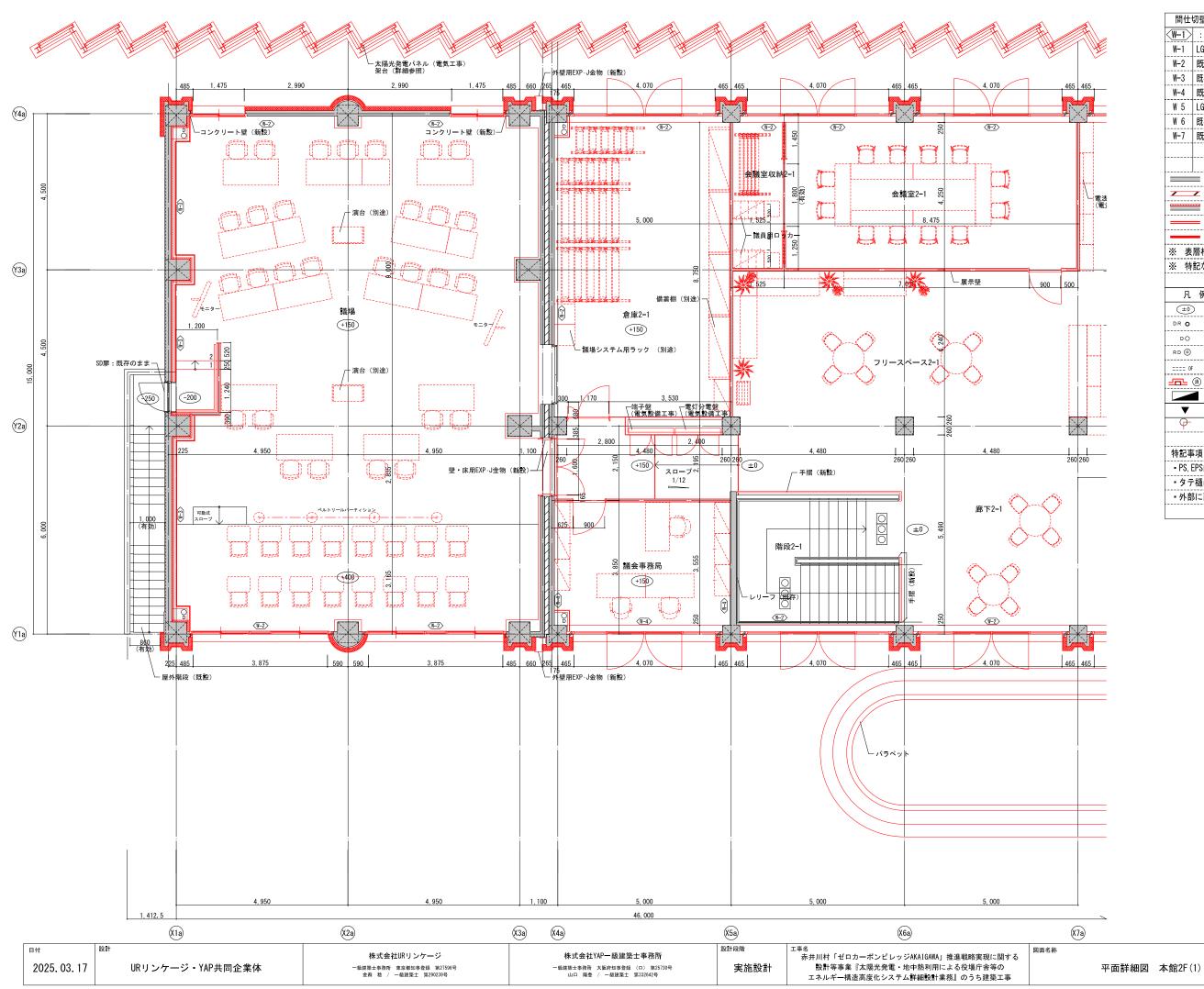




図面番号

A3-01



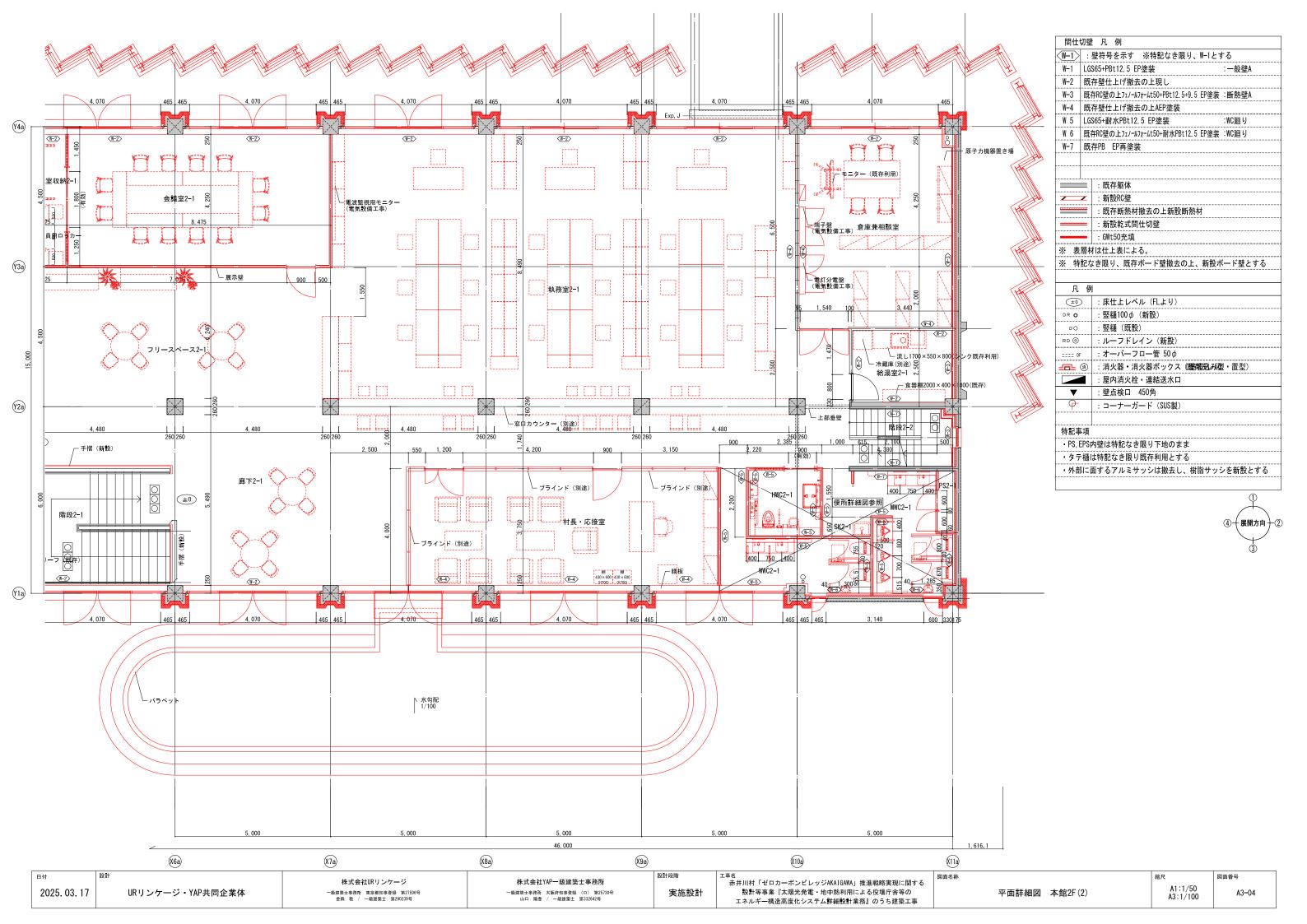


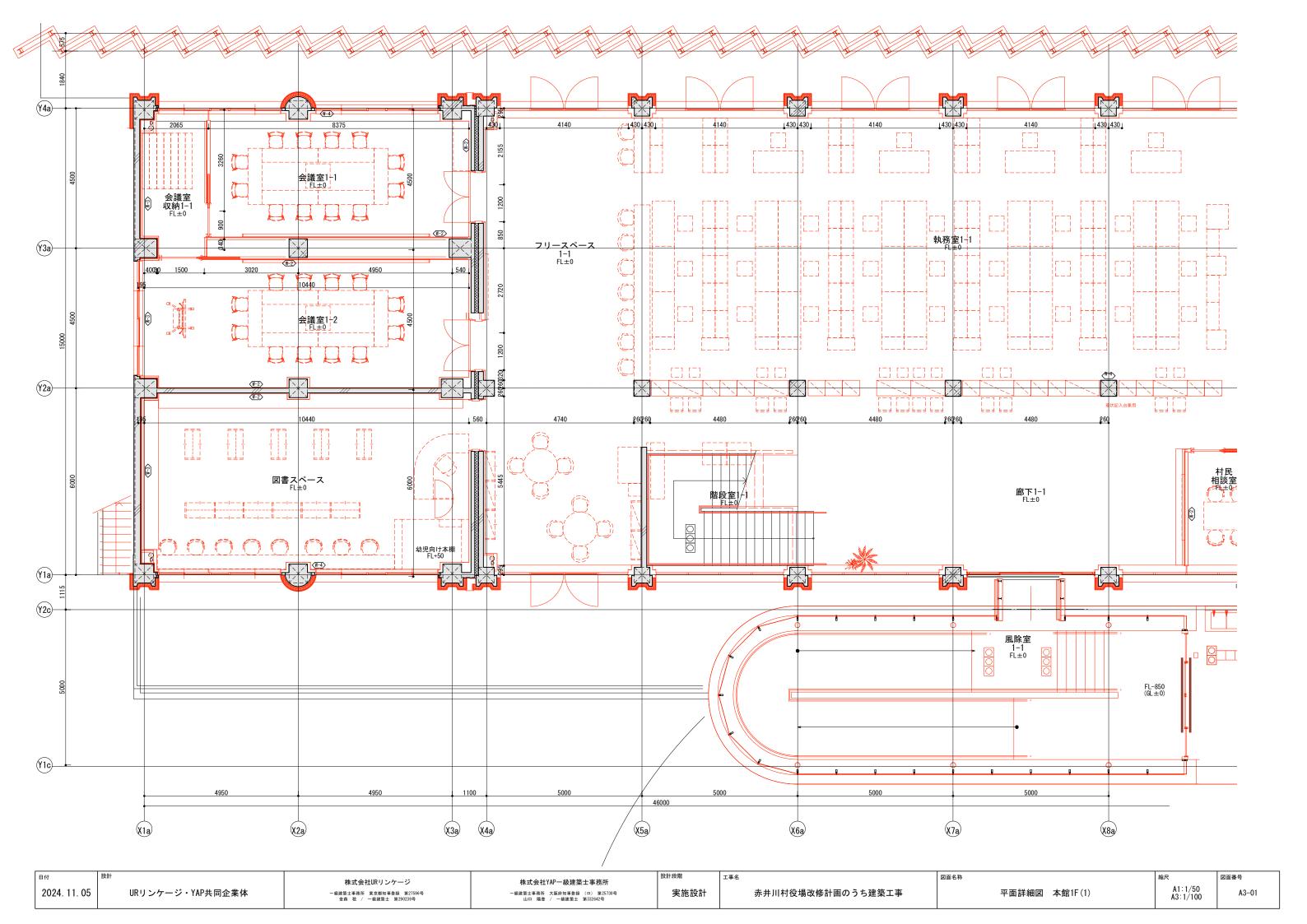
<u>W-1</u> >	:壁符号を示す ※特記なき限り、W-1とする
W-1	 LGS65+PBt12.5 EP塗装 一般壁A
W-2	 既存壁仕上げ撤去の上現し
W-3	既存RC壁の上フェノールフォームt50+PBt12.5+9.5 EP塗装:断熱壁A
W-4	 既存壁仕上げ撤去の上AEP塗装
W 5	LGS65+耐水PBt12.5 EP塗装 :WC廻り
W 6	既存RC壁の上フェノールフォームt50+耐水PBt12.5 EP塗装:WC廻り
W-7	
_	— 新設乾式間仕切壁 新設乾式間仕切壁
W-1 LGS65+PBt12.5 EP塗装 :一般壁A W-2 既存壁仕上げ撤去の上現し W-3 既存RC壁の上フェノールフォームt50+PBt12.5+9.5 EP塗装:断熱壁A W-4 既存壁仕上げ撤去の上AEP塗装 W 5 LGS65+耐水PBt12.5 EP塗装:WC廻り W 6 既存RC壁の上フェノールフォームt50+耐水PBt12.5 EP塗装:WC廻り W-7 既存PB EP再塗装 ■ : 既存躯体 : 新設RC壁 : 既存断熱材撤去の上新設断熱材	
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例
※ 特 凡	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ポード壁撤去の上、新設ポード壁とする 例) : 床仕上レベル (FLより)
※ 特 凡 _{(±0}	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例 > □ :床仕上レベル(FLより) :竪樋100φ(新設)
※ 特 凡 	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例 > □ : 床仕上レベル(FLより) : 竪樋100φ(新設) : 竪樋(既設)
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例) : 床仕上レベル (FLより) : 竪樋100φ (新設) : 竪樋 (既設) : ルーフドレイン (新設)
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例) : 床仕上レベル(FLより) : 竪樋100 φ (新設) : 竪樋 (既設) : ルーフドレイン (新設) : オーパーフロー管 50 φ
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例) :床仕上レベル (FLより) :竪樋100 φ (新設) :竪樋 (既設) :ルーフドレイン (新設) :オーバーフロー管 50 φ ③ :消火器・消火器ボックス (墜煙辺み型 ・置型)
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例
※ 特	層材は仕上表による。 記なき限り、既存ボード壁撤去の上、新設ボード壁とする 例) : 床仕上レベル (FLより) : 竪樋100 Φ (新設) : 竪樋 (既設) : ルーフドレイン (新設) : オーバーフロー管 50 Φ ② : 消火器・消火器ボックス (摩堀辺み型・置型) ■ : 屋内消火栓・連結送水口 : 壁点検口 450角 : コーナーガード (SUS製)

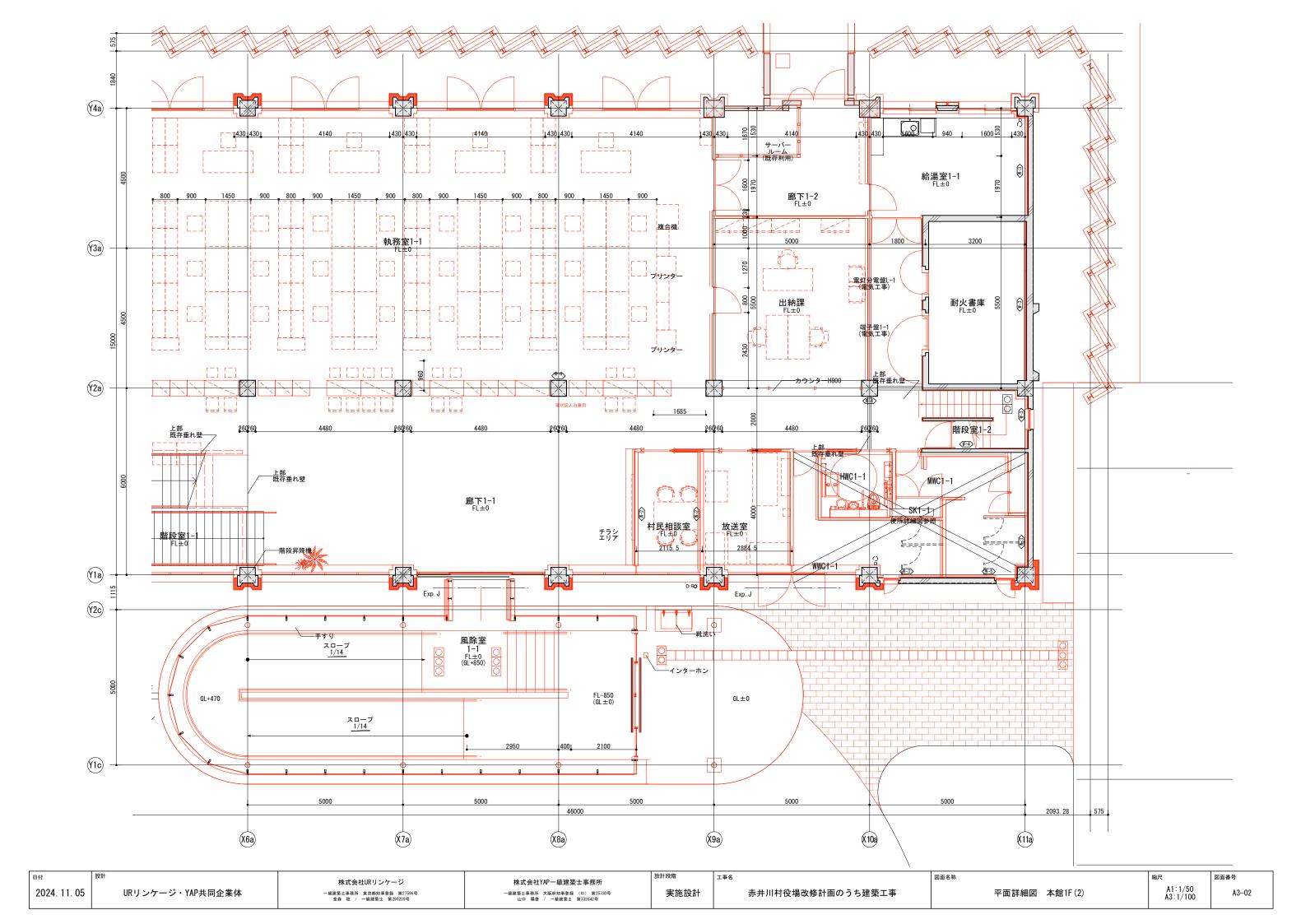


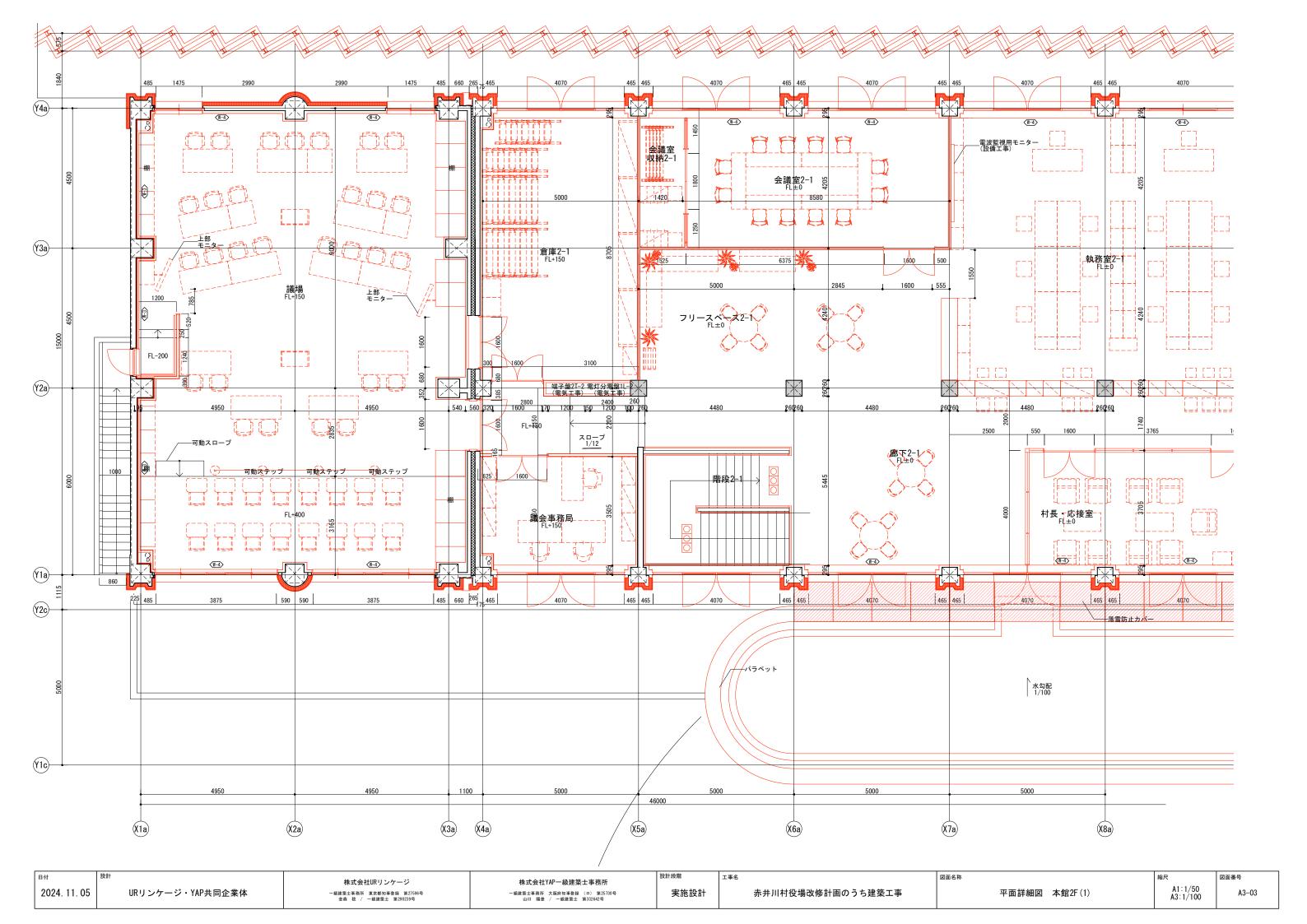
図面番号

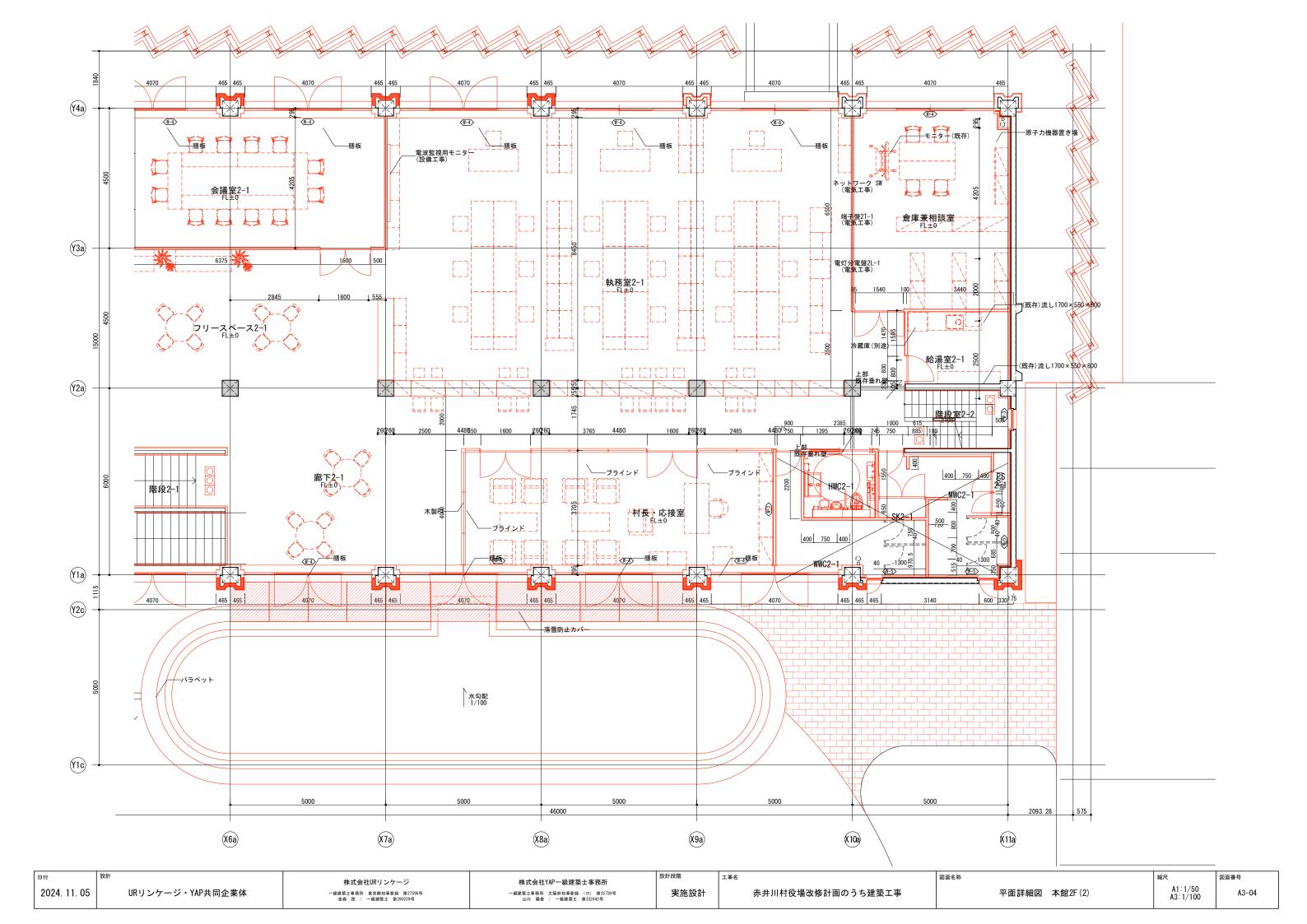
A3-03

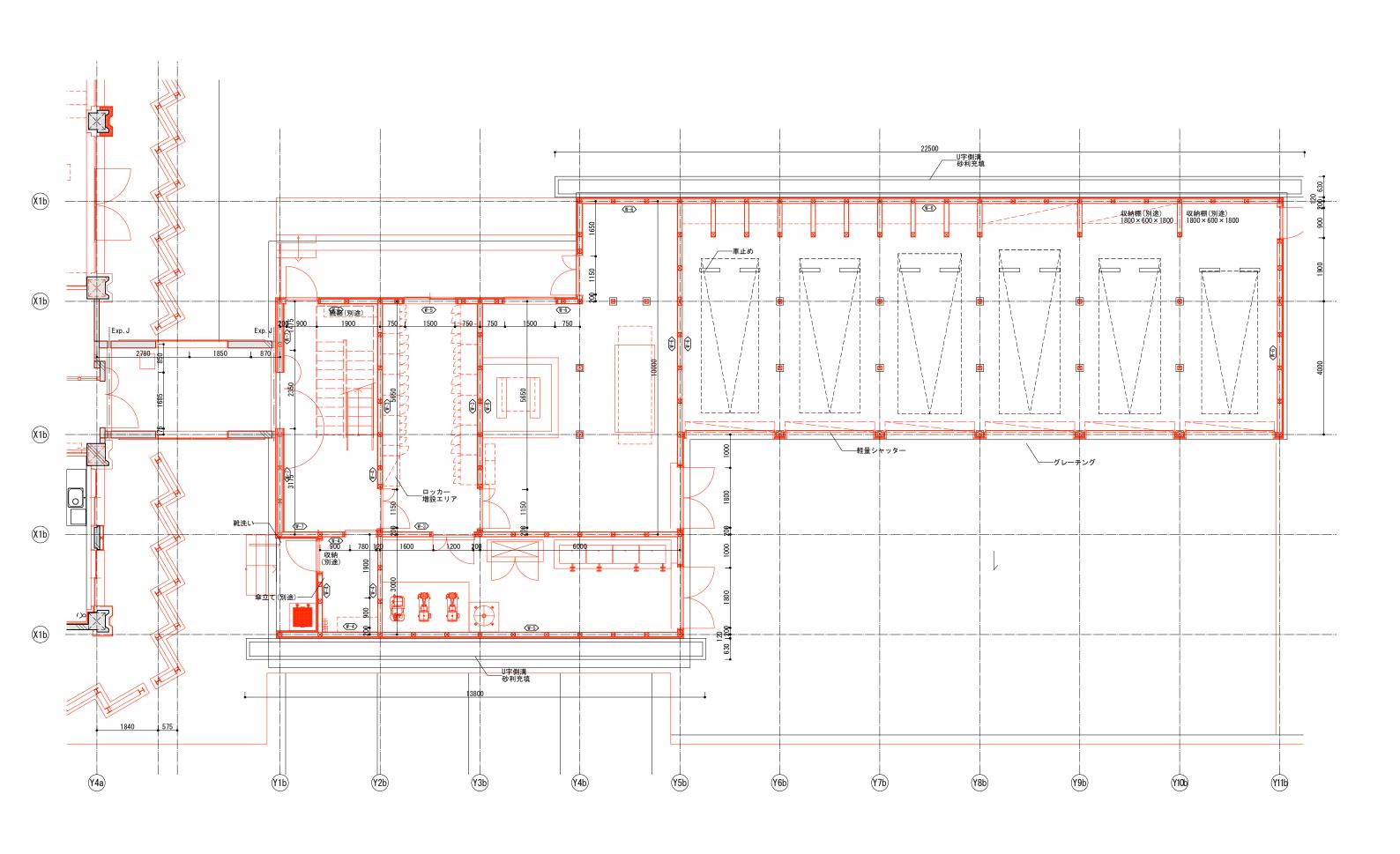




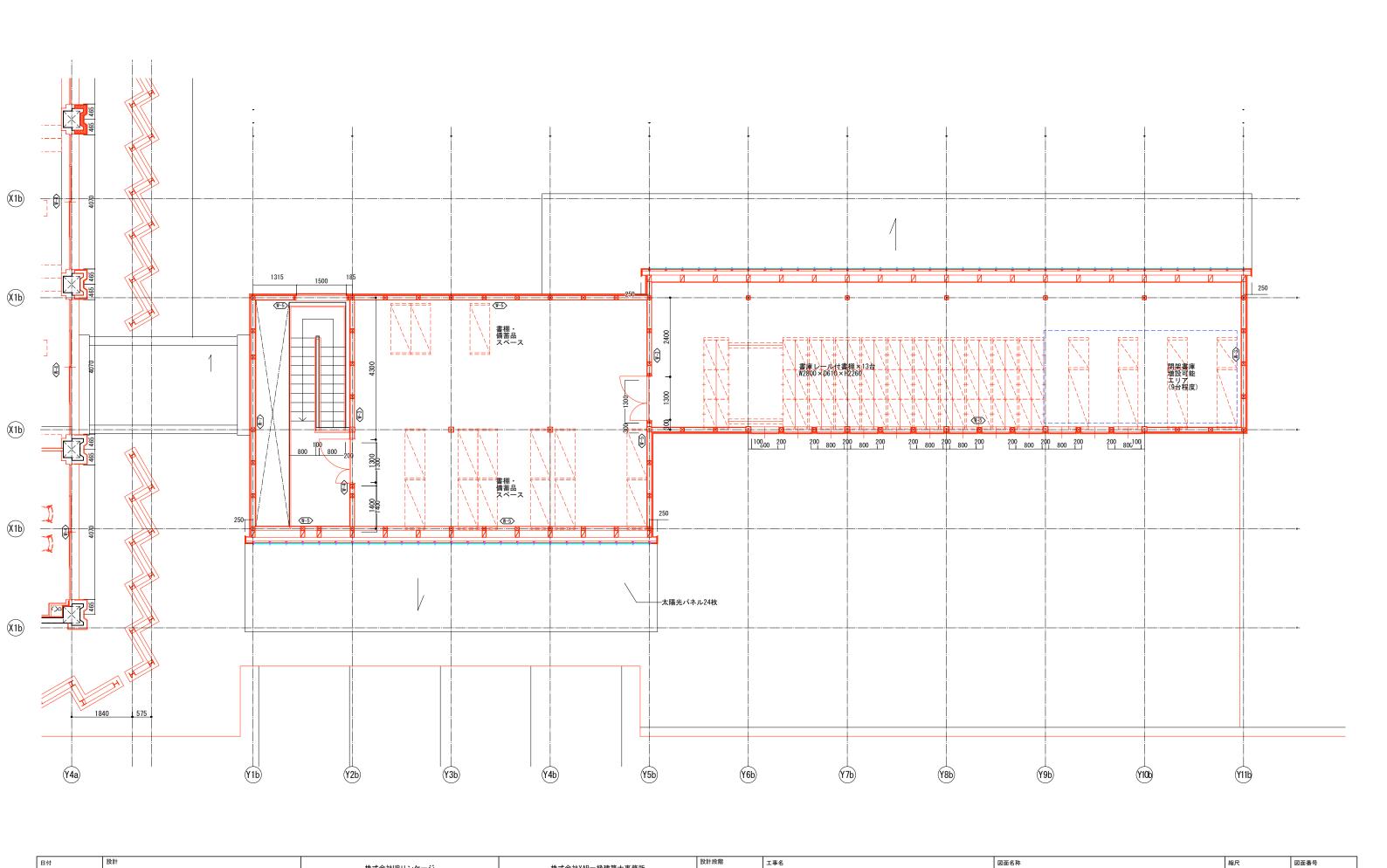








日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
2024. 11. 05	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号		実施設計	赤井川村役場改修計画のうち建築工事	平面詳細図 別館1F	A1:1/50 A3:1/100	A3-05



実施設計

赤井川村役場改修計画のうち建築工事

平面詳細図 別館2F

A3-06

株式会社YAP一級建築士事務所

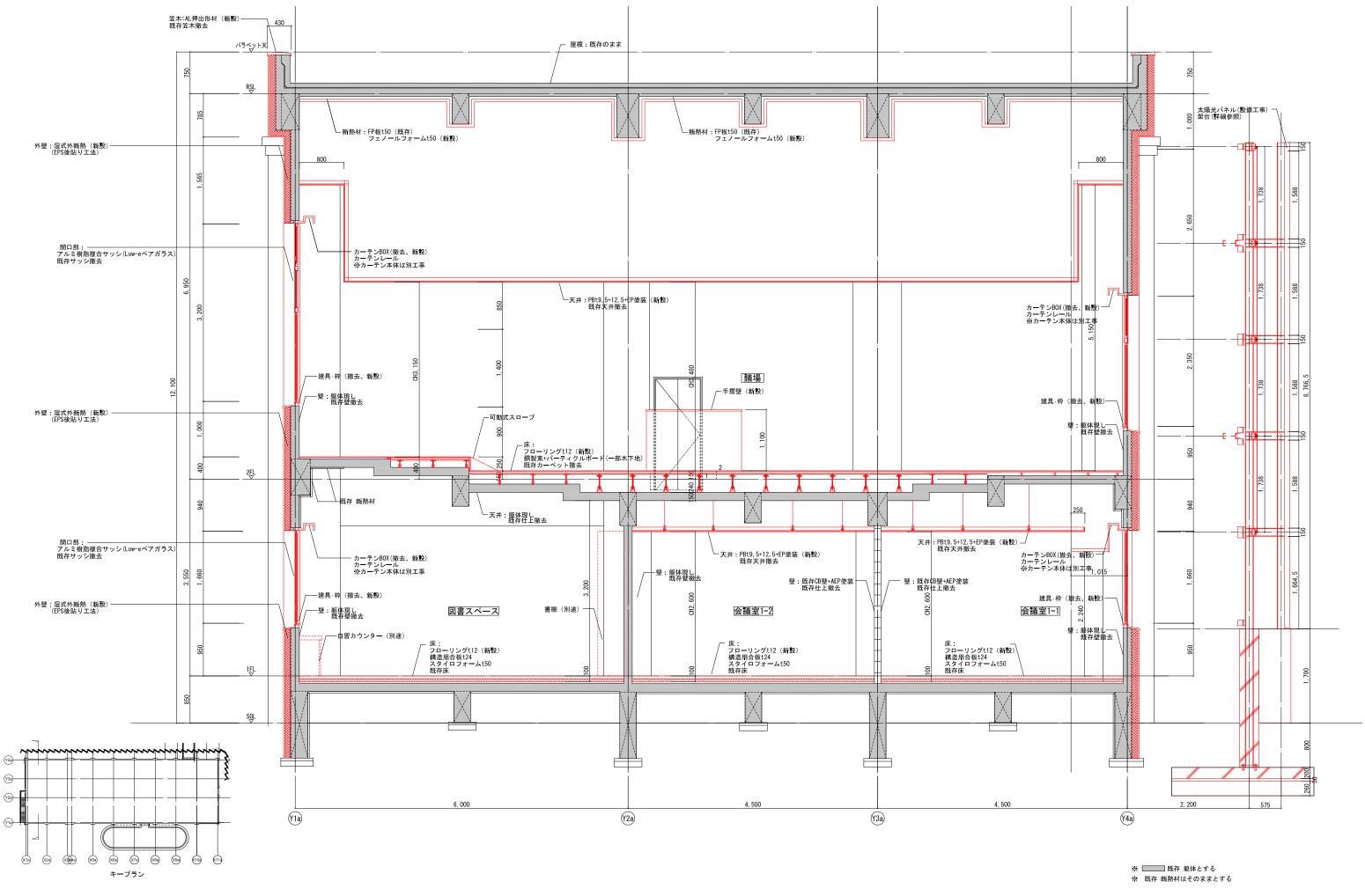
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号山口 陽登 / 一級建築士 第332642号

株式会社URリンケージ

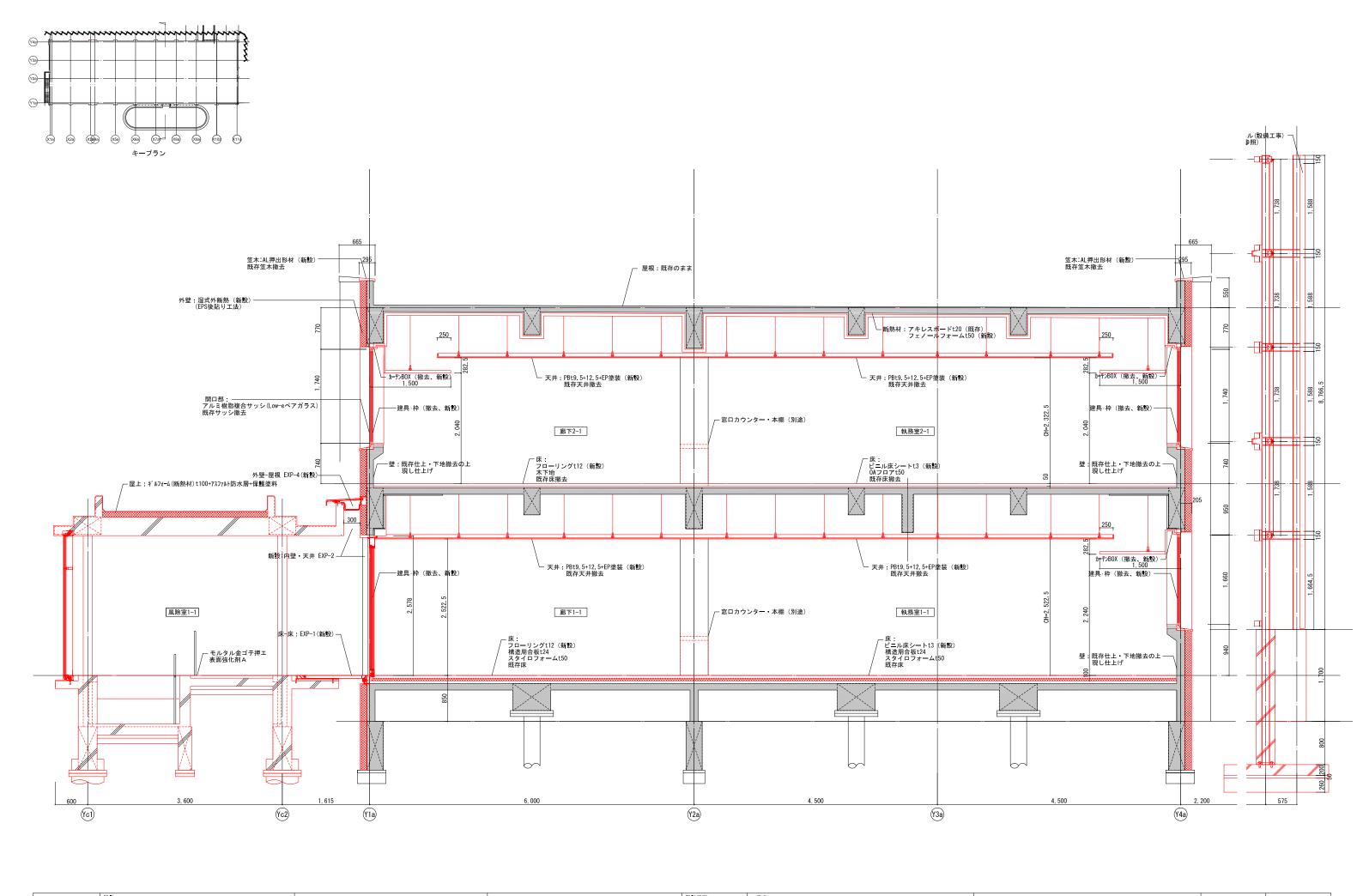
一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号

2024. 11. 05

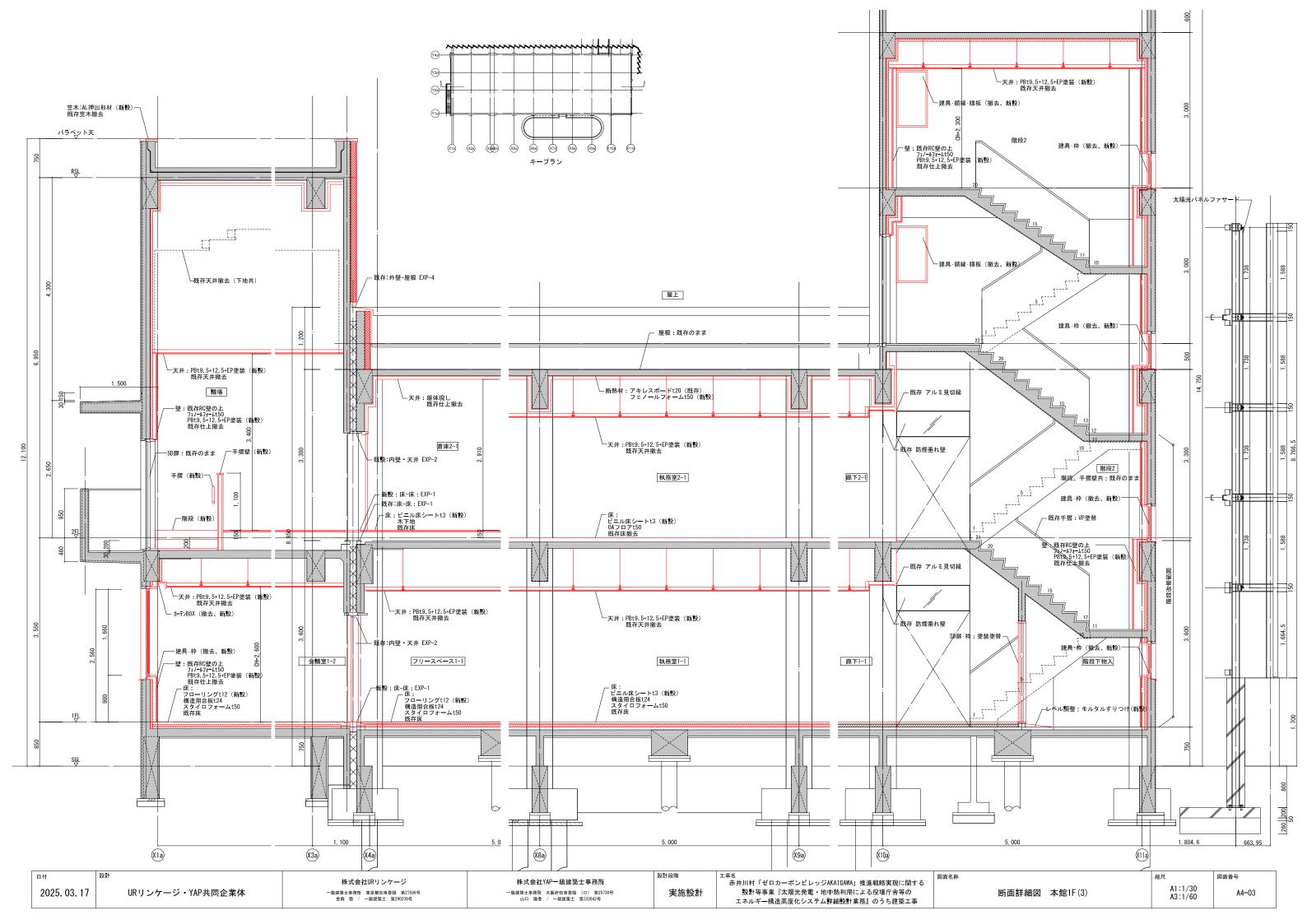
URリンケージ・YAP共同企業体

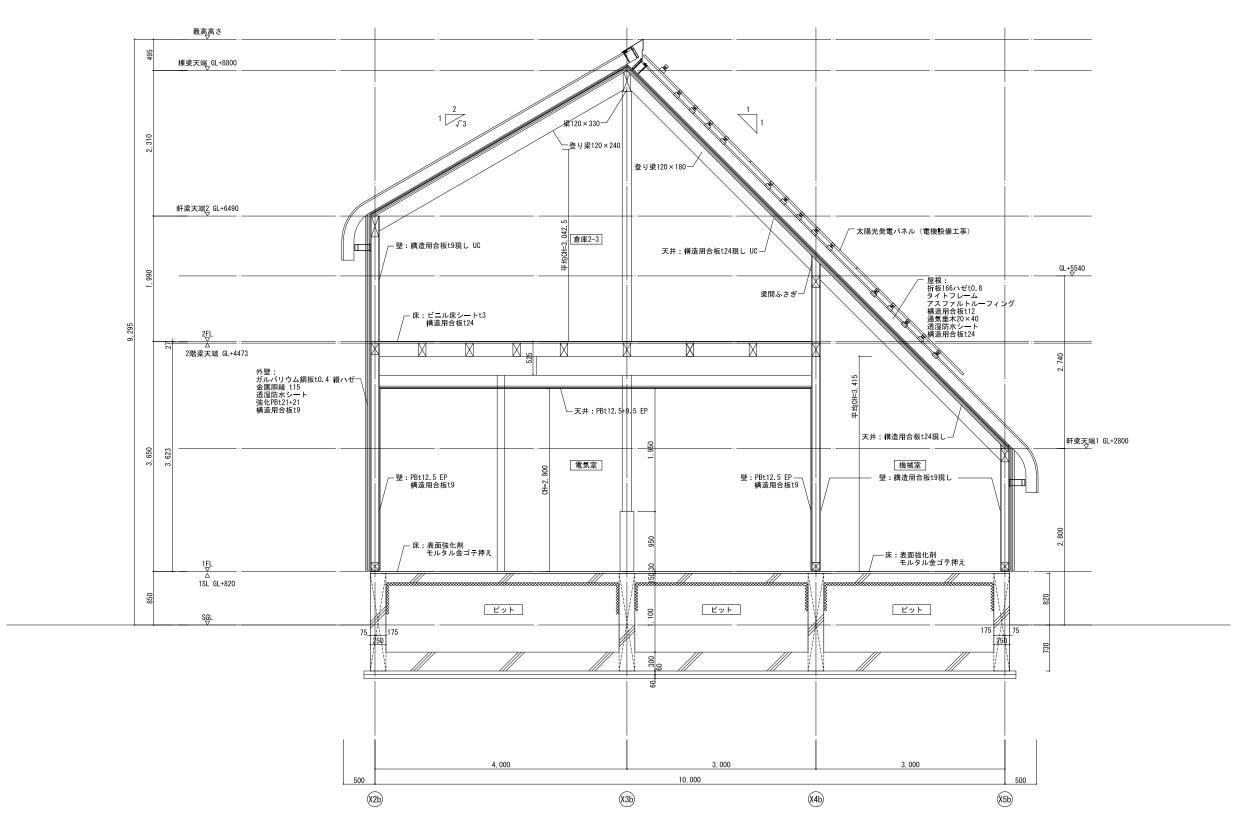


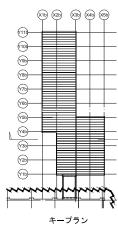
設計段階 図面名称 縮尺 図面番号 株式会社URリンケージ 株式会社YAP一級建築士事務所 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する A1:1/30 A3:1/60 2025. 03. 17 URリンケージ・YAP共同企業体 一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号 実施設計 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の 断面詳細図 本館1F(1) A4-01 エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事

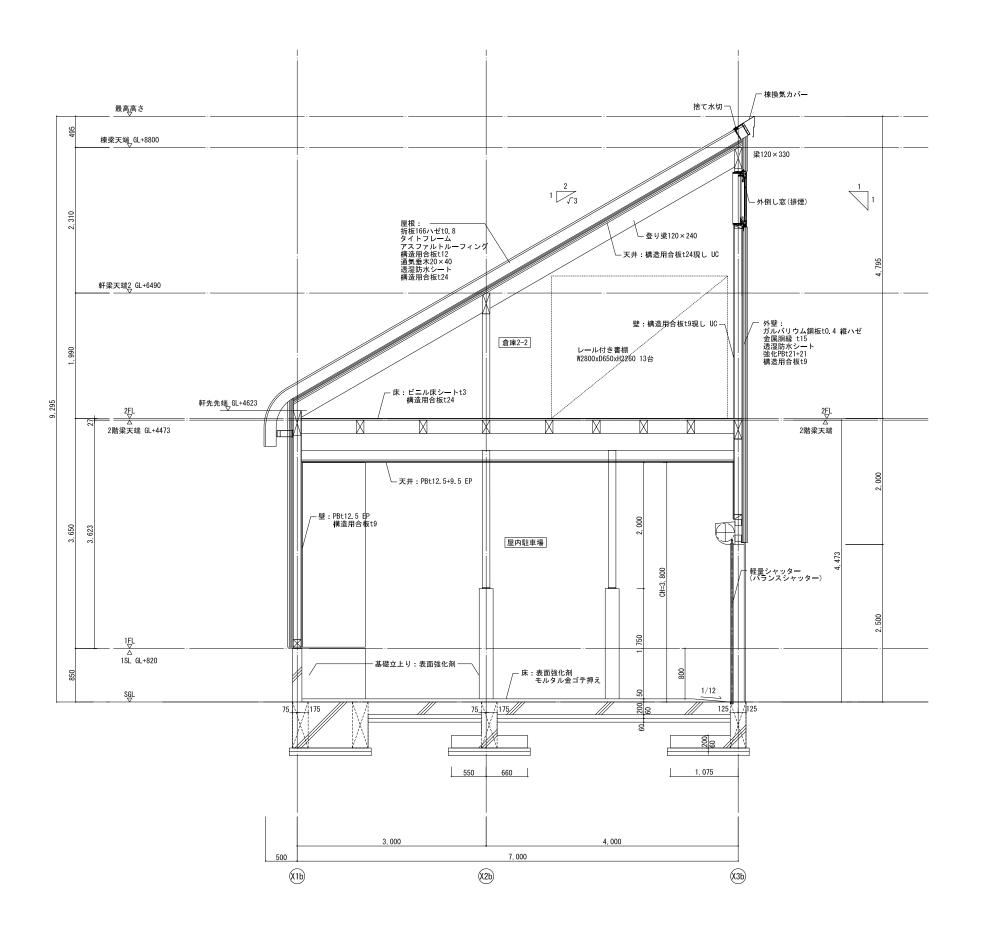


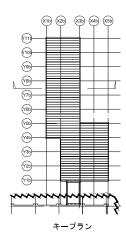
2025. 03. 17	^{設計} URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケージ 一般建築士事務所 東京都和事登録 第27596号 金森 移 / 一般建築士 第290239号	株式会社YAP一級建築士事務所 一級建集士事務所 大阪府知事登録(ロ)第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第33842号	実施設計	エ事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	図面名称 断面詳細図 本館1F(2	2) 編代 A1:1/30 A3:1/60	図面番号 A4-02	
--------------	-----------------------------------	--	--	------	---	----------------------	-----------------------	---------------	--

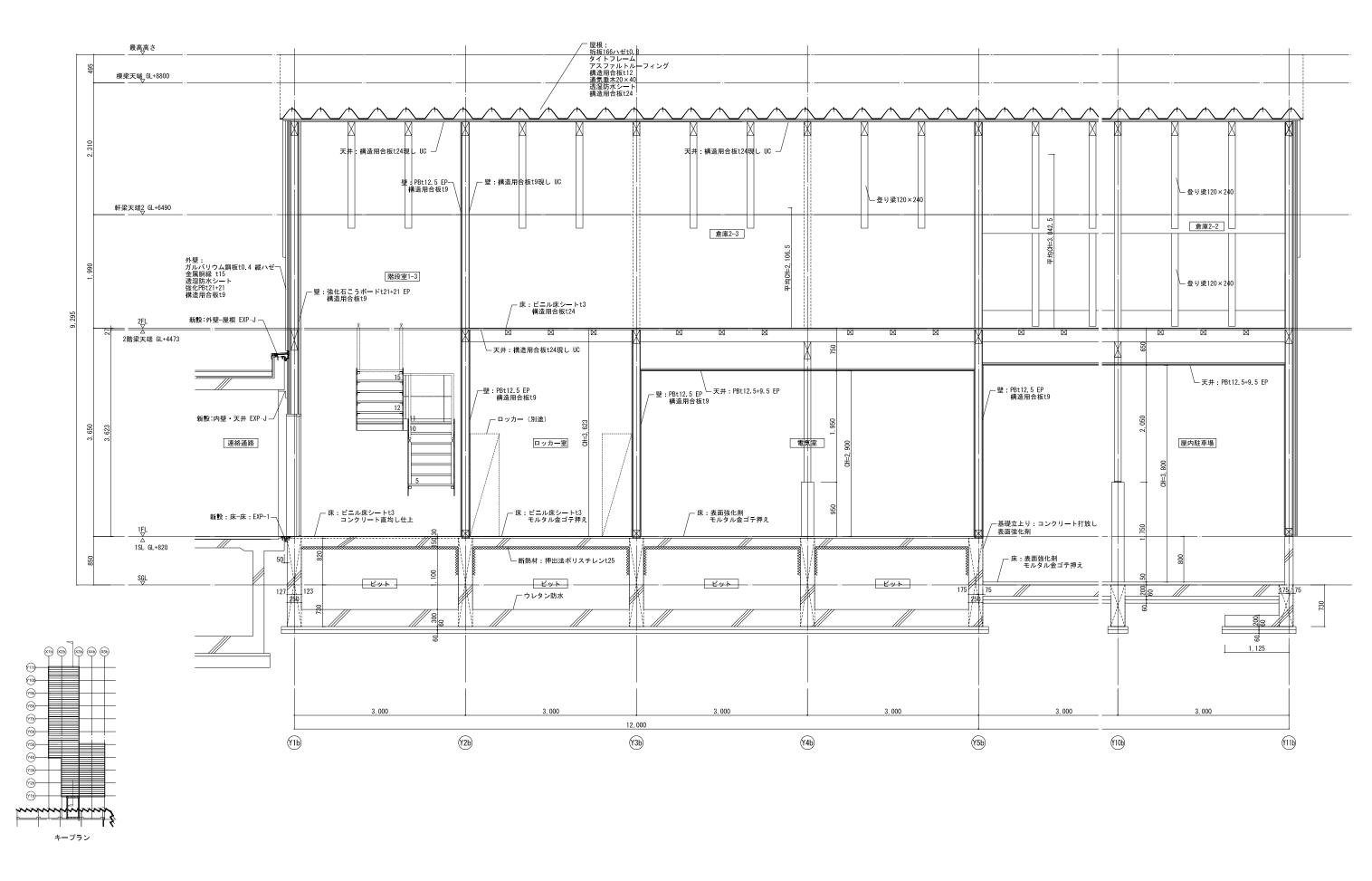




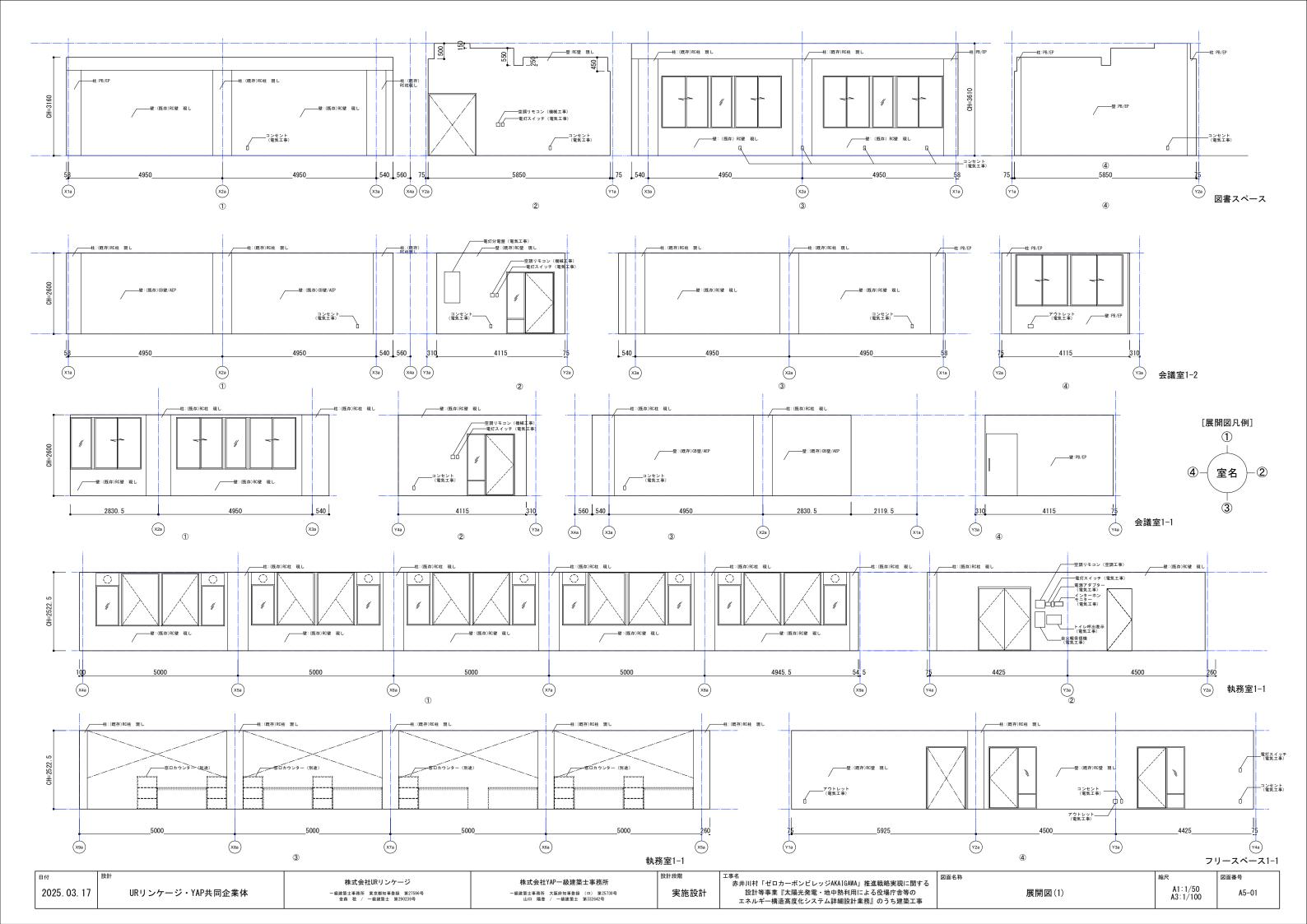


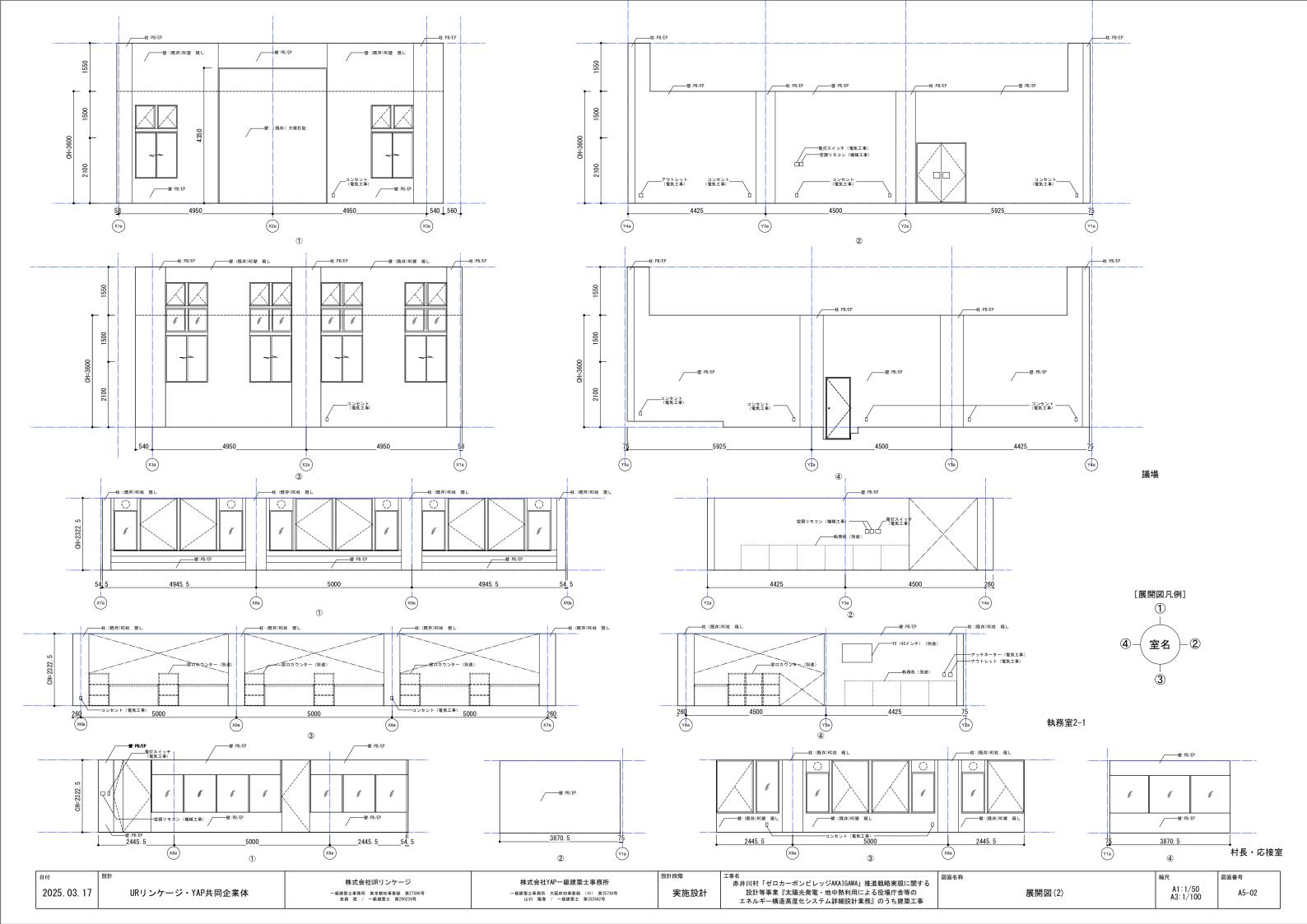


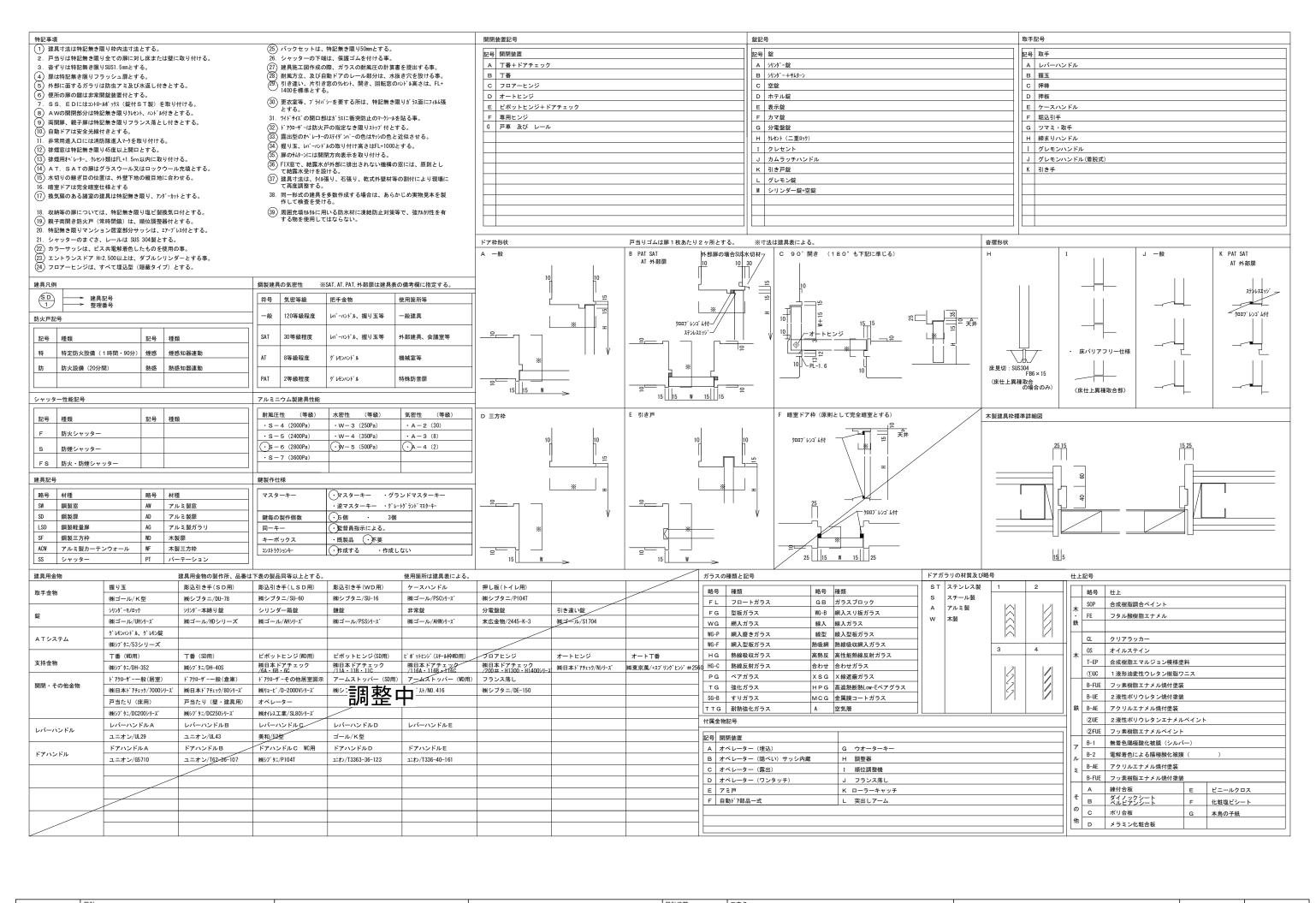




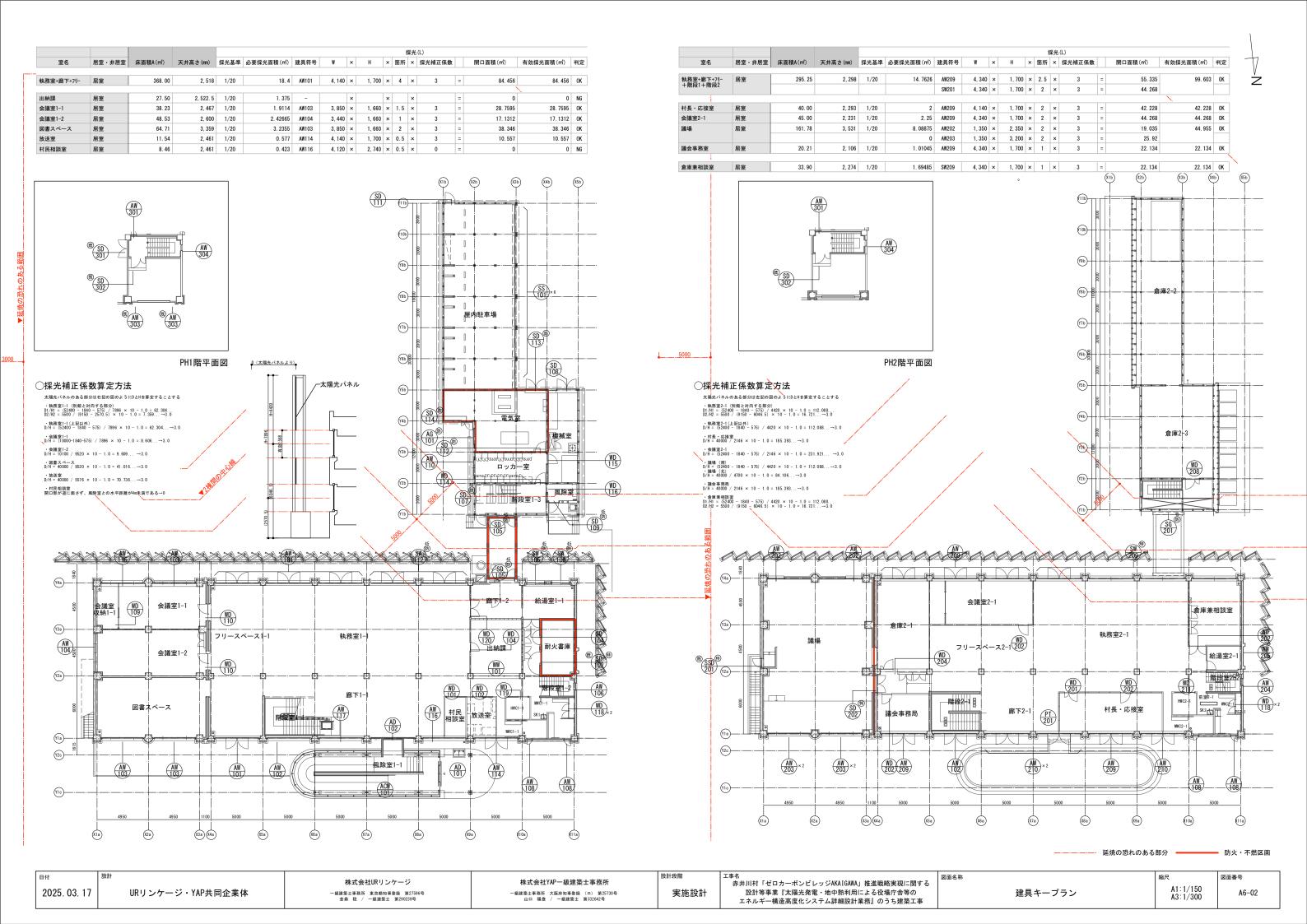
日付	設計		株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
20	5. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	断面詳細図 別館1F(3)	A1:1/30 A3:1/60	A4-06





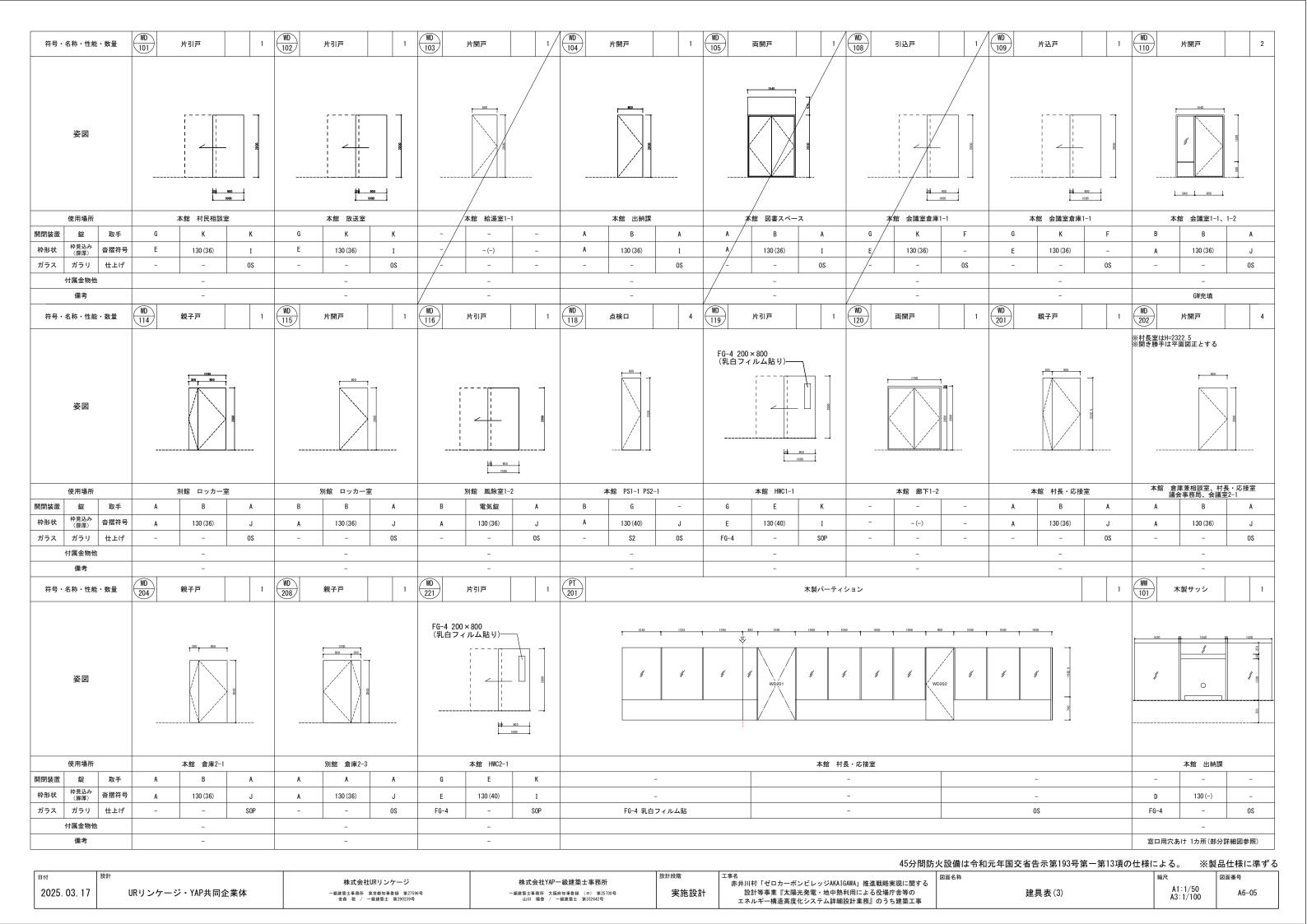


2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケージ 一般建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	株式会社YAP 一級建築士事務所 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	本井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	建具特記仕様書	縮尺 A1: NS A3: NS	図面番号 A6-01
				1				1 1

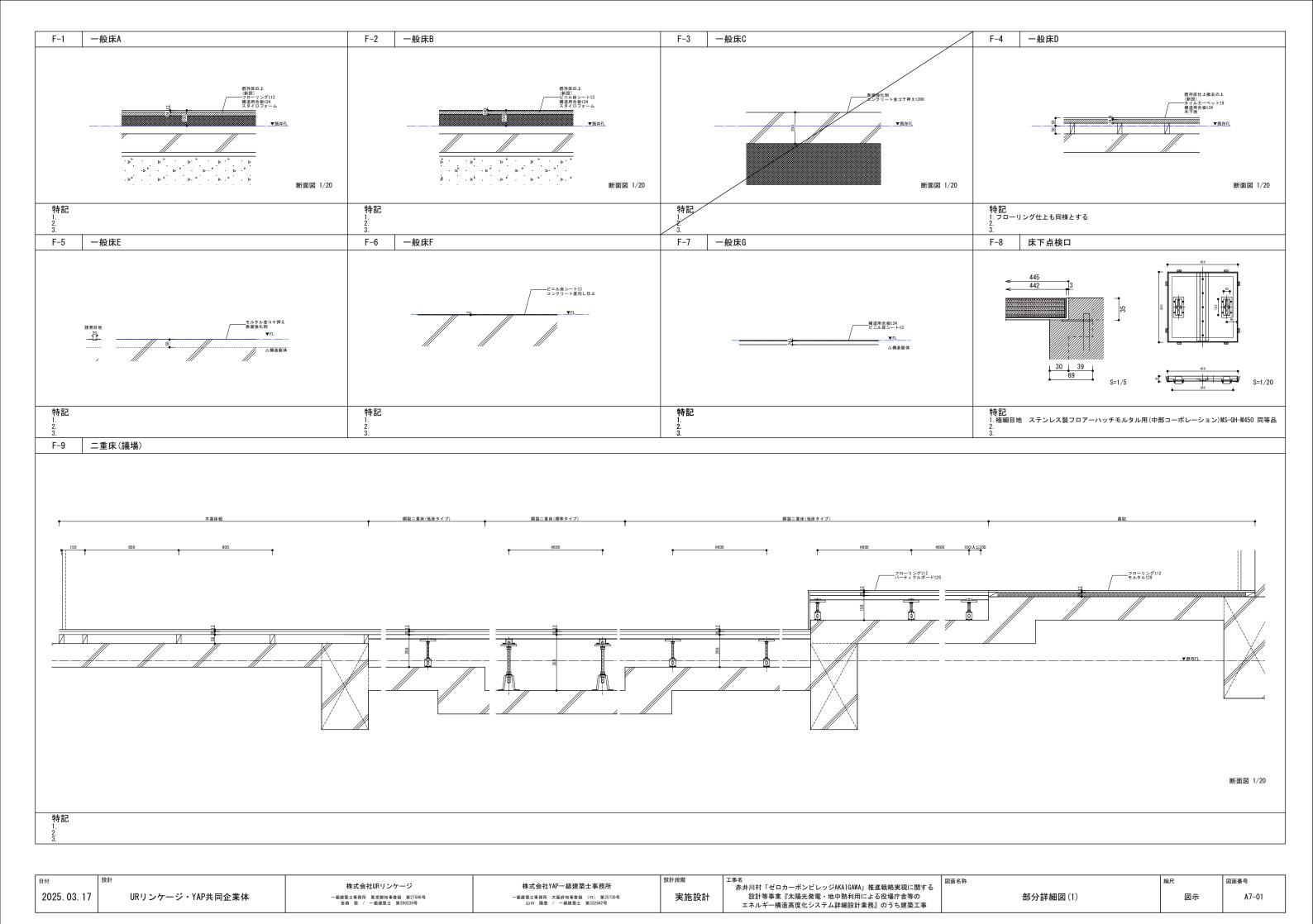


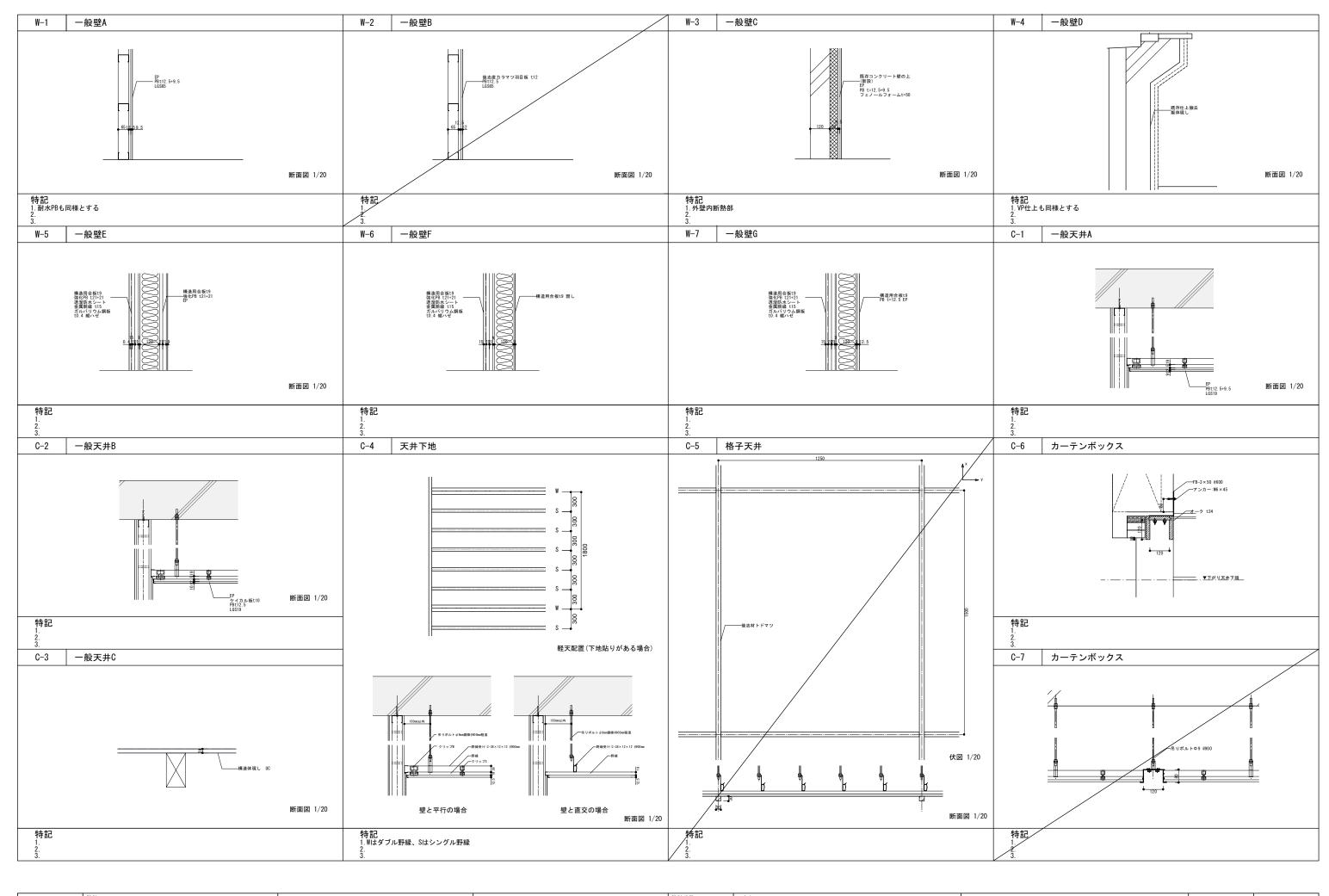
符号・名称・性能・数量	AW 7ルミサッシ 4	AW 102 アルミサッシ 2 (AW 103 アルミサッシ 3	AW アルミサッシ 1		AW 7ルミサッシ 1	AW 7ルミサッシ 4	(AW 110 アルミサッシ 1
姿図	750 50 1200 50 1200 50 750 750 750 750 750 750 750 750 75	4140 975 90 975 90 975 976 9775 90 975 9775 90 9775 9775 90 9775	1500 9 690 1 1500 1500 9 690 9 1500	3440 1690 1690 30 30 30		990	- SSSS - SSS - SSSS - SSS - SSSS - SSS - SSSS - SSS - SSSS - SSS - SS	1500
# B.H.F.	十位 \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	+ AC	+始 人 營宁1.1 回去→ 2° ¬	→ ⊷ 人業中10		+ 40 PM: CR. (0) 1 0	+ AC MINO 1 1 0 1 MINO 1 1 0 1	
使用場所 開閉装置 錠 取手	本館 執務室1-1	本館 階段室1-1・2-1	本館 会議室1-1 図書スペース G H F	本館 会議室1-2 G H F		本館 階段室1-2 B - A	本館 MWC1-1・2-1 WWC1-1・2-1 B H A	別館 ロッカ一室 B H A
開閉装置 錠 取手 枠形状 枠見込み (扉厚) 沓摺符号	B H A							
ガラス ガラリ 仕上げ	F ※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	* 100 (**)	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着				
付属金物他	-	-	-	-		-	-	-
備考	FL+1740の位置に錠取付 アルミ樹脂複合サッシ	アルミ樹脂複合サッシ	アルミ樹脂複合サッシ	アルミ樹脂複合サッシ		アルミ樹脂複合サッシ	開き勝手は平面図図示による アルミ樹脂複合サッシ	-
符号・名称・性能・数量	AW 7.11 5.14 m.S. 1	AW 7ルミサッシ 1 (AW アルミサッシ 1	AW アルミサッシ 1	AW 202 アルミサッシ	2 AW アルミサッシ 4	AW	AW アルミサッシ 1
	114	115 772 1 1	116	117	202	203	204 アルミサッシ 1	205 711 1
姿図	730 F0 1200 1200 750 750 750 750 750 750 750 750 750 7	38 59 710 80 990 80 15 500 7 x x x x x x x x x x x x x x x x x x x	7 (m)	1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	535 PA 635 535 545 547 547 547 547 547 547 54	52. 55. 55. 55. 55. 55. 55. 55. 55. 55.	- 600 - 500 - 500	1600
使用場所	本館 放送室 WWC1-1	本館 会議室1-1	本館 廊下1-1	本館 廊下1-1	本館 議場	本館 議場	本館 階段室2-2	本館 給湯室2-1
開閉装置 錠 取手								
44 57 72 4	В Н А	G H F	В – А	В – А	B+G H	F G H F	В – А	G H F
枠形状 枠見込み 沓摺符号		* 100 (*) -	* 100(**) -	* 100(*) -	% 100 (%)	-	* 100 (*) -	* 100 (%) -
ガラス ガラリ 仕上げ		* 100 (*) -	-		* 100 (*) FL6+A8+Low-E -			
(解厚) 自111175	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	% 100 (%)	- ※ 100(※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着		※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着
#### (原厚) 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	FL6+A8+Low-E - 電着 -	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 -	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	* 100 (*) FL6+A8+Low-E	- ※ 100(※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着
### (原厚) 目 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ	※ 100(※) - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ	※ 100(※) FL6+A8+Low-E アルミ樹脂複合サッシ	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ	**** 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ	※ 100(※) - 電着 - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ
ガラス ガラリ 仕上げ 付属金物他 備考 符号・名称・性能・数量	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW 209 アルミサッシ 5	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AN 210 アルミサッシ 3	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW アルミサッシ 2	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2	※ 100(※) FL6+A8+Low-E アルミ樹脂複合サッシ	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AD 102 自動ドア 1	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AG 101 アルミガラリ 1
(原原) 目 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW 209 アルミサッシ 5	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 210 アルミサッシ 3 (※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 301 アルミサッシ 2	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2	※ 100(※) FL6+A8+Low-E アルミ樹脂複合サッシ	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ 自動ドア 1	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AD 102 自動ドア 1	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AG 101 アルミガラリ 1
ガラス ガラリ 仕上げ 付属金物他 備考 符号・名称・性能・数量 姿図	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW 209 アルミサッシ 5 ***********************************	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 210 アルミサッシ 3 (***) *********************************	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 301 アルミサッシ 2 本館階段室3-2, 4-2	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2	※ 100(※) FL6+A8+Low-E アルミ樹脂複合サッシ AD 101	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ 自動ドア 1	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AD 102 自動ドア 1 「	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AG 101 アルミガラリ 1
### (Files	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW 209 アルミサッシ 5 ***********************************	※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 210 アルミサッシ 3 (**********************************	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 301 アルミサッシ 2 本館階段室3-2, 4-2 B H A	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2 本館 階段室2-2 B - A	※ 100(※)FL6+A8+Low-E -アルミ樹脂複合サッシ(4)(4)(4)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)<	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - Tルミ樹脂複合サッシ 自動ドア 1	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ 自動ドア 1 100	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AG 101 アルミガラリ 1 1 別館 電気室
### (原原) 日 11 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	FL6+A8+Low-E - 電着 FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW アルミサッシ 5 *** 本館 執務室2-1 B H A *** 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 FL+1470の位置に錠取付	※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 210 アルミサッシ 3 (4160 第 1200 第 12	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 アルミ樹脂複合サッシ AW 301 アルミサッシ 2 本館階段室3-2, 4-2 B H A ※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 既存AW-3、開き勝手は平面図図示による	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2 本館 階段室2-2 B - A ※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	 ※ 100(※) FL6+A8+Low-E - アルミ樹脂複合サッシ (4) ※ ※ FL10 	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - 電角	※ 100 (※) - 電着	※ 100(※) FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AG 101 アルミガラリ 1 1 別館 電気室 - - - ※ ※ アルミ - - -
### (Fig. 1) (Fig.	FL6+A8+Low-E - 電着 - FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW 209 アルミサッシ 5 本館 執務室2-1 B H A ** 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	**** 100 (***) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 210 アルミサッシ 3 (*** **** 「	 ※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 アルミ樹脂複合サッシ AW 301 アルミサッシ 2 本館階段室3-2, 4-2 B H A ※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 	**** 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2 本館 階段室2-2 B - A ※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着	 ※ 100(※) FL6+A8+Low-E - アルミ樹脂複合サッシ (4) ※ ※ FL10 	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - 電角	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AD 102 自動ドア 1 本館 廊下1-1 ※ ※ ※ ※ ※ FL10 - 電着 -	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 アルミ樹脂複合サッシ 1 AG 101 アルミガラリ 1 別館 電気室 - - ※ ※ ※ - アルミ - - 防火ダンパー付
### (原原) 日 11 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	FL6+A8+Low-E - 電着 FL+1590の位置に錠取付アルミ樹脂複合サッシ AW アルミサッシ 5 *** 本館 執務室2-1 B H A *** 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 FL+1470の位置に錠取付	※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 210 アルミサッシ 3 (4160 第 1200 第 12	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 アルミ樹脂複合サッシ AW 301 アルミサッシ 2 本館階段室3-2, 4-2 B H A ※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 既存AW-3、開き勝手は平面図図示による	※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着 - アルミ樹脂複合サッシ AW 304 アルミサッシ 2 本館 階段室2-2 B - A ※ 100(※) - FL6+A8+Low-E - 電着	 ※ 100(※) FL6+A8+Low-E - アルミ樹脂複合サッシ (4) ※ ※ FL10 	- ※ 100 (※) - 電着 FL6+A8+Low-E - 電着 - 電角	※ 100 (※) - 電着	※ 100 (※) - FL6+A8+Low-E - 電着 アルミ樹脂複合サッシ 1 AG 101 アルミガラリ 1 別館 電気室 - - ※ ※ ※ - アルミ - - 防火ダンパー付

符号・名称・性能・数量	第 常開防火戸	特 1	SD 104 両開	帮 戸	1	SD 105	常閉防火戸	防45 2	SD 7	\$閉防火戸	防45 1	SD 108	両開戸	1							SSD 201	片開戸	特 1
姿図	988.5	0000		1790		られること。 ※枠と接する こと。 ※取付金物は 付けること。	材料で造られた開口 部分は隙間が生じな 閉鎖した際に露出し 14005-2900 700 † 700	い構造とする		750			1540	000								800	
使用場所	本館 耐火書原	E	本館	給湯室1-1			別館 連絡通路			別館 階段室1-3			別館 機械室										
開閉装置 錠 取手 枠形状 枠見込み (扉厚) 沓摺符号	(-)	-	-	- (-)	-	A B	B 130 (40)	A K	A B	B 130 (40)	A K	В	A 130 (40)	A K							A B	B 130 (40)	A K
ガラス ガラリ 仕上げ		-	-	-	-	-	-	SOP	-	-	SOP	-	-	SOP							-	-	SOP
付属金物他	- ====================================			-		AC / SERVE	ラッチ / ねまなか	- *** 1000 B	45 /\ 88 P± .I		- *** 1000 B		-									- ====================================	
備考	既存のまま		<u></u>	-		_	火設備 / 建設省告	示第1369号		設備 / 建設省告	示第1369号	(6)	-		(2)			SD				既存そのまま	
符号・名称・性能・数量	SD 109 片開戸	防 ⁴⁵ 1	SD 111 片開	押戸	1	SD 112	親子戸	防 1	SD 113	両開戸	防 1	SD 114	親子戸	防 1	SD 202	両開戸	特 1	301 2 7	チールドア	1 (SD 302	チールドア	2
姿図	750			900			900 1150 200 and 1	000			0000		350 700	00 pg		1660	OS 61		550 550			1275	0003
使用場所	別館 風除室1-	-2		屋内駐車場			別館 電気室			別館 電気室			別館 ポンプ室			本館議場			PH1階 階段室		PH1	1階/PH2階 階段	室
開閉装置 錠 取手	В –	A	В	В	A	В	A	A	В	A	A	В	A	A	A	В	D	В	-	A	В	-	Α
枠形状 枠見込み 沓摺符号	A 130 (40)	J	A	130 (40)	J	В	130 (40)	K	В	130 (40)	K	В	130 (40)	K	В	130 (40)	K	*	100 (※)	-	*	100 (※)	-
ガラス ガラリ 仕上げ	- S2	SOP	-	S2	SOP	-	-	SOP	-	-	SOP	-	-	SOP	-	-	SOP	FL6+A8+Low-E	-	電着	FL6+A8+Low-E	-	電着
付属金物他	ー イェンション・フェー / エキュー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ	生二年1260日		_												- CAC生=0EC2日共	+ *		- 匹左をのまま			- エカスのナナ	
備考	45分間防火設備 / 建設省 SW		SW			SW			SW			SW				\$46告示2563号仕	tr.	SG	既存そのまま		SS	既存そのまま	
符号・名称・性能・数量	スチールサッシ		<u>105</u> スチール	レサッシ 防	j ⁴⁵ 1	106	チールサッシ	防 ⁴⁵ 1	112 2	・ールサッシ	防 ⁴⁵ 2	209 2 3	チールサッシ	特 4				201 27	ールガラリ		101 軽量	シャッター	6
姿図	2150 1090 1090	88		1600 50 750 30 750 30 750 30 750 30 750 30 750			1600 750 0 750 0 750	900 800	2.0 Gardyano	41.40 1200 St 1200 G S	00 E	250 P	4140 1000 8 1000 0 8	20 (100 m) 200 (10					1400	085		2893	2000
使用場所	別館 連絡通路	各	本館	給湯室1-1			本館 給湯室1-1			本館 執務室1-1		本負	官 倉庫2-1 会議室	2-1				5	引館 階段室2-3		另	別館 屋内駐車場	
開閉装置 錠 取手	G H	F	G	Н	F	G	Н	F	В	Н	Α	В	Н	A				-	-	-	*	*	*
枠形状 枠見込み 沓摺符号	* 100 (*)	-	*	100 (※)	-	*	100 (※)	-	*	100 (※)	-	*	100 (※)	-				*	*	*	*	*	*
ガラス ガラリ 仕上げ	熱6+A8+Low-E6 -	電着	TTG8	-	電着	TTG8	-	電着	FL6+A8+Low-E	-	電着	TTG8	-	電着				-	スチール	-	-	-	SOP
							_		FL	-1740の位置に錠取	付	FL	+1390の位置に錠取	对付					-			_	
付属金物他	-			-																			
付属金物他備考	- 45分間防火設値	H H	大臣認定(縦滑出窓部 スチールパネル部		: EA-0283) 9号仕様	大臣認定(縦)	骨出窓部:EA-9108/F1X3 ペネル部:建設省告示第	窓部:EA-0283) 1369号仕様	大 スチールパ	豆認定(FIX部:EA-028 ネル部:建設省告示第	3) 1369号仕様	大臣認定(縦滑 スチールパ	出窓部:EA-9108/FIX系 ネル部:建設省告示第	窓部:EA-0283) 31369号仕様				45分間防火! ボッ	設備/国交省告示13 クス板厚1.6mm以上	69号仕様		-	
	/	Ħ	大臣認定(縦滑出窓部 スチールパネル部		: EA-0283) 9号仕様	大臣認定(縦沿 スチール/	骨出窓部:EA-9108/FIX系 ペネル部:建設省告示第	8部:EA-0283) 1369号仕様	大 スチールパ	豆認定(FIX部:EA-028 ネル部:建設省告示第	3) 1369号仕様	大臣認定(縦滑 スチールパ	出窓部:EA-9108/FIX系 ネル部:建設省告示第	窓部:EA-0283) 第1369号仕様		45分間防火	く設備は令和	ボッ	設備/国交省告示13 ウス板厚1.6mm以上 示第193号第一	<u> </u>	仕様による。		仕様に準ずる

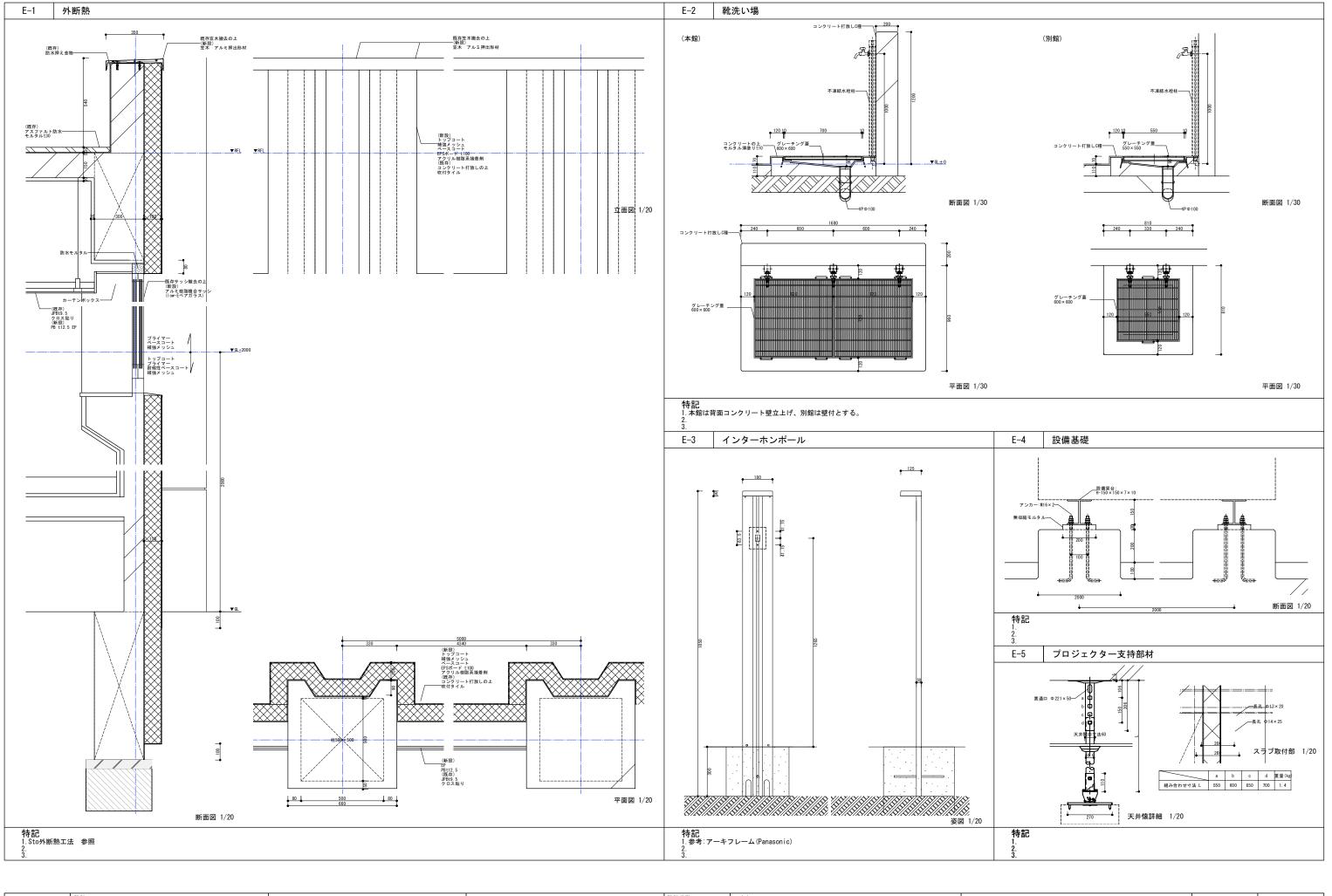


		ACW\																											
符号・名称・性能・数量	量 (′	101	カーテンウ	ナール																									1
		t	1250	"	"	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	"		"	"	1250	1145	50" 1	50" 15	i0° 15		1145	1250	"	,,	1227.5 4	1358 44	.5.75 2000	75.45 1358	45 1227.5	1250			
姿図			//	#	¶	//	4	¶	ll .	¶	¶	//	¶	#	//	"	11	//	<i>#</i>	4	И	<i>(</i> /		4	#	#	8552	88	
		===#				 													 	 			- 	- 	 		å		======
		-																	-										
法 田坦 : *				'	'				'				'			·													
使用場所 財別装置 錠 取	収手						-									本思	風除室1-1 -									_			
枠形状 枠見込み 沓摺							-										-									-			
ガラス ガラリ 仕上	上げ						*										-									電着			
付属金物他 ————————————————————— 備考																寸法は建具	- 具詳細図を正。	とする											
符号・名称・性能・数量	■	ACW	カーテンウ:	ナール																									
				605		3266	605	1250																					
姿図		===	<i>#</i>	//		AD101	/	<i>V</i>		0972 0987																			
使用場所							本館 風除																						
開閉装置 錠 取 枠形状 ^{枠見込み} (扉厚) 沓摺				_			-				-																		
	上げ			*			-				電着																		
付属金物他							-																						
備考 ————————————————————————————————————						寸法	は建具詳細図	を正とする																					
符号・名称・性能・数量	量																												
姿図																													
使用場所																													
開閉装置 錠 取						<u> </u>																							
枠形状 枠見込み (屏厚) 沓摺 ガラス ガラリ 仕」																													
付属金物他	_ /																												
備考																													
T											-						1	÷ 5				45分間	間防火設備は令和	元年国交省	告示第1935	号第一第133			品仕様に準ず
2025. 03. 17		リンケ	ージ・YA	P共同企業	体		一級建築士事	式会社URリンク ・ 務所 東京都知事登 ・ 一級建築士	録 第27596号		-		/AP一級建築 大阪府知事登録 / 一級建築士	士事務所 (ロ) 第25730号 第332642号		実施記		設計等	事業『太陽光	允発電・地中熱	IGAWA」推進戦 A利用による役 田設計業務』の	場庁舎等の		建	建具表(4)		縮	R A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A6-06

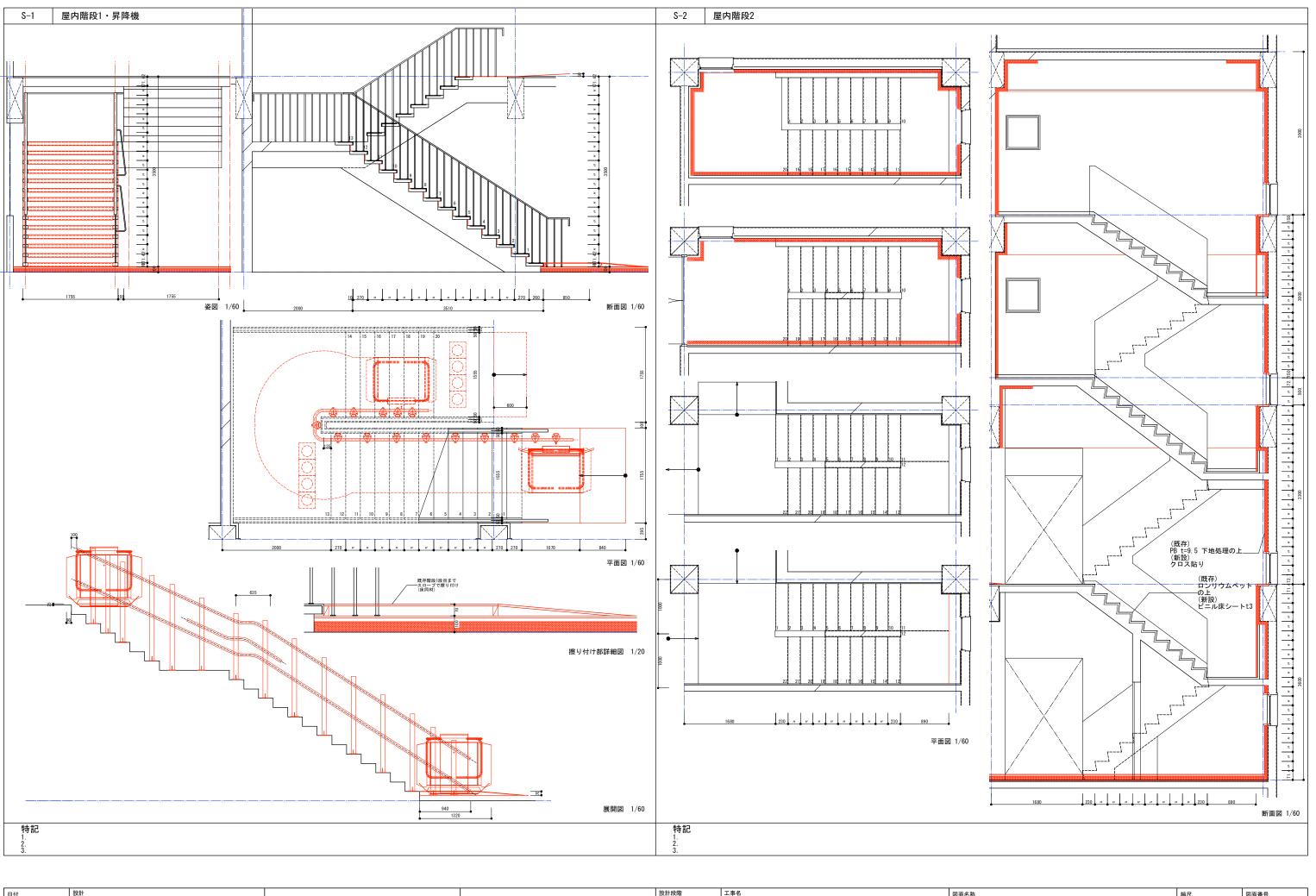




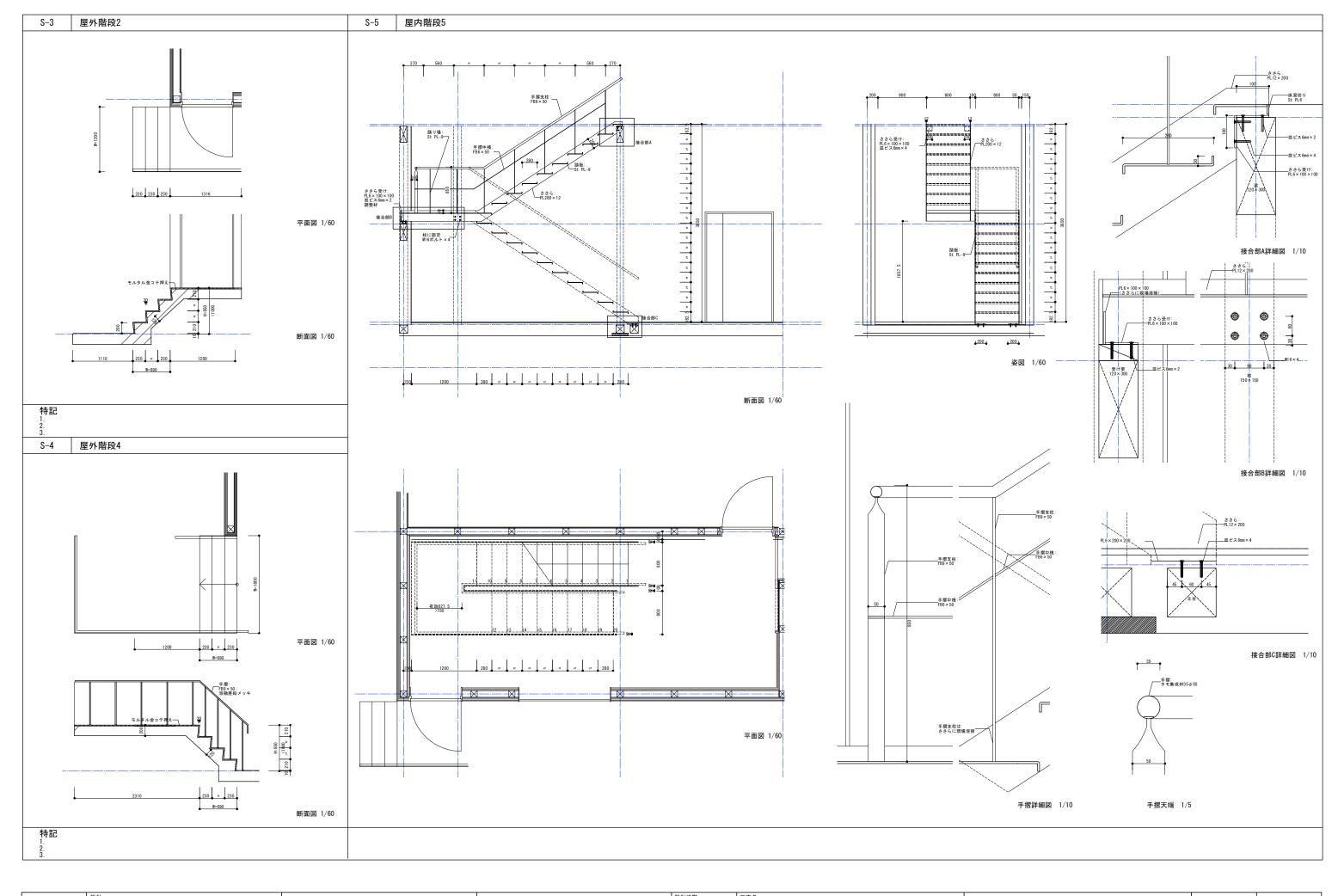
設計 株式会社URリンケージ 株式会社YAP 級建築士事務所 投計段	エ事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	部分詳細図(2)	縮尺 図示	図面番号 A7-02
--	---	----------	-------	---------------



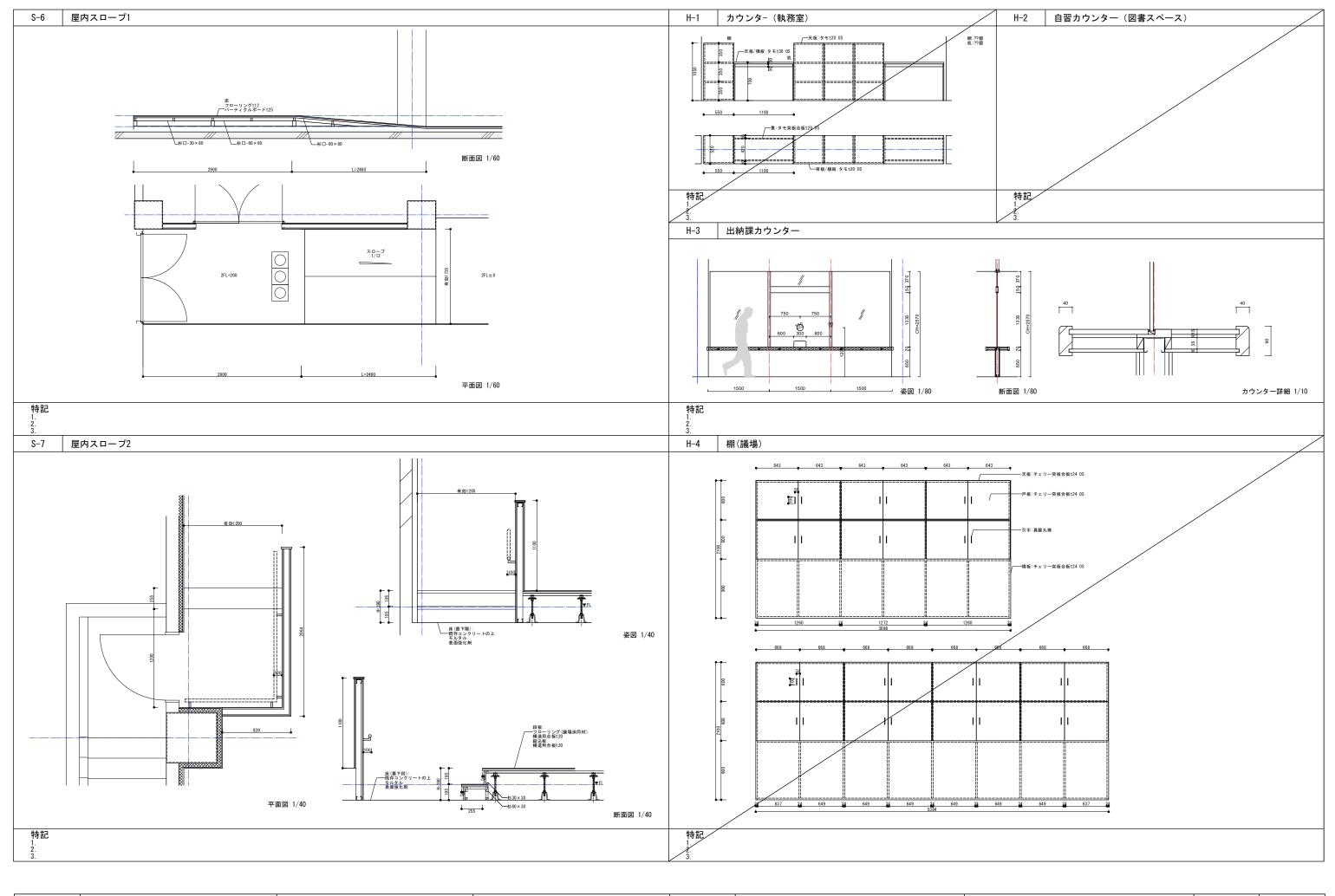
日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	部分詳細図(3)	図示	A7-03



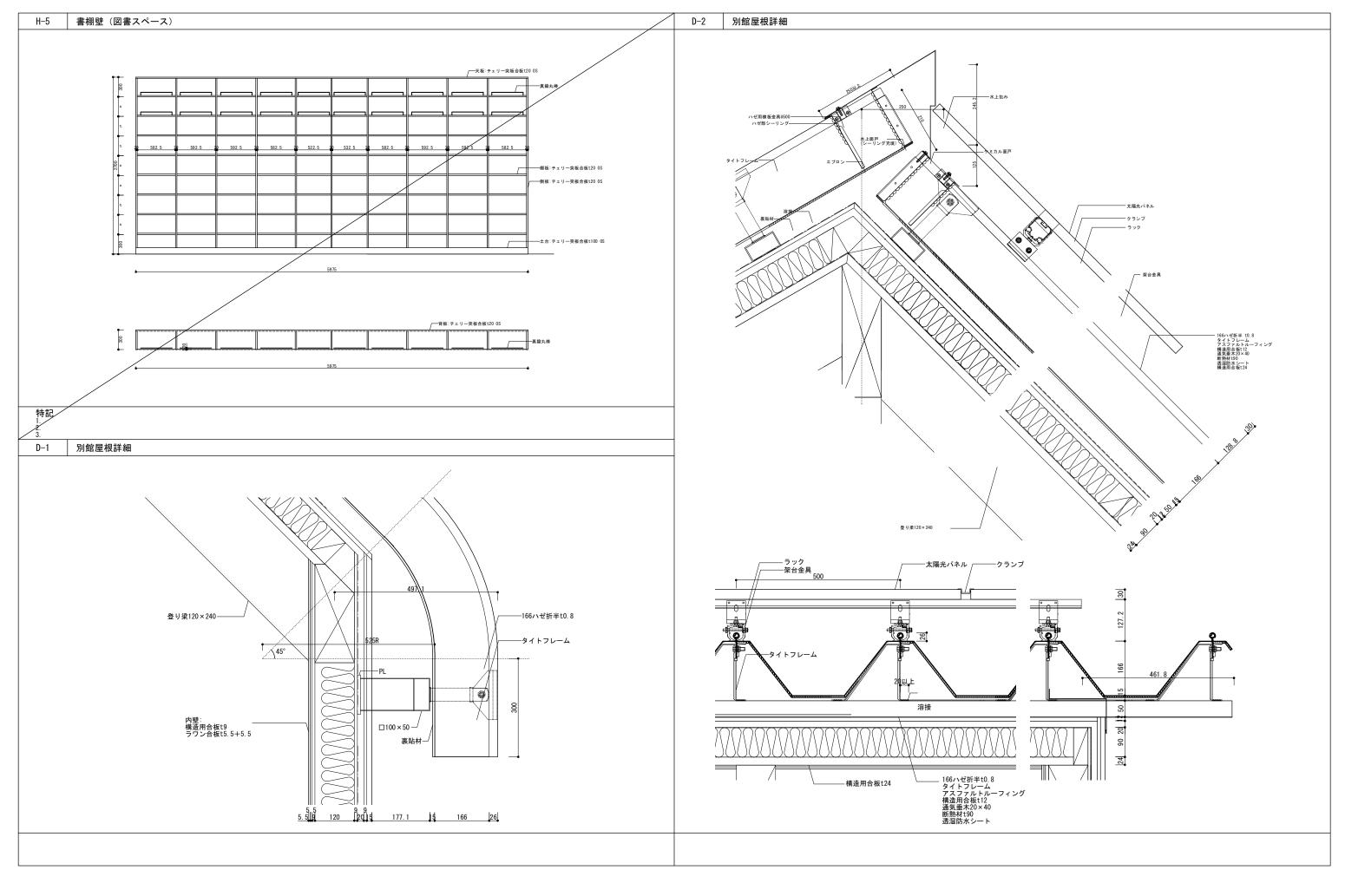
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	株式会社URリンケージ - 級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	株式会社YAP一級建築士事務所 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	図面名称	部分詳細図(4)	縮尺図示	図面番号 A7-04



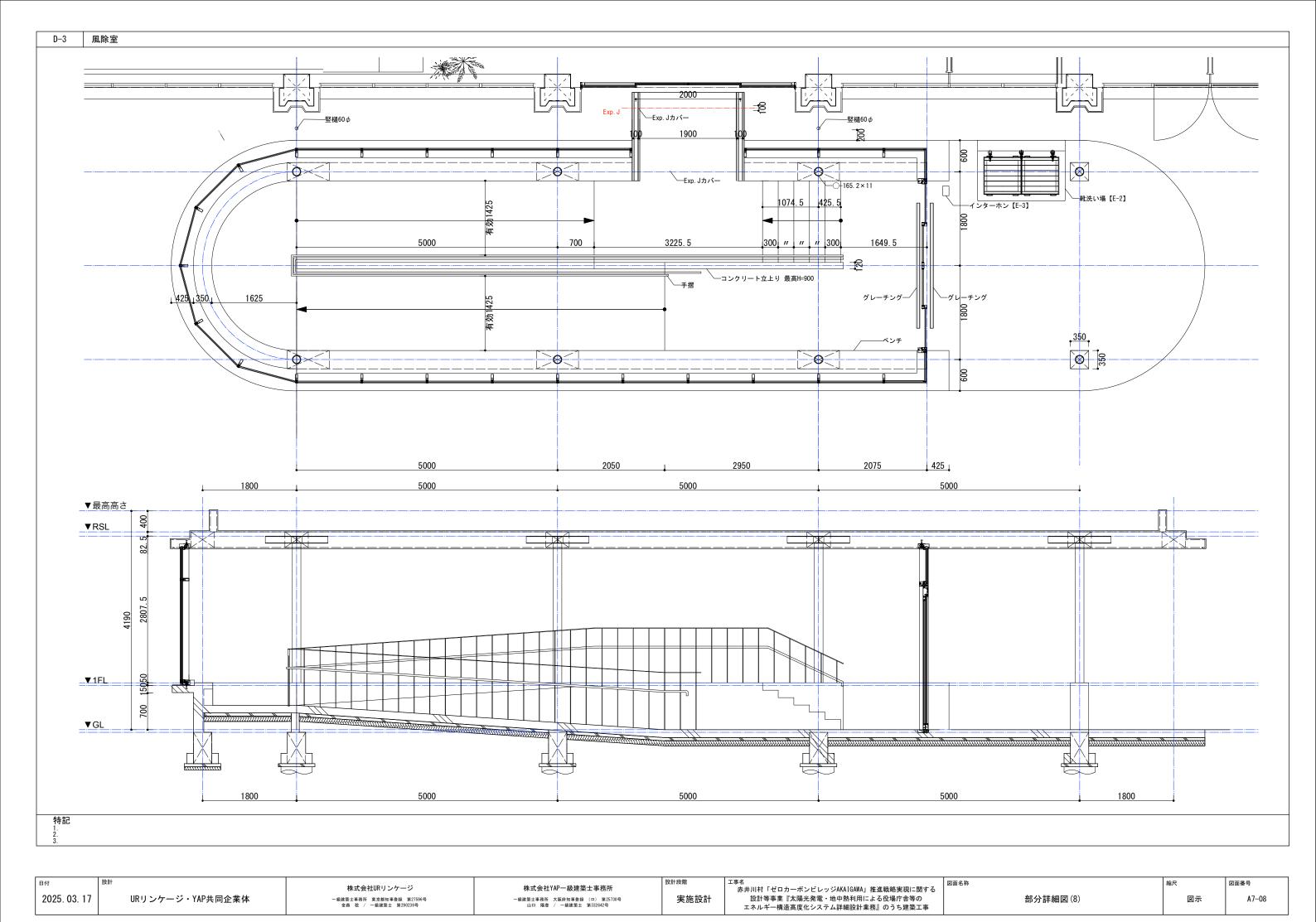
日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	部分詳細図(5)	図示	A7-05

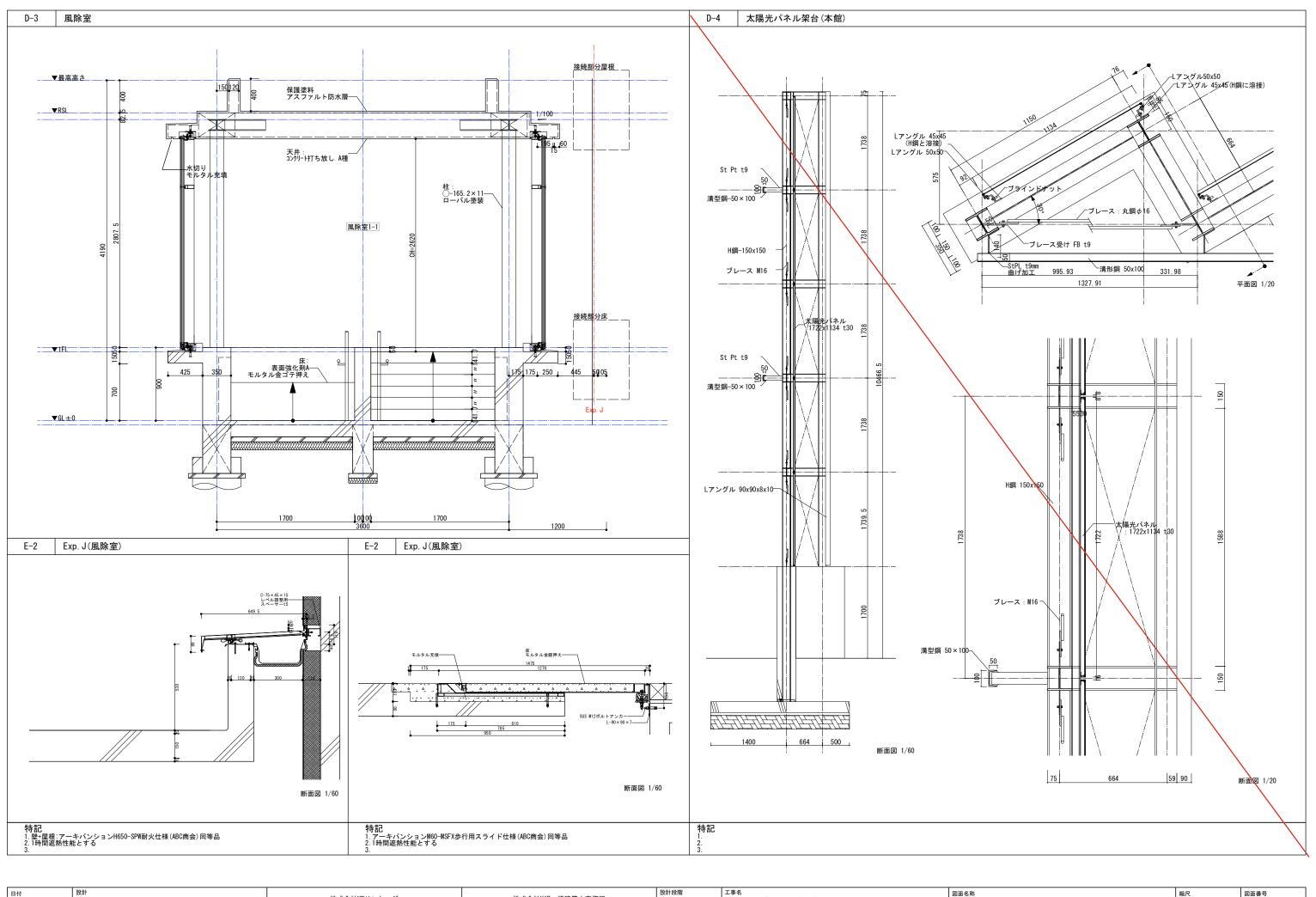


日付 設計		株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	- 級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / - 級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	部分詳細図(6)	図示	A7-06

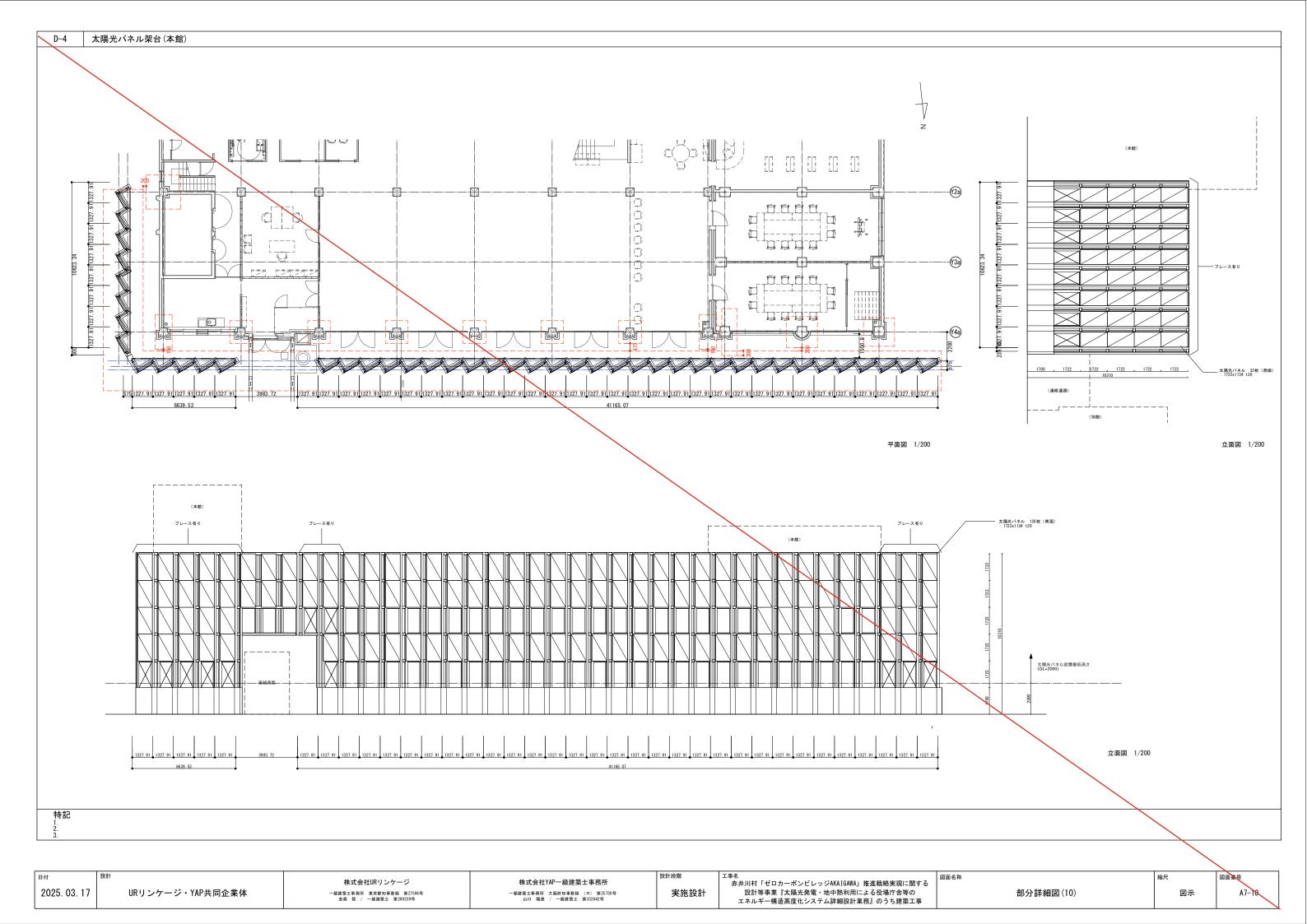


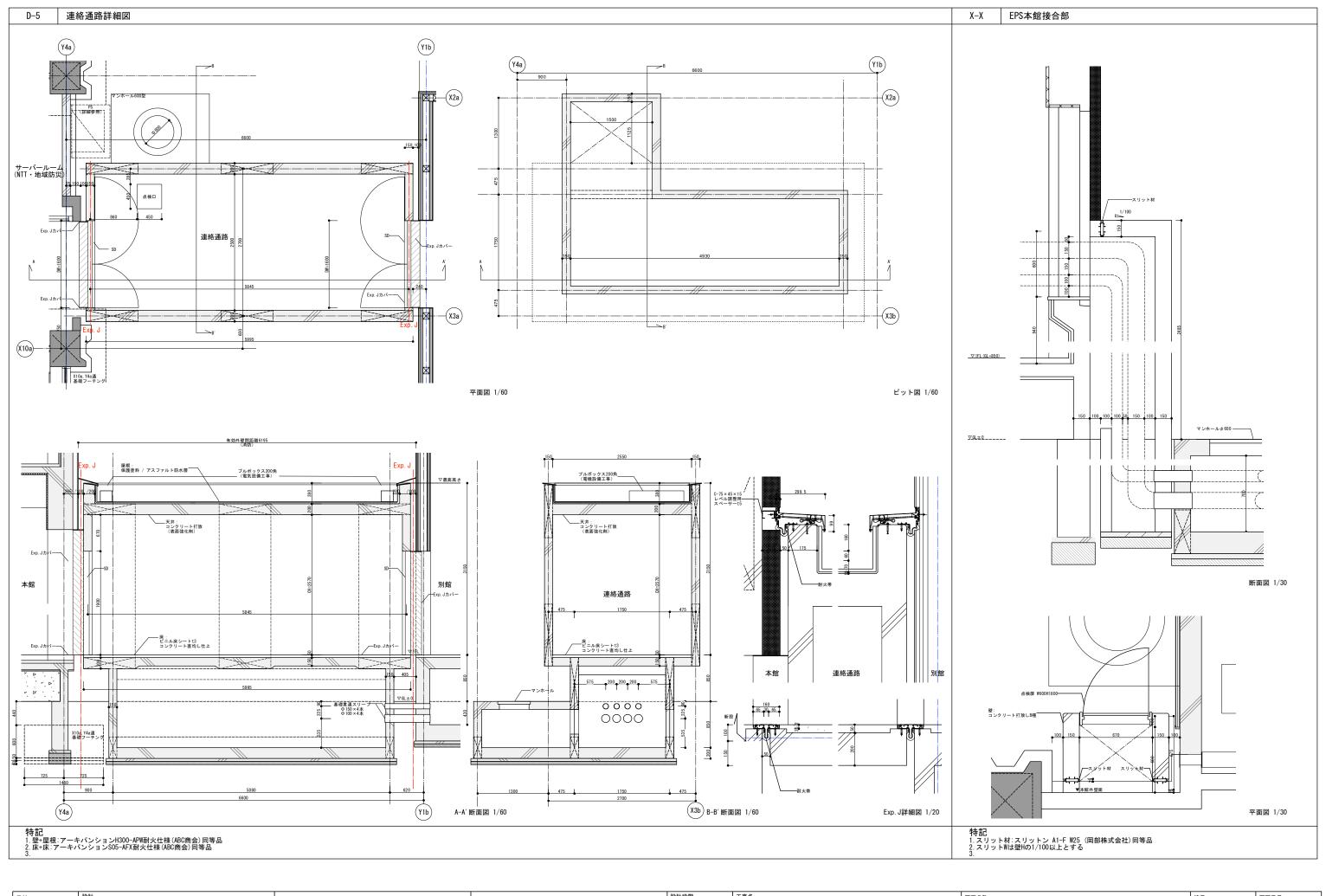
日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号		実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	部分詳細	図 (7) 図示	A7-07



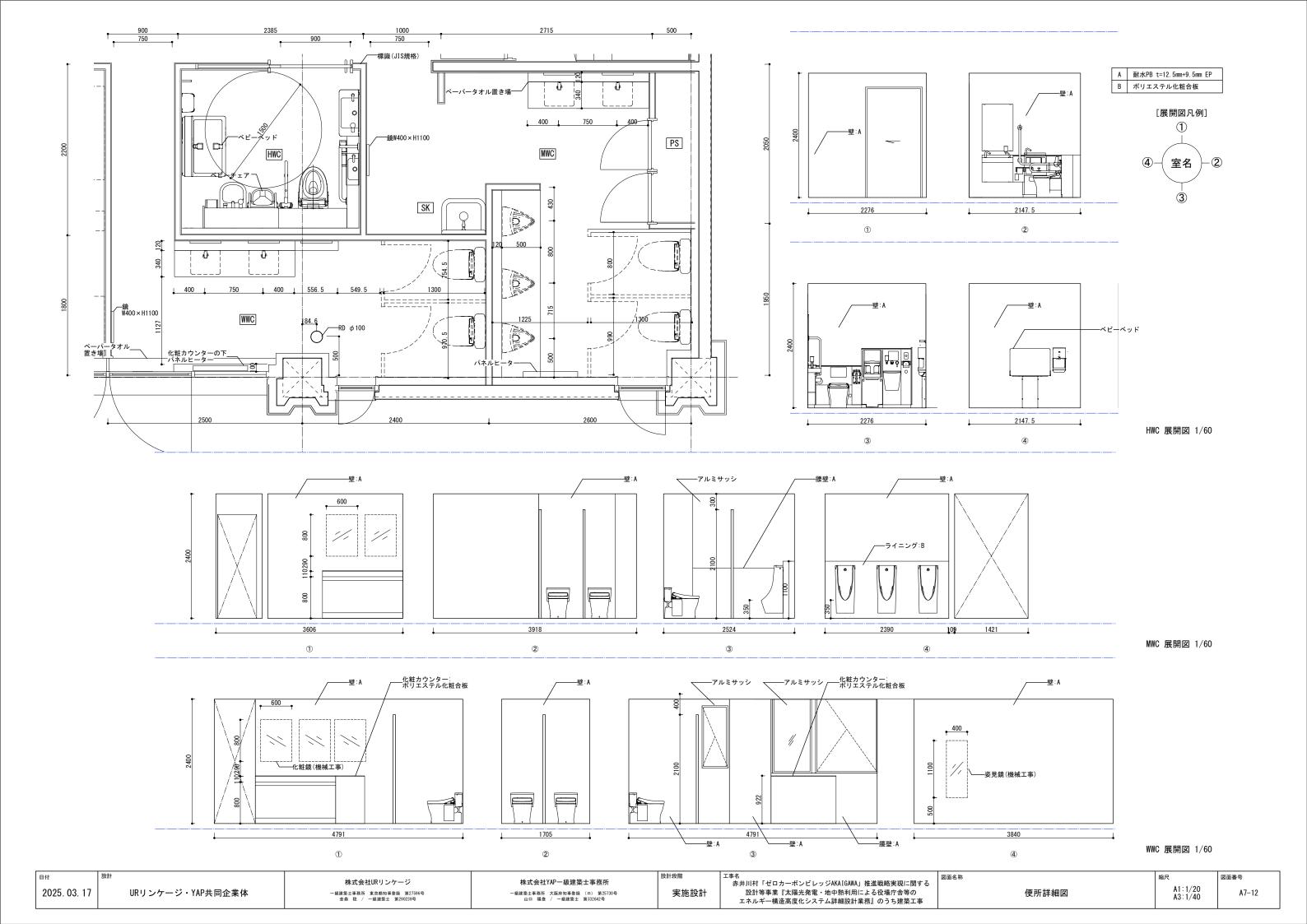


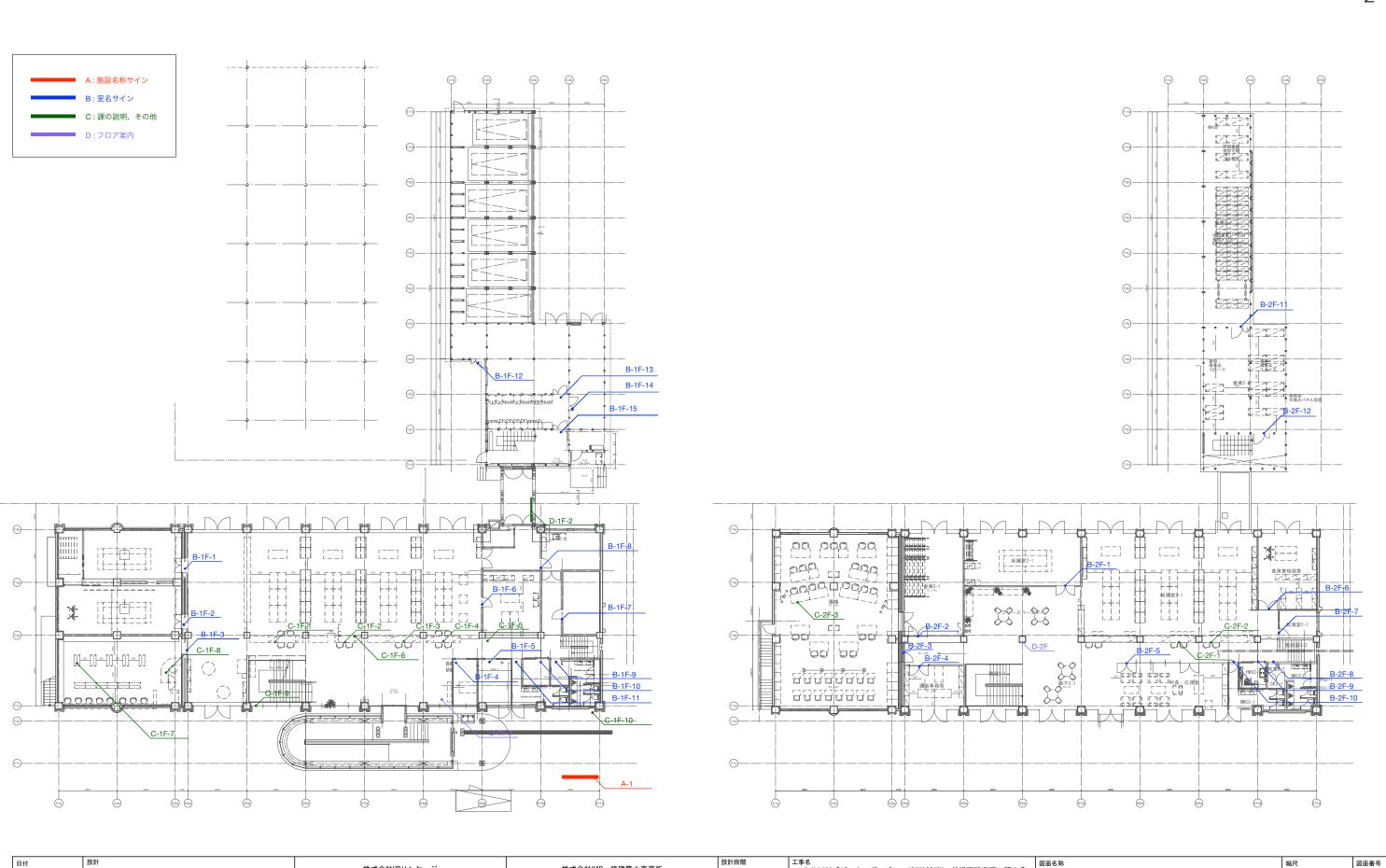
日付	投計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名 未井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	 一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号 	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	部分詳細図(9)	図示	A7-09





日付	設計	株式会社URリンケージ	 株式会社YAPー級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号	í
0005 00 17	11D.1				赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する				í
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	 一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号 	- 繊建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の	部分詳細図(11)	図示	A/-11	i
			- Wall /		エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事				i





2025. 03. 17

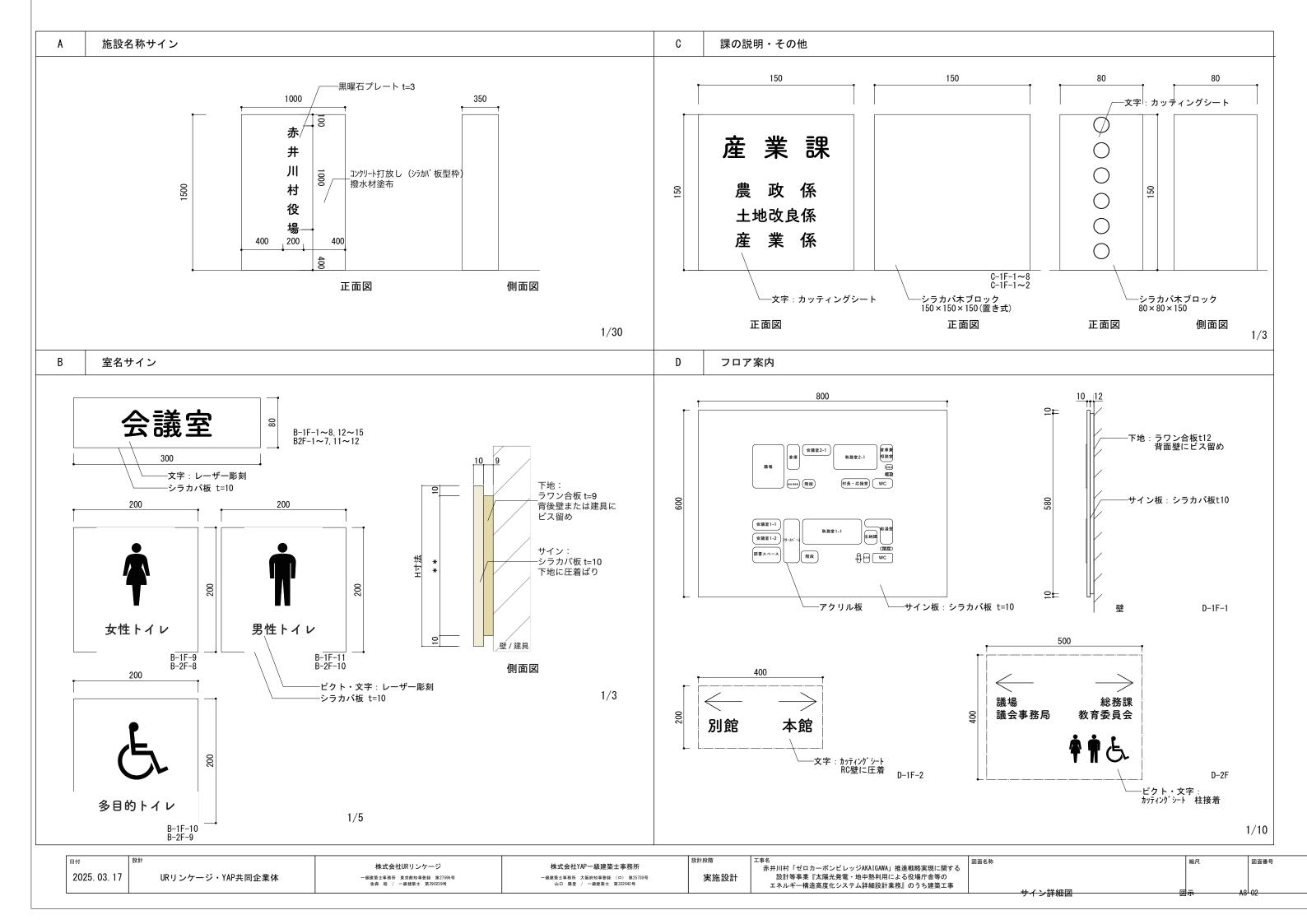
URリンケージ・YAP共同企業体 -級建築士事務所 東京都知明金森 花 / -級建築士

株式会社URリンケージ - 級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号 株式会社YAP — 級建築士事務所 - 級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号 実施設計

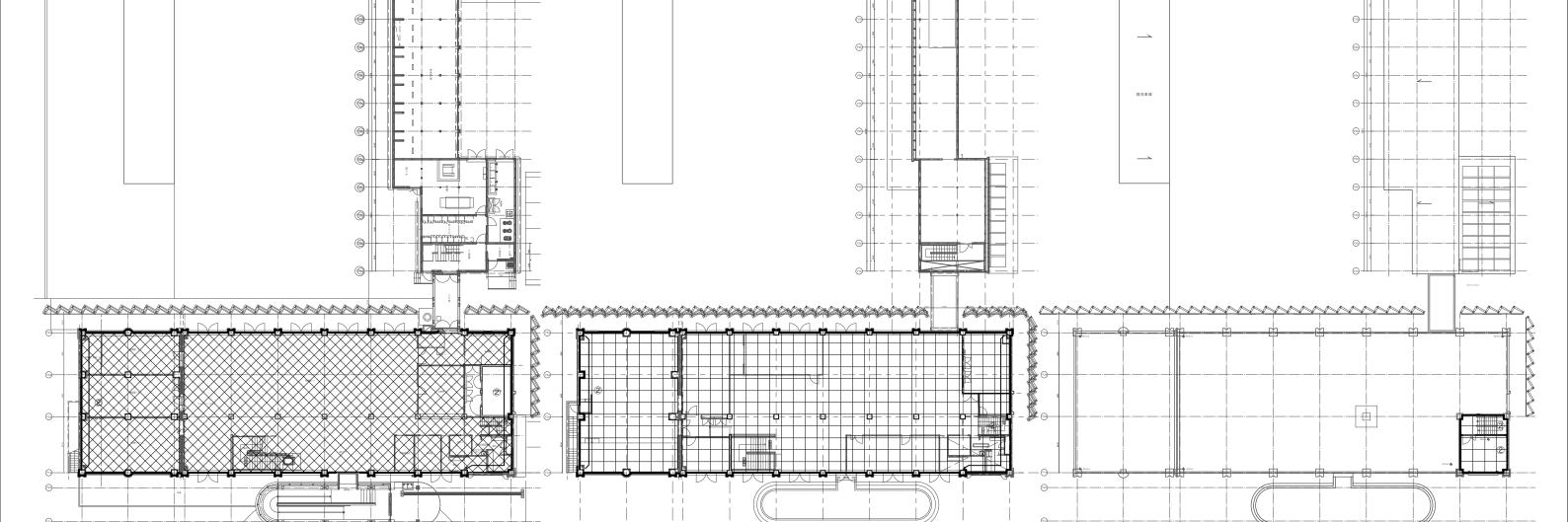
赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事

サインキープラン

A1:1/150 A3:1/300 A8-01







(3)

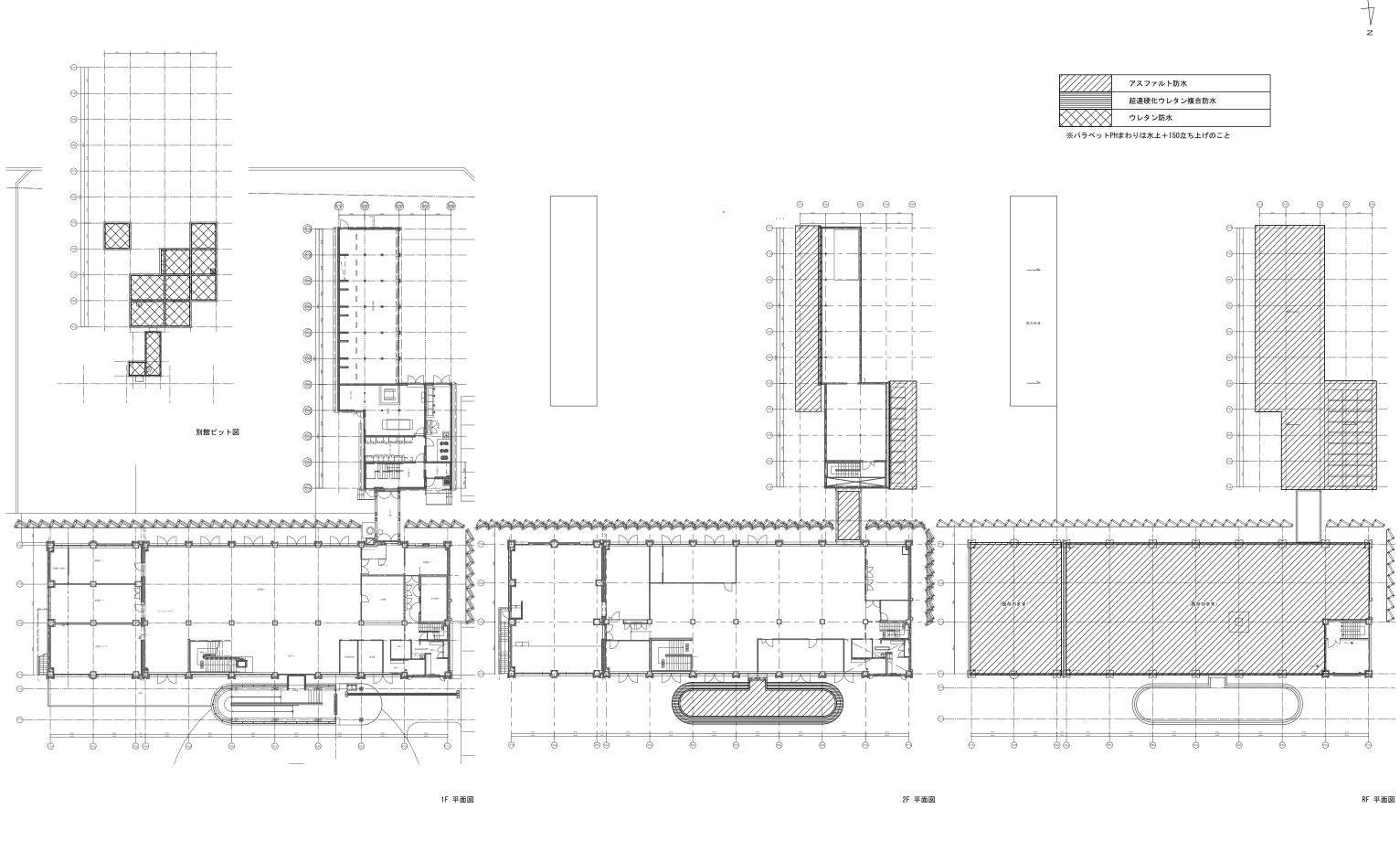
EPS断熱材 t100 接着貼り フェノールフォーム t50 接着貼り

#出法ポリスチレンフォーム 断熱材2種 既存床の上スタイロフォーム t50 屋根スラブの上スタイロフォーム t100 天井フェノールフォーム t50 接着貼り

グラスウール t120

グラスウール t90 押出法ポリスチレン t=25

※特記なき限り壁断熱は①とする



設計段階

実施設計

株式会社YAP一級建築士事務所

一級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号

株式会社URリンケージ

一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号

2025. 03. 17

URリンケージ・YAP共同企業体

図面名称

防水範囲図

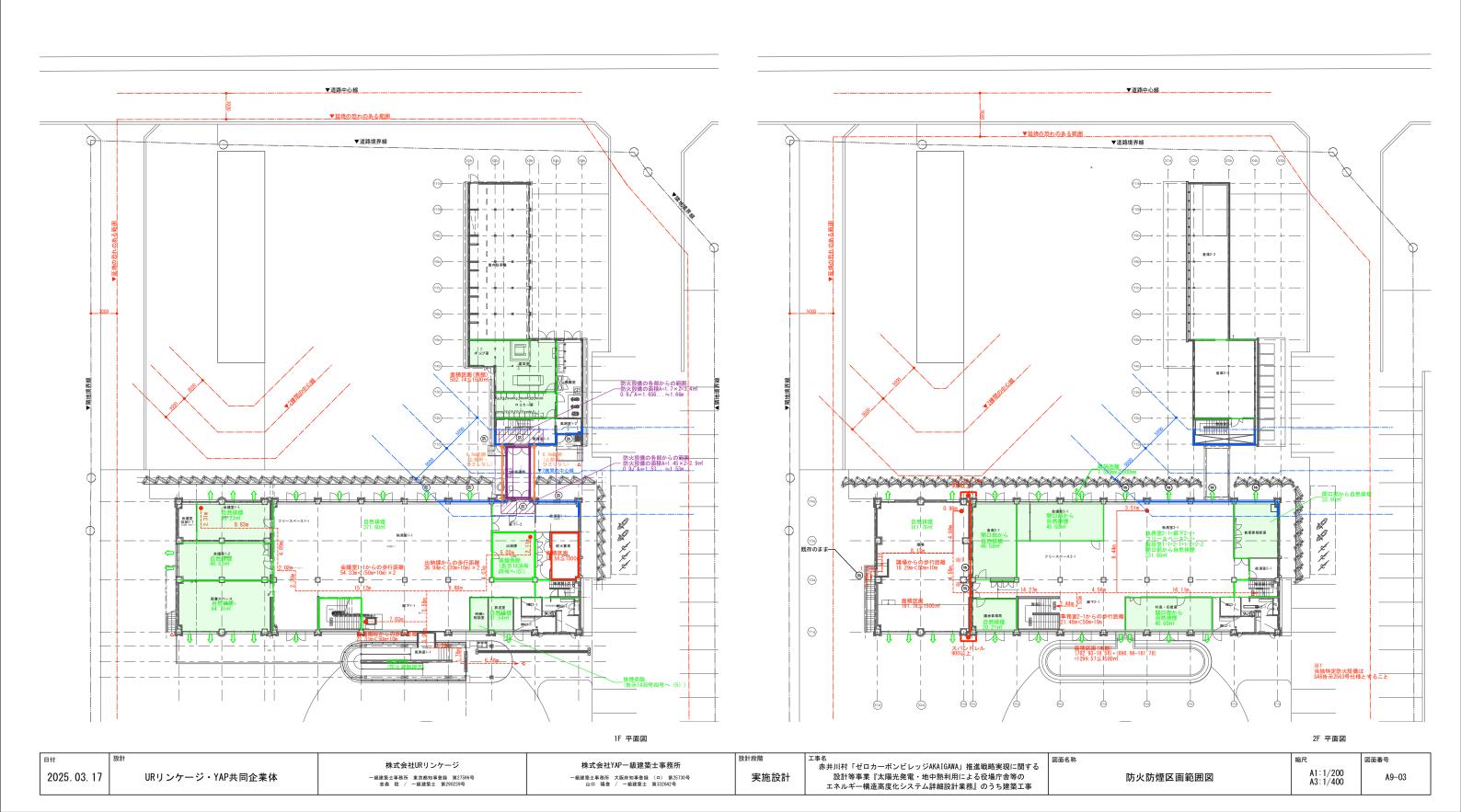
赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事

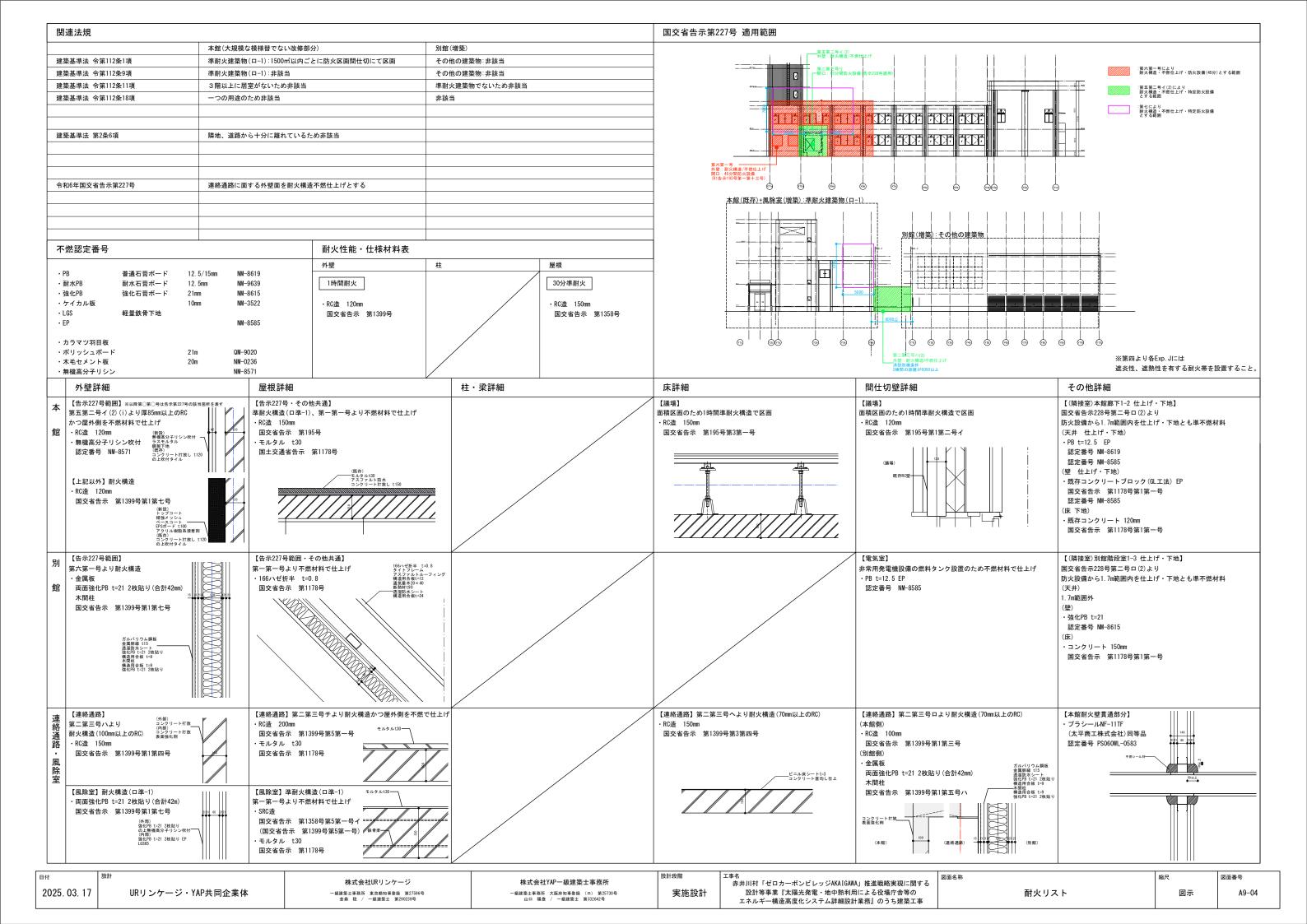
図面番号

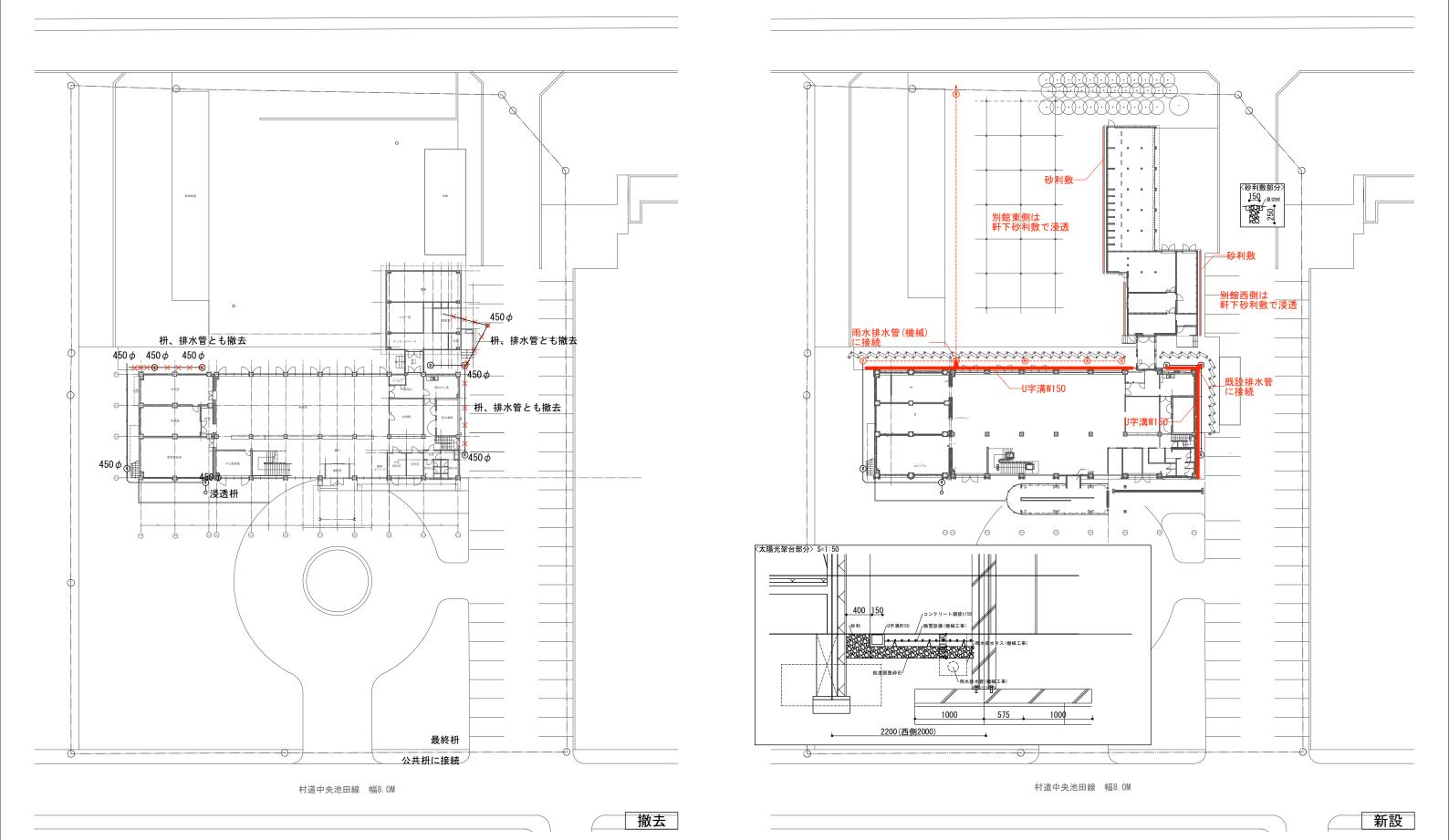
A9-02

延焼のおそれのある範囲		防火区画(面積)		
代替進入口		防火区画(告示第227号第二第三号)		
出入口 (令125条1項の出口は※)		防火区画(告示第227号第五第二号)		
		防火区画(告示第227号第六第一号)		
口までの歩行距離	•	防火区画スパンドレル900mm(準耐火構造)		
	特	特定防火設備(常閉)		
壁)	防	防火設備(45分・常閉)		
国交省告示第228号第二号ロ(2)に該当する部分(壁・天井:下地・仕上ともに準不燃、床:下地を準不燃)				
	回の出口は※) 日口までの歩行距離 壁)	iの出口は※) ロまでの歩行距離 (特) 壁)		

※PS、EPSはスラブ貫通部分を不燃材料でつくり、隙間を埋める ※防煙区画にある開口部の上部垂れ壁はH=500以上とする







設計段階

実施設計

株式会社YAP一級建築士事務所

一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号山口 陽登 / 一級建築士 第332642号

株式会社URリンケージ

一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号

2025. 03. 17

URリンケージ・YAP共同企業体

図面名称

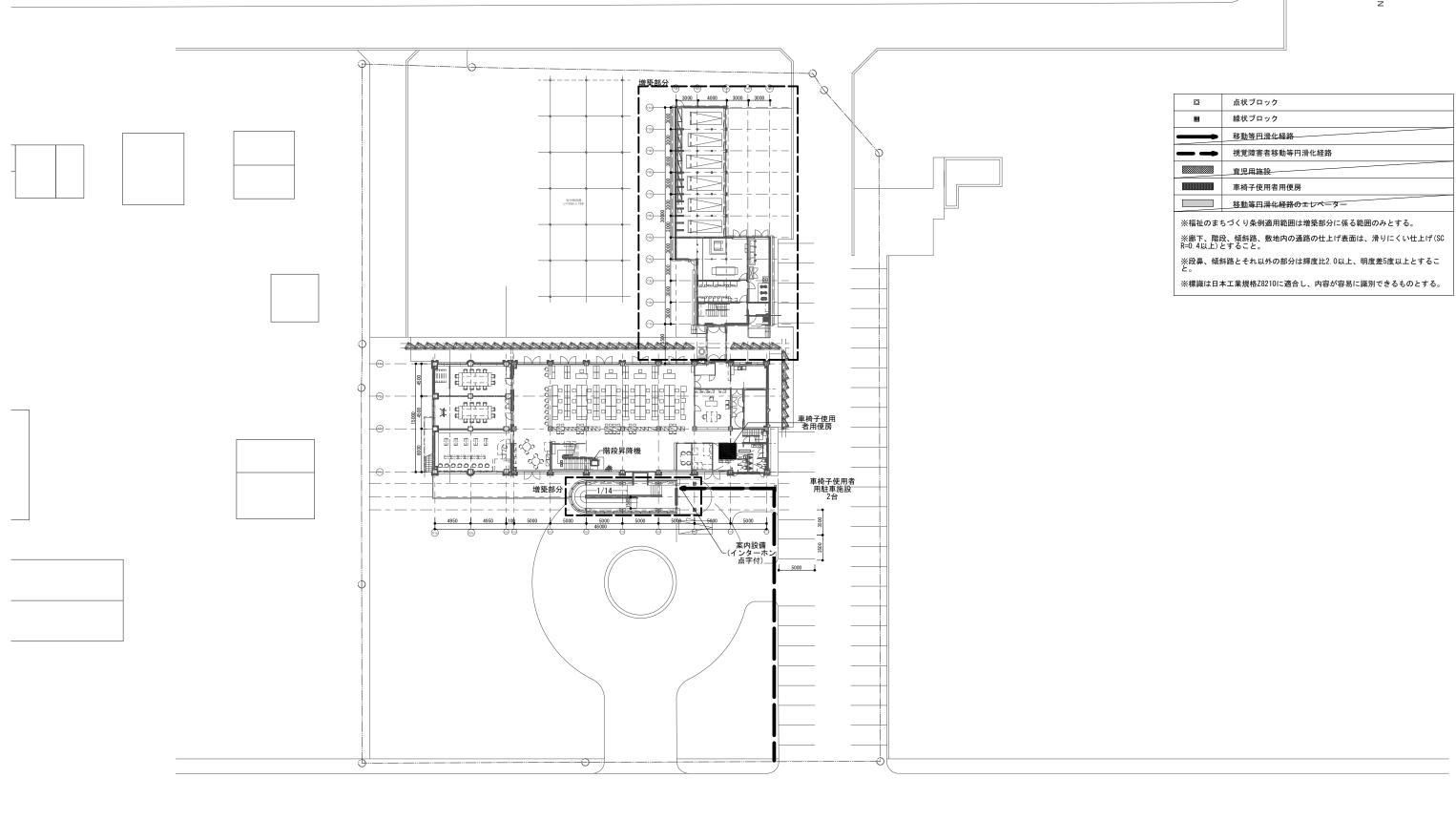
雨水排水計画図

赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事 7

図面番号

A9-05





日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03.	7 URリンケージ・YAP共同企業体	休式 云 flur リンソーシ 一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	「本式 大	実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	バリアフリー法・福祉のまちづくり条例チェック図	A1:1/250 A3:1/500	A10-01